

松山市埋蔵文化財調査年報 34

令和3年度

2022

松 山 市 教 育 委 員 会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

松山市埋蔵文化財調査年報 34

令和3年度

2022

松山市教育委員会
公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団
埋蔵文化財センター



1 祝谷アイリ遺跡 2次調査
遺構発掘状況（北より）



2 祝谷アイリ遺跡 2次調査
出土遺物



3 祝谷アイリ遺跡 2次調査
分銅形土製品・紡錘車



1 清水町遺跡 3 次調査 SE1 遺物出土状況（南より）



2 清水町遺跡 3 次調査 出土遺物



1 松山城三之丸跡 24 次調査 完掘状況（南西より）



2 松山城三之丸跡 24 次調査 完掘状況 （東より）



1 松山城三之丸跡 25 次調査 完掘状況（南西より）



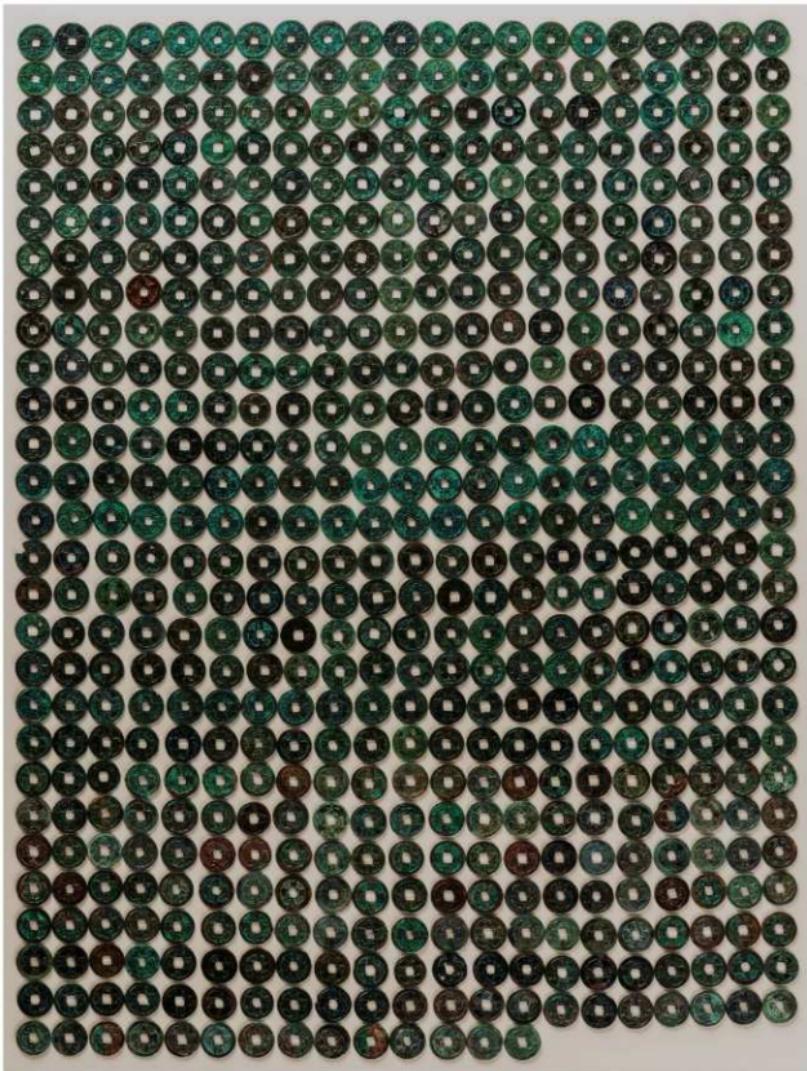
2 松山城三之丸跡 25 次調査 土壘検出状況（北西より）



1 下難波寺ノ谷 錢塊（処理前）



2 下難波寺ノ谷 錢塊（処理後）



1 庄天神山 壽錢 581 枚（處理後）

序　　言

松山市内には、数多くの貴重な埋蔵文化財があります。松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団は、試掘調査や発掘調査をはじめとした調査研究事業、及び考古館での普及・啓発事業によって、埋蔵文化財の保護と活用に努めています。

本書は、令和3年度の事業概要報告です。

令和3年度の調査研究事業では、市内で4件の発掘調査を実施しました。特筆すべき遺跡の調査としては、祝谷アイリ遺跡2次調査と清水町遺跡3次調査があります。祝谷アイリ遺跡2次調査では、2条の溝に挟まれた平坦部から貯蔵穴を25基検出しました。弥生時代中期の貯蔵穴で、同様のものは隣接する祝谷大地ヶ田遺跡からも多数検出されており、祝谷地区の弥生時代中期の集落構成を考えるうえで、貴重な資料になりました。出土品には、土器片を転用した紡錘車7点と完形品の分銅形土製品があり、これらは市内での出土数は少なく、大変貴重なものです。また、清水町遺跡3次調査からは、井戸や土坑、流路を検出し、井戸からは完形品に近い弥生土器が多数出土しました。壺形土器の中には、頸部全体を均一に打ち欠くもの、焼成後、胴部中位に穿孔されたものなどが含まれており、祭祀行為後の土器を井戸に廃棄したものと推測されます。これらの弥生土器の出土は、遺跡東側の弥生時代の拠点集落として著名な文京遺跡の広がりを研究するにあたり、重要な資料となるものです。

普及・啓発事業では、9月から11月の間、考古館は大規模改修工事のため臨時休館となりましたが、改修後に「いにしへのえひめ展」と「特別展」を開催しました。特別展は、愛媛大学教育学部向平和研究室に御協力いただき、「古代の「火」を科学する」と題して、市内出土の「火」に関する貴重な考古資料を科学的視点を交えて展示し、来館者から好評を得ました。

最後に、埋蔵文化財の保護、発掘調査及び普及啓発について、皆様の御理解と御協力に厚くお礼申し上げますとともに、本書を埋蔵文化財の保護と調査研究にお役立ていただければ幸いです。

令和4年12月

松山市教育委員会
教育長 前田昌一

例　　言

1.本書は、松山市教育委員会と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センターが、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに実施した埋蔵文化財発掘調査の概要と、松山市考古館が行った普及啓発事業の成果などをまとめた年次報告書である。

2.発掘調査の報告は、調査担当者が執筆し、編集は高尾和長が行った。

3.確認調査については、第Ⅱ章の表にその概要を岡崎政信がまとめた。

4.本書に掲載した写真は、担当調査員と大西朋子が撮影した。

5.位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。

6.遺構は、以下の略号で記した。

S B : 竪穴建物址　掘立 : 掘立柱建物跡　S K : 土坑　S D : 溝　S E : 井戸　S P : 柱穴
S X : 性格不明遺構　S R : 自然流路　S A : 横、柱列　S T : 墓　T : トレンチ

7.刊行組織は、以下のとおりである。(令和4年12月8日現在)

松　山　市　教　育　委　員　会	教　育　長	前田　昌一
事　務　局	局　長	鷺谷　浩三
	次　長	石原　英明
	次　長	横山　憲
	次　長	横江　茂樹
文　化　財　課	課　長	二宮　仁志
公益財団法人　松山市文化・スポーツ振興財團	理　事　長	本田　元広
事　務　局	局　長	片山　雅央
	次長兼施設管理部部長	宇高　徹二
埋蔵文化財センター	所長兼館長	梅木　謙一

文化財課組織図(埋蔵文化財・史跡整備・文化財保護)



埋蔵文化財センター組織図

所長兼考古館長 梅木 謙一	調査・研究	主任 学芸員 再雇用嘱託 専門嘱託 一般嘱託	河野 実知、水本 完児、橋本 雄一 新原 佑典（派遣） 山本 健一、高尾 和長、宮内 慎一、相原 浩二 作田 一耕 大西 朋子、宮脇 和人、山邊 遼也、岡崎 政信 浅井 茂之、木西 嘉子、丹生谷 道代、平岡 直美 山下 満佐子、松本 美代子、川添 利恵
	普及・啓発 施設運営	主査 主任 学芸員 一般嘱託	吉岡 和哉、小玉 亜紀子 網本 修、加島 次郎、竹政 俊一 渡部 浩史 宇高 千代美

8. ご指導・ご協力を賜った方々は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

池尻伸吾（愛媛県埋蔵文化財センター）／内田九州男／沖野実（愛媛県埋蔵文化財センター）／下條信行／柴田昌児（愛媛大学）／柴田圭子（愛媛県埋蔵文化財センター）／高瀬哲郎（石垣技術研究機構）／田崎博之／名本二六雄（愛媛考古学協会）／兵頭歟（愛媛県教育委員会）／藤本史子（武庫川女子大学）／前園實知雄（愛媛県埋蔵文化財センター）／松下孝幸・松下真実（特定非営利活動法人人類学研究機構）／松村さと里（愛媛県埋蔵文化財センター）／三浦正幸／向平和（愛媛大学）／村上恭通（愛媛大学）／吉田広（愛媛大学）／横須賀倫達（文化庁）

9. ご指導・ご協力を賜った機関は、次のとおりである。(五十音順・敬称略)

伊予史談会／愛媛県教育委員会／愛媛大学／公益財團法人愛媛県埋蔵文化財センター／香川県埋蔵文化財センター／公益財團法人高知県文化財团埋蔵文化財センター／公益財團法人徳島県埋蔵文化財センター／特定非営利活動法人人類学研究機構／文化庁

10. 本書の仕様は、以下のとおりである。

製版 モノクロ写真・写真団版－175 線

印刷 オフセット印刷

用紙 本文：三菱製紙ニューVマット

製本 無線綴じ

本文目次

I 令和3年度 松山市埋蔵文化財調査概要	
令和3年度 松山市埋蔵文化財調査概要.....	2
祝谷アイリ遺跡 2次調査.....	3
清水町遺跡 3次調査.....	7
松山城三之丸跡 24次調査.....	11
松山城三之丸跡 25次調査.....	15
II 令和3年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
令和3年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料.....	40
III 令和3年度 出土物整理・保存処理事業	
1.出土物整理.....	30
2.出土物整理・工事立会調査（南斎院町）.....	33
3.出土物整理・工事立会調査（桑原五丁目）.....	38
4.出土物整理・石器（石庖丁・石鎌の各未成品及び原石）.....	43
5.出土物整理・石器（五郎兵衛谷古墳）.....	55
6.出土物整理・埴輪（二つ塚古墳）.....	66
7.保存処理.....	80
8.保存処理・北斎院地内遺跡 4次調査出土の中世人骨.....	82
IV 令和3年度 普及啓発事業	
1.展示活動.....	96
2.教育普及活動.....	97
3.収集・保管・育成活動.....	99
4.出版活動.....	99
5.資料の貸出・調査.....	99
6.考古館月別入館者数調.....	99

卷頭図版目次

- 卷頭図版 1 1 祝谷アイリ遺跡 2次調査 遺構完掘状況（北より）
2 祝谷アイリ遺跡 2次調査 出土遺物
3 祝谷アイリ遺跡 2次調査 分銅形土製品・紡錘車
- 卷頭図版 2 1 清水町遺跡 3次調査 SE1 遺物出土状況（南より）
2 清水町遺跡 3次調査 出土遺物
- 卷頭図版 3 1 松山城三之丸跡 24次調査 完掘状況（南西より）
2 松山城三之丸跡 24次調査 完掘状況（東より）
- 卷頭図版 4 1 松山城三之丸跡 25次調査 完掘状況（南西より）
2 松山城三之丸跡 25次調査 土壙検出状況（北西より）
- 卷頭図版 5 1 下難波寺ノ谷 銭塊（処理前）
2 下難波寺ノ谷 銭塊（処理後）
- 卷頭図版 6 1 庄天神山 奉錢 581枚（処理後）

挿図・写真目次

I 令和3年度 松山市埋蔵文化財調査概要

祝谷アイリ遺跡 2次調査	3
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 遺構完掘状況（南より）
図2 遺構配置図	写真2 SK24壺出土状況（北東より）
図3 SD2出土遺物実測図	
図4 SD5出土遺物実測図	
図5 土坑出土遺物実測図	
清水町遺跡 3次調査	7
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 第2面遺構完掘状況（南より）
図2 弥生時代の遺構配置図	写真2 SE1完掘状況（東より）
図3 SE1測量図	写真3 第1面遺構完掘状況（南より）
図4 古墳時代～中世の遺構配置図	写真4 西壁土層堆積状況（北東より）
	写真5 SK2遺構完掘状況（北より）
	写真6 ST1半裁状況（北東より）
	写真7 SR1流路底遺物出土状況（西より）
	写真8 SE1上位遺物出土状況（北東より）
	写真9 SE1下位遺物出土状況（北東より）
	写真10 頸部を打ち欠き焼成後に穿孔された壺形土器（SE1）

松山城三之丸跡 24 次調査	11
図 1 調査位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 1 区全景（南東より）
図 2 「亀郭城船塁」における調査区の位置	写真 2 2 区全景（南より）
図 3 「松山城下図屏風」における調査区の位置	
図 4 1 区遺構配置図	
図 5 2 区遺構配置図	
松山城三之丸跡 25 次調査	15
図 1 調査位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 北御門東袖の土壙検出状況（南西より）
図 2 遺構配置図	写真 2 列石検出状況（北西より）
図 3 土壙西端の土層	
図 4 北御門両袖石垣の復元	
II 令和3年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
図 1 令和3年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺 1 : 100,000）	28
III 令和3年度 出土物整理・保存処理事業	29
2. 出土物整理・立会調査（南斎院町）	33
図 1 調査位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 調査区周辺状況（南より）
図 2 柱状土層図	写真 2 4 区 SD1 と 東壁(G) 土層状況（西より）
図 3 遺構配置図	写真 3 出土遺物
図 4 4 区遺構配置図	
図 5 出土遺物実測図	
3. 出土物整理・立会調査（桑原五丁目）	38
図 1 調査位置図（縮尺 1 : 25,000）	写真 1 2 区遺構検出状況（南より）
図 2 柱状土層図	写真 2 3 区遺構検出状況（北より）
図 3 遺構配置図	写真 3 4 区遺構検出状況（北より）
図 4 4 区 SB1 測量図	写真 4 4 区 SB1 完掘状況（東より）
図 5 出土遺物実測図	写真 5 5 区遺構完掘状況（北より）
図 6 出土遺物	写真 6 出土遺物
4. 出土物整理・石器（石庖丁・石鎌の各未成品及び原石）	43
図 1 石庖丁未成品及び原石実測図（1）	写真 1 石庖丁未成品 5 (I類)
図 2 石庖丁未成品及び原石実測図（2）	写真 2 石庖丁未成品 21 (II類)
図 3 石庖丁未成品及び原石実測図（3）	写真 3 石庖丁未成品 12 (III類)
図 4 石庖丁未成品及び原石実測図（4）	写真 4 祝谷六丁場遺跡出土石庖丁未成品及 び原石
図 5 石庖丁未成品実測図（5）	

図 6 石鎌未成品実測図 (1)	写真 5 西石井遺跡 2 次調査出土石庖丁未成
図 7 石鎌未成品実測図 (2)	品及び原石
図 8 石鎌未成品実測図 (3)	写真 6 やや厚目の原石 (左の一群) と扁平 の原石 (右の一群)
	写真 7 石鎌未成品 2 (I 類)
	写真 8 石鎌未成品 7 (II 類)
	写真 9 石鎌未成品 8 (III 類)
5. 出土物整理・石器 (五郎兵衛谷古墳).....55	
図 1 遺跡分布図 (後期旧石器時代の遺跡)	
図 2 土層柱状図	
図 3 位置図	
図 4 断面図	
図 5 五郎兵衛谷古墳遺構配置図	
図 6 五郎兵衛谷古墳出土石器実測図 (1)	
図 7 五郎兵衛谷古墳出土石器実測図 (2)	
6. 出土物整理・埴輪 (二つ塚古墳).....66	
図 1 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (1)	写真 1 二つ塚古墳出土埴輪
図 2 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (2)	写真 2 墓輪 3 の突帯
図 3 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (3)	写真 3 墓輪 5 の突帯
図 4 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (4)	写真 4 前方部から見た二つ塚古墳 (西より)
図 5 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (5)	写真 5 周溝 (H31-157・T1 西より)
図 6 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (6)	
図 7 二つ塚古墳の復元図 (試掘・立会調査より)	
8. 保存処理・北斎院地内遺跡 4 次調査出土の中世人骨.....82	
図 1 遺跡の位置図 (1/25,000)	写真 1 調査区遠景
図 2 墓 1 人骨の残存図 (アミかけ部分)	写真 2 墓 1 人骨出土状況
	写真 3 墓 2 人骨出土状況
	写真 4 墓 1 (男性・年齢不明)
	上肢骨 (Bones of the upper limb)
	下肢骨 (Bones of the lower limb)
	左脛骨 (The left tibia)

IV	令和3年度 普及啓発事業	
写真 1	発掘へんろ展「四国の風土と暮らし」.....	109
写真 2	発掘へんろ展 講演会	
写真 3	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「掘ったぞな松山2021」	
写真 4	「掘ったぞな松山2021」	
写真 5	「掘ったぞな松山2021」 報告会	
写真 6	愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」「いにしへのえひめ」	
写真 7	「いにしへのえひめ」 講演会	
写真 8	「いにしへのえひめ」 報告会	
写真 9	講演会受付 新型コロナ感染予防対策令和3年12月.....	110
写真 10	特別展「古代の火を科学する」①	
写真 11	特別展「古代の火を科学する」②	
写真 12	「古代の火を科学する」 講演会	
写真 13	発掘情報展「清水町遺跡3次調査」	
写真 14	発掘情報展「祝谷アイリ遺跡2次調査」	
写真 15	ロビー展「2021Kid'S考古学新聞コンクール全国巡回展」	
写真 16	「古代の蓮」展	
写真 17	大連古代蓮の育成.....	111
写真 18	わかりやすい考古学講座①	
写真 19	わかりやすい考古学講座②	
写真 20	こども考古学教室（親子考古学教室）①	
写真 21	こども考古学教室（親子考古学教室）②	
写真 22	古代体験教室「石勾玉をつくろう」	
写真 23	わかりやすい考古学講座 現地見学会（松山城三之丸跡）	
写真 24	オンライン授業 味酒小学校6年	

表 目 次

II	令和3年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	
表 1	松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧.....	21
表 2	令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧（1）～（6）.....	21～26
表 3	令和3年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧.....	27
III	令和3年度 出土物整理・保存処理事業	
1. 出土物整理		
表 1	遺物接合・復元作業一覧（1）（2）.....	30・31
表 2	遺物実測・整理・収蔵・図面整理作業一覧	31
表 3	遺物写真撮影及びデーター処理・整理作業一覧	32

2. 出土物整理・立会調査（南斎院町）		
表 1	南斎院町立会調査一覧	33
表 2	溝一覧	36
表 3	井戸一覧	36
表 4	柱穴一覧	37
表 5	出土遺物観察表	37
3. 出土物整理・立会調査（桑原五丁目）		
表 1	桑原五丁目立会調査一覧	38
表 2	出土遺物観察表	41
4. 出土物整理・石器（石庖丁・石鎌の各未成品及び原石）		
表 1	石庖丁未成品及び原石観察表（1）（2）	44・45
表 2	石鎌未成品観察表	45
5. 出土物整理・石器（五郎兵衛谷古墳）		
表 1	五郎兵衛谷古墳出土石器観察表（1）～（3）	62～64
6. 出土物整理・埴輪（二つ塚古墳）		
表 1	二つ塚古墳出土埴輪観察表（1）・（2）	73・74
表 2	松山平野における古墳時代後半期の古墳編年案	78
7. 保存処理		
表 1	令和3年度 金属製品保存処理遺跡名一覧	80
表 2	令和3年度 調査出土金属・木製・動植物遺体一覧（以前の調査出土も含む）	81
8. 保存処理・北斎院地内遺跡4次調査出土の中世人骨		
表 1	資料数 (Table 1. Number of materials)	84
表 2	出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)	84
表 3	年齢区分 (Table 3. Division of age)	84
表 4	上腕骨計測値（男性、右、mm）	90
表 5	脛骨（男性、右、mm）	90
表 6	上腕骨（mm）(Humerus)	91
表 7	桡骨（mm）(Radius)	91
表 8	尺骨（mm）(Ulna)	92
表 9	膝蓋骨（mm）(Patella)	92
表 10	脛骨（mm）(Tibia)	93

IV 令和3年度 普及啓発事業

1. 展示活動

表 1 展示会一覧	100
-----------	-----

2. 教育普及活動

表 2 考古学講座・講演会等 (1) (2)	100・101
表 3 古代体験教室 (1) (2)	101・102
表 4 遺跡見学会	103
表 5 体験学習・主催事業来館・団体来館 (1) (2)	103・104
表 6 発掘調査現地説明会	104
表 7 職場体験	104
表 8 博物館学芸員実習	104
表 9 館外・出前考古学教室 (1) (2)	105・106
表 10 職員研修・会議	106

4. 出版活動

表 11 考古館広報関係一覧 (印刷物) (1) (2)	106・107
表 12 出版物一覧	107

5. 資料の貸出・調査

表 13 資料の貸出一覧	107
表 14 考古資料の調査一覧	108

6. 考古館月別入館者数調

表 15 令和3年度 考古館月別入館者数調 (令和3年4月～令和4年3月)	108
---------------------------------------	-----

I 令和3年度 松山市埋蔵文化財調査概要

令和3年度 松山市埋蔵文化財調査概要

概 要 令和3年度の埋蔵文化財調査事業は、発掘調査4件、試掘調査111件、踏査による調査5件、年報・報告書刊行7件、出土物整理・保存処理を実施した。

〔発掘調査〕発掘調査は公共事業0件、民間事業2件、国庫補助事業2件である。なお、現地説明会はコロナウイルスの影響で執り行っていない。

〔民間事業（2件）〕：市内城北地区の祝谷と清水町で調査を実施した。祝谷アイリ遺跡2次調査では、弥生時代の土坑、溝、柱穴、流路と、古墳時代の土坑、溝及び中世の土坑、柱穴を検出した。遺物では、弥生土器、須恵器、土師器が出土し、特に弥生時代中期の流路からは、顔面表現のない分銅形土製品が見つかり、溝や柱穴からは土器を転用した、紡錘車の未完成品が7点出土した。清水町遺跡3次調査では、弥生時代後期の土坑、井戸、自然流路、古墳時代の溝、土坑、中世の溝、古代から中世の墓を検出した。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石製品、瓦などが出土した。特に、弥生時代の井戸からは、大量の土器片が出土し、中位から基底面にかけては完形品に近いものが多く、そのなかには、頭部全体を均一に打ち欠いたり、胴部中位に焼成後の穿孔された壺形土器も含まれております。祭祀行為後の土器を井戸に廃棄したと推測される貴重な遺構が見つかっている。

〔国庫補助事業（2件）〕：松山城三之丸跡では史跡整備に伴う確認調査を継続的に実施しており、令和3年度は24次調査と25次調査の2件になる。今年度は、三之丸北御門跡東袖の構造解明を目的に調査を行った。調査では北御門の礎石、北土塁西端と北御門を連結する東袖石垣の一部を確認した。

〔試掘調査〕：国庫補助事業として、市内一円における試掘調査によって、埋蔵文化財の内容確認を実施している。埋蔵文化財の確認申込受付件数は227件で前年度（243件）に比べ16件減少した。このうち111件の試掘と5件の踏査を行い、27件について遺跡を確認している。（P19～28・表2）

〔年報・報告書刊行〕：令和3年度事業をまとめた『年報33』と5冊の発掘調査報告書を作成した。公共開発に伴う発掘調査事業の調査報告書が3冊（4遺跡）、過去の発掘調査について国庫補助事業による調査報告書が2冊（4遺跡）である。また、これらとは別に、松山市都市整備部公園緑地課が主体となり刊行した、松山城保存計画報告書が1冊ある。（P107・表12）

いわいだに 祝谷アイリ遺跡 2次調査

所在地 松山市祝谷六丁目 1086 番 1 及び 1087 番の 1
の各一部（松山地区 No.49）
期間 令和 3 年 8 月 23 日～令和 3 年 11 月 5 日
面積 579.88m²
原因 マンション建設
担当 宮内 慎一、新原 佑典、浅井 茂之

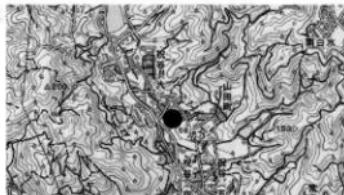


図 1 調査地位置図

概要 調査地は敢り山丘陵の南西向き緩斜面に位置し、現地標高約 53.9m である。申請地の周辺では、南側に祝谷大地ヶ田遺跡、谷を隔てた西側には祝谷六丁場遺跡がある。大地ヶ田遺跡ではこれまでに 1 次～9 次の調査が行われ、主に弥生時代から古墳時代にかけての貴重な遺構・遺物が見つかっている。6 次調査では主体部は不明ながら葺石を伴う前方後円墳 1 基（祝谷 9 号墳）が検出されている。このほか、各調査地では弥生時代中期の貯蔵穴と考えられる土坑約 400 基が検出されている。

遺構・遺物 本調査では、溝 8 条（弥生 7 条、近世 1 条）、土坑 26 基、柱穴 124 基、水田遺構を検出し、遺物は、弥生土器、分銅形土製品、紡錘車、石庖丁、鉄製品などが出土した。

本調査で検出した弥生時代の溝 7 条のうち、SD2 と SD5 はほぼ併走する大溝である。SD2 は南北方向を指向し、調査区の東部 3 分の 1 を占めている。長さ 15m 以上、平面最大幅 5.0m、深さ 0.4m を測る。断面形態はレンズ状を呈し、6 層の堆積層からなる。遺物は、壺形土器、長頸壺の口縁部や、ジョッキ形土器の把手部基部とみられる土器片などが出土した。SD5 は南北方向を指向し、調査区西側で検出した。長さ 15m 以上、平面最大幅 5.2m、深さ 1.2m を測る。断面形態は逆台形状を呈し、埋土は 7 層の堆積からなる。遺物は、壺形土器、壺形土器、ジョッキ形土器、分銅形土製品が出土した。SD2 は砂層と粘土層が互層状に堆積しており、土砂の流入によって埋没したとみられるが、SD5 は一括りの高い遺物と粘質土の厚い堆積が認められ、弥生時代中期中葉までには埋め戻されたものと考えられる。

弥生時代の土坑（SK）は 26 基を検出した。平面形態は円形、楕円形、不整形の 3 形態が認められる。規模は長径が 0.8m～1.8m で深度の深いものは 0.81m を測る。遺物は、壺形土器、壺形土器、高環形土器、土器片転用紡錘車が出土した。ほぼすべての遺構について、含まれる遺物については土器破片であるが、SK24 からは一部欠くが、口径 24.3cm、器高 70.6cm、底径 16.4cm の大型壺が出土している。

まとめ 今回の調査では、主に弥生時代前期末から中期後葉までの遺構や遺物を確認できた。土坑については、ほとんどが弥生時代中期中葉までの土器を含み、1 基を除いて全てが 2 条の溝状遺構に挟まれて検出した。該期の大型土坑は「貯蔵穴」と評価されているが、その機能は検討が必要である。また、溝のうち SD5 は、本調査地の南西約 50m 地点に位置する祝谷丸山遺跡 2 次調査で検出された溝状遺構と流下方向を同じくしており、粘土質中に多量の遺物が出土していること、及びその埋没時期から、両者は一体の溝状遺構となる可能性が高い。本調査地で検出した遺構や遺物は、祝谷地区における遺跡の広がりを考えるうえで貴重な資料となった。（浅井）

祝谷アイリ遺跡 2 次調査

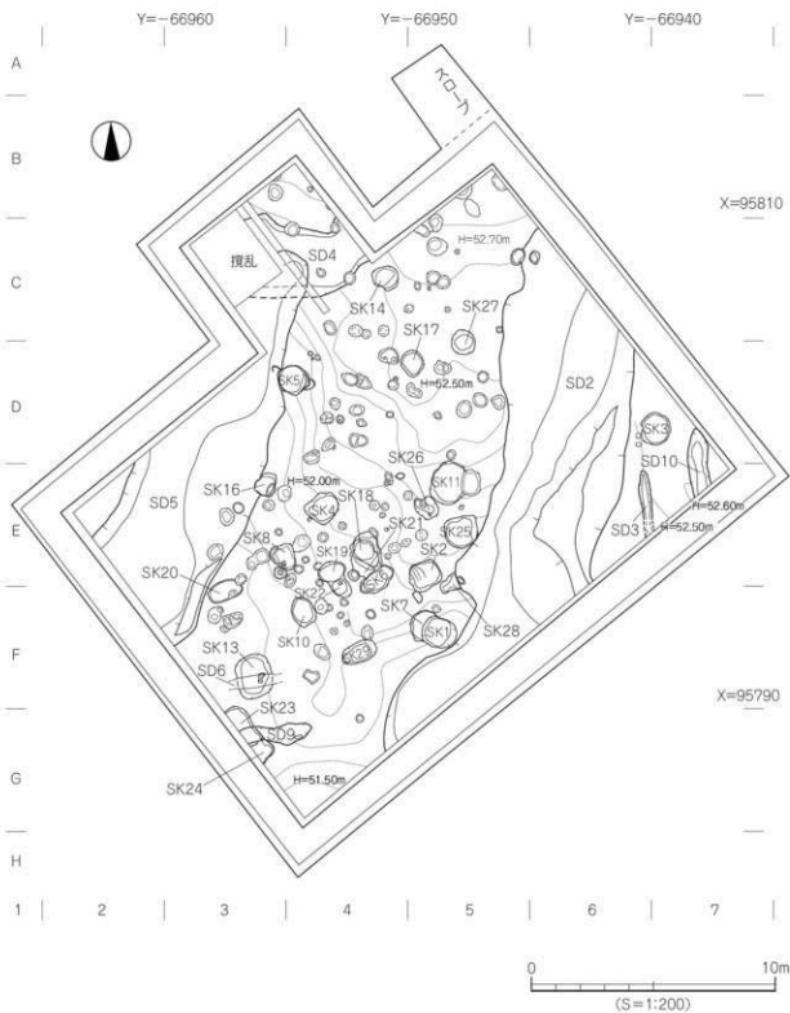


図2 造構配置図

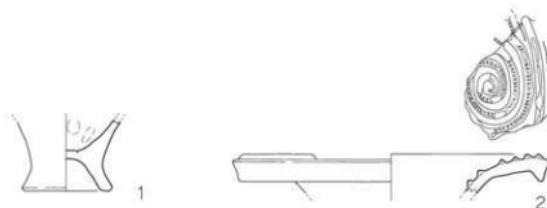


図3 SD2出土遺物実測図

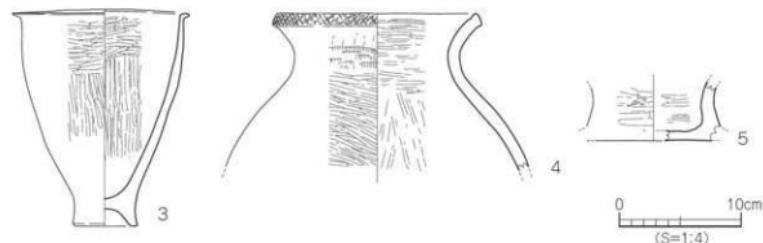


図4 SD5出土遺物実測図

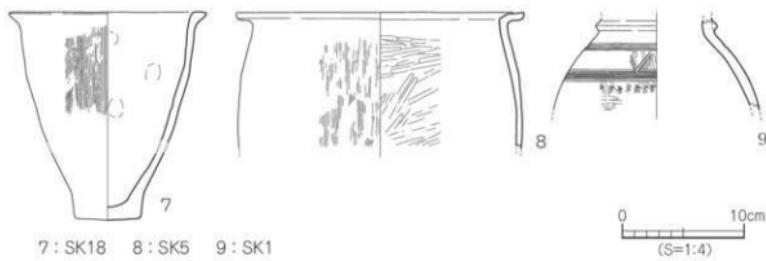


図5 土坑出土遺物実測図



写真1 遺構完掘状況（南より）



写真2 SK24 壺出土状況（北東より）

しみずまち 清水町遺跡 3次調査

所在地 松山市清水町一丁目5番2、5番3の各一部（松山地区No.220 清水町遺跡）
 期間 令和3年8月26日～令和3年9月30日
 面積 約145m²
 原因 共同住宅の建築
 担当 河野史知、渡部浩史、宮脇和人



図1 調査地位置図

概要 調査地は、旧石手川によって形成された沖積扇状地の扇端付近の標高約26mに立地し、松山平野でも有数の遺跡地帯である道後城北遺跡群の西南端に位置する。同遺跡群内では縄文時代から近世に至る集落関連遺構や城郭などが多数

検出されており、文京遺跡をはじめ松山大学構内遺跡や道後今市遺跡などがある。このなかでも文京遺跡は、弥生時代中期後半から後期初頭の大規模な集落遺跡である。調査地周辺では、清水町遺跡から、弥生時代前期の堅穴建物を検出し、同2次調査では、鎌倉時代の土坑や柱穴などを検出している。

遺構・遺物 遺構検出面を2面確認し、遺構は、弥生時代後期の土坑3基、井戸1基、自然流路1条、古墳時代の溝3条、土坑1基、中世の溝1条、古代から中世の墓1基、近現代の搅乱4基を検出した。遺物は、弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、石製品、瓦などが出土した。

〔弥生時代〕 井戸や土坑などの集落跡や自然流路を検出した。井戸SE1は、検出面から基底面にかけて、大量の弥生土器片が出土しており、なかでも中位から基底面にかけては完形品に近いものが多く出土している。なかには頸部全体を均一に打ち欠いたり、胴部下位に焼成後の穿孔された壺形土器も含まれており、祭祀行為後の土器を井戸に廃棄したと推測される。自然流路SR1は、流路床から3条の同じ方向に流

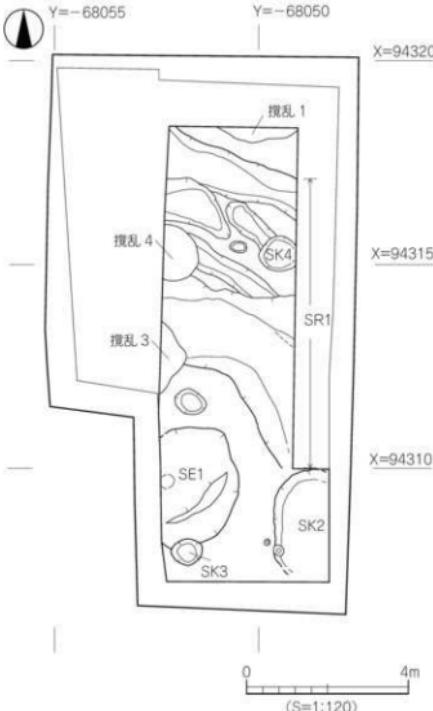


図2 弥生時代の遺構配置図

清水町遺跡3次調査

れた小流路（流路幅0.6～2m）を検出した。その堆積層から小流路の埋没後に拡幅（流路幅5.6～7.2m）された流路が形成されていたことが確認できた。流路内に堆積した砂層内からは弥生後期頃の土器が大量に出土しており、流路縁辺部や上流に集落の存在が窺える。

〔古墳時代〕溝SD1、3、4や土坑SK1の集落遺構を検出したことにより、松山大学構内遺跡2次調査と若草町遺跡2次調査の中間地点の本調査



写真1 第2面遺構完掘状況(南より)



図3 SE1測量図



写真2 SE1完掘状況(東より)

清水町遺跡3次調査

地にも古墳時代後期の集落が存在していたことは、集落の範囲を補足するものである。

〔古代～中世〕 溝SD2や中世の遺物を包含した堆積層を検出したことは、清水町遺跡2次調査で確認された土坑や柱穴などで構成される集落が、本調査地まで広がることが推測される。墓ST1は、基底面付近での検出で全容は不明であるが、炭化物に焼土塊や骨の細片が散在し、焼成を受けていない壁体や基底面から察すると、ほかの場所で焼かれていたことが分かった。骨の繊維から哺乳類と考えられるが、詳細は不明である。堆積層から古代から中世の間としか分からない。

まとめ 弥生時代から中世にかけての遺物包含層が確認できたことや遺構や遺物を検出し、調査地では継続的に集落が営まれていたことが分かった。調査地の東方に展開している弥生時代中期後半から後期初頭を中心とした集落が沖積扇状地の扇端付近まで広がることが確認できたことは、道後城北遺跡群の西南端付近の集落様相明の手がかりとなるものである。(河野)

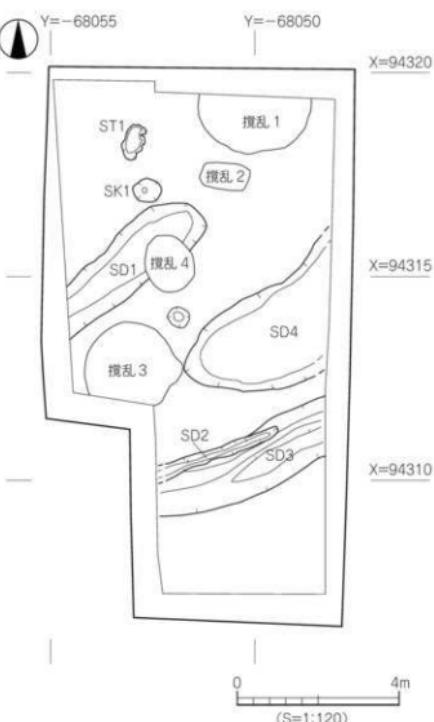


図4 古墳時代～中世の遺構配置図

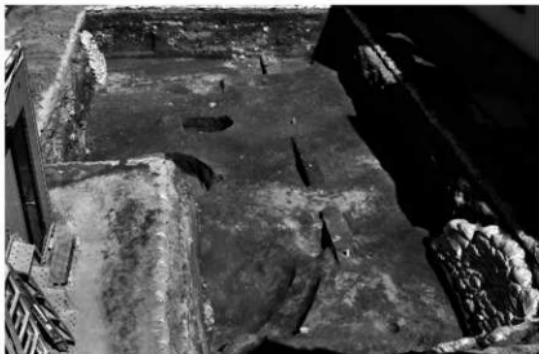


写真3 第1面遺構完掘状況（南より）

清水町遺跡 3 次調査

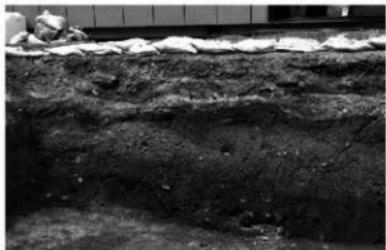


写真4 西壁土層堆積状況（北東より）



写真5 SK2 遺構完掘状況（北より）

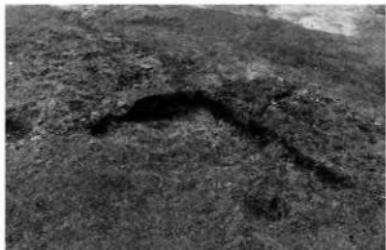


写真6 ST1 半裁状況（北東より）



写真7 SR1 流路底遺物出土状況（西より）



写真8 SE1 上位遺物出土状況（北東より）



写真9 SE1 下位遺物出土状況（北東より）



写真10 頸部を打ち欠き焼成後に穿孔された壺形土器（SE1）

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡 24次調査

所在地 松山市堀之内 13 番 9、無番地の各一部
(松山地区 No. 74 史跡松山城跡)

期間 令和 3 年 9 月 21 日～同 4 年 2 月 4 日

面積 1 区 76m²・2 区 256m²

原因 史跡整備に伴う確認調査(国庫補助事業)

担当 橋本雄一・宮脇和人・渡部浩史



図 1 調査地位置図

概要 国史跡松山城は、道後平野北部の独立丘陵である勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では「城山公園(堀之内地区)整備計画」を基に城山公園堀之内地区的整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的として、平成 13 年度から確認調査を実施している。

今年度の 24 次調査は 1 区と 2 区を設けた。1 区の目的は西之丸と小普請所を画する石組溝を検出することにある。この溝は 19 次調査 2 区で検出したもので、今回はその溝が東へどのように続くかを確認することを目的とした。2 区は、1 次調査 II 区と 21 次調査区の間に位置し、石組溝がどのように配置されているのかを確認する目的があった。『亀郭城秘図』では、2 区付近で、御殿との境界が L 字状に屈曲している(図 2)。また通用門の基礎が残存している点も予想され、検出を目指した。

遺構・遺物 1 区では搅乱を検出した(図 4)。幕末から明治期にかけて掘削されたと考えられる。西之丸と小普請所を画する石組溝は検出されなかった。

2 区で検出した近世の遺構は、石組溝 3 条、素掘り溝 3 条、土坑 2 基、木杭 2 本である。また、土層観察により馬場土手の東に砂を敷き面を構築した状況を検出することができた(図 5)。通用門の礎石は検出されなかった。遺物は肥前の陶磁器の碗や皿が大半を占める。それ以外では土師器の皿、焼塙壺、碁石、軒丸瓦等が出土した。

SD1 は北・東壁際のトレーンチを含む 5 つのトレーンチで検出した。検出長は約 13.1m、幅は 1.3 ~ 20m、深さは 0.5 ~ 1.0m で、二段掘りである。底部高を比較すると、東から北への水流が推定できる。東壁土層より、SD1 を埋めつつ地山の高まりを削平し造成がなされている。造成土から 17 世紀中頃の遺物が出土していることから、SD1 を埋めて新たに石組溝を構築したと推定する。

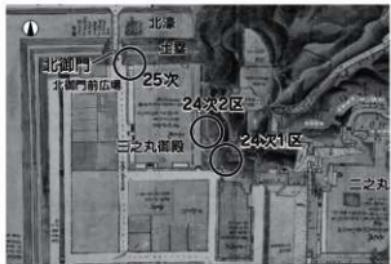


図 2 「亀郭城秘図」における調査区の位置



図 3 「松山城下図屏風」における調査区の位置

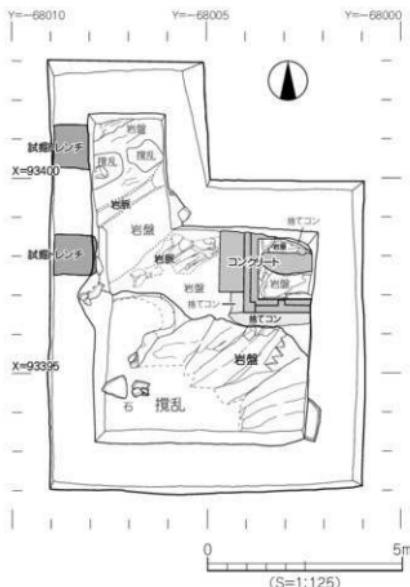


図4 1区遺構配置図

土坑は調査区西北部と西南部で各1基検出した。両者とも梢円形である。

調査区西北部の西壁で版築状の土層を観察した。厚さ約1~13cm程度の砂層が十数層堆積する。この層は北・南壁で石組溝3の西側列石にゆるやかな傾斜で接続する。『御三丸図』に記された「馬場土手」に近接することから、路面ではないかとみられる。

まとめ 1区では調査区南部に激しく搅乱を受けた様子が観察できた。石組溝は検出されなかった。調査区の北側に西之丸の基盤層である岩盤が検出された。

2区で検出した遺構や出土遺物の検討の結果、本調査区での土地利用の一端が明らかとなった。溝を埋めた後に、新たに石組溝を構築した点が指摘できる。SD1からは17世紀前半の遺物が出土している。一方、石組溝からは17世紀後期~18世紀の遺物が出土している。これより、当初の排水溝はSD1であったが、その後この溝を埋め平坦部を造成し、石組溝を構築したと推測できる。SD1は地山裾部を掘削しているのに対し、石組溝は地山の西に平坦面を形成している。この平坦面をどのように利用したかについては、今後の検討が必要になる。さらに、石組溝1と3の連結部の検出、石組溝3と北側の1次調査II区で検出した石組溝との連結部の確認、西壁土層で確認された平坦面の広がりを確認する必要がある。(宮脇)

[参考資料]

『亀郭城秘図』(伊予史談会所蔵)

『松山城下図屏風』(愛媛県歴史文化博物館所蔵)

石組溝1は検出長7.2m、幅0.6m、深さ0.3~0.4m、石組溝3は検出長5.4m、幅0.6m、深さ0.3~0.4mである。この二条の溝は、一連のものであろう。両者は図2・図3における三之丸御殿東辺の屈曲部を構成しているとみられる。両者とも底部は地山で根石を置き、長径30~70cm程度の石材を配置している。石組溝1は、若干湾曲する。石組溝3は北でやや西に振れる。1次調査II区で検出した石組溝と連続するとみられるが、II区の溝が石組溝3のやや東に位置しているため、ある程度の屈曲が予想される。石組溝1と3の高低差は約10cmで、石組溝3が高い。この状況から、水は北から南、東へ流れている。石組溝2は石組溝1の直上で検出した。石組溝1の内部に崩落している石材もある。自然石を多用している。

木杭は北壁と調査区南部で出土した。残存高は約35~40cmで、直径は12~14cmである。これらの木杭の用途は不明である。

松山城三之丸跡 24 次調査

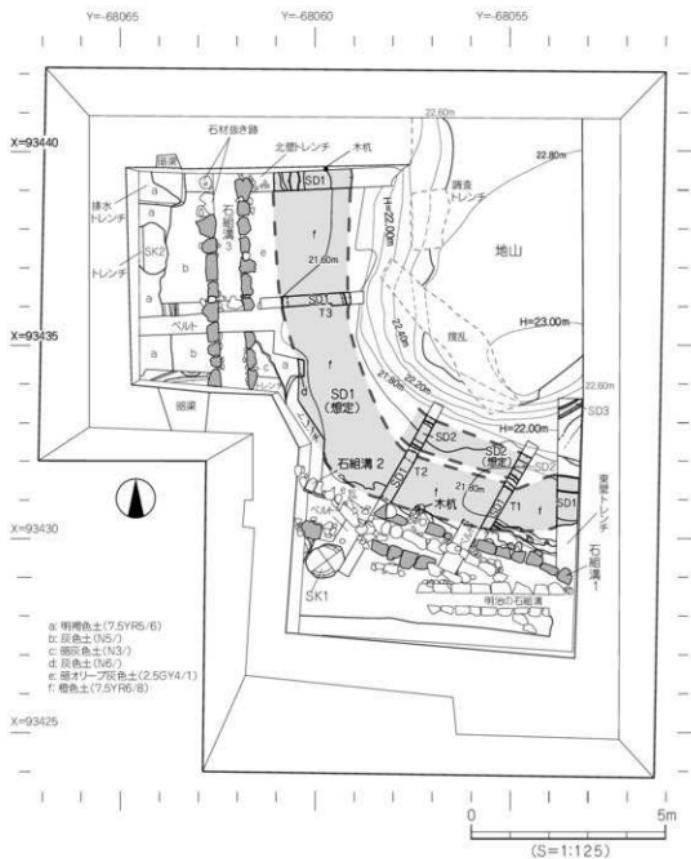


図 5 2区遺構配置図



写真1 1区全景（南東より）



写真2 2区全景（南より）

まつやまじょうさんのまるあと
松山城三之丸跡 25次調査

所在地 松山市堀之内 13番9、無番地の各一部
(松山地区No.74 史跡松山城跡)

期間 令和3年9月21日～同4年2月4日

面積 143m²

原因 史跡整備に伴う確認調査(国庫補助事業)

担当 橋本雄一・宮脇和人・渡部浩史



図1 調査地位置図

概要 国史跡松山城は、道後平野北部の独立丘陵である勝山を中心に構築された近世城郭である。松山市では「城山公園(堀之内地区)整備計画」を基に城山公園堀之内地区的整備を進めており、基礎資料の取得と遺構の保護を目的として、平成13年度から確認調査を実施している。

今回の調査目的は主に、北御門東袖石垣の城内角部の形状を確認すること、23次調査で検出した石垣6がどのように南にのびるのかを確認する点にあった。18～19世紀の絵図では、土壘の城内側東角部の形状を直角や隅切りで描いており、ばらつきがみられる。このため、絵図に表現された形状が実際はどのようなものであったのかを確認する必要があった。

遺構・遺物 土壘、石垣6、列石、北御門前広場、栗石の集積を検出した(図2)。土壘の検出規模は、南北約9.8m、東西約5.0mである。土壘上端の標高は約220m。裾部で約20.4mである。傾斜は約40°である。土壘の構築は二工程に分けられると推定できる。まず下層にやや軟質な黄褐色土や黒褐色土を積む。次に、この上層に褐色の砂質土を盛りつける(図3)。これは黄褐色土が軟弱なため、土壘の斜面を補強するためと考えられる。土壘上部の褐色砂質土が明治～昭和期の造成により削平されている箇所が複数あるので、下層の黄褐色土が露出している。

23次調査で検出した石垣6の南に、石材1個を検出した。これより南では、石材の抜き跡が観察できたにとどまった。抜き跡から列石の始点までは、栗石を検出した。栗石については、盛り土を重ねる工程で、斜面部の補強を目的としたものとみられる。

石垣5の下端で面を成した状態で検出された列石は、23次調査では雨落溝と捉えていたが、今回の調査で犬走りであることが判明した。

石垣5と6の交点から南に20.4mの地点で一段の列石を検出した。検出長は約3.9mである。北から西に30°振る。列石は、土壘の城内側が、隅切りであることを示している。列石の南東部は造成により破壊されており、どこまでのびるのかは不明であるが、19次調査2区の成果により、土壘の南辺はある程度想定できる(図4)。

土壘裾部の西に、灰白色砂を主とする平坦面を検出した。これは幕末期の北御門前広場と推定できる。標高は約20.3mである。

遺物は、土壘上部の擾乱層から肥前の陶器が出土している。器種は皿や向付である。17世紀前半のものである。石垣6の直上には黄褐色土層が分布している。層厚およそ10～15cmである。この層は北御門解体時に付近にちらばった瓦葺に由来する土層である。ここから萩焼、京・信楽焼とみられる遺物が出土した。19世紀を上限とする。また、土壘裾部からは、在地の陶器である西岡焼が出

松山城三之丸跡 25 次調査

土している。土壘内下層の黒褐色土は、弥生土器、須恵器、土師器を含んでいる。この黒褐色土は、北に隣接する若草遺跡の包含層と推測される。

まとめ 今回の調査では以下の諸点が明らかとなつた。北御門東袖石垣に付随する土壘の城内側角部の形状は隅切りであった。土壘の構築は、大まかに二段階の工程が考えられる。また、土壘の南辺は、17次調査2区で検出した土壘と石垣のラインに対応すると想定される(図4)。22次調査以降の調査によって、北御門東・西袖石垣と土壘との位置関係が徐々に明らかとなってきた。今後は、さらに両袖石垣の構造と規模を解明する必要がある。(宮脇)

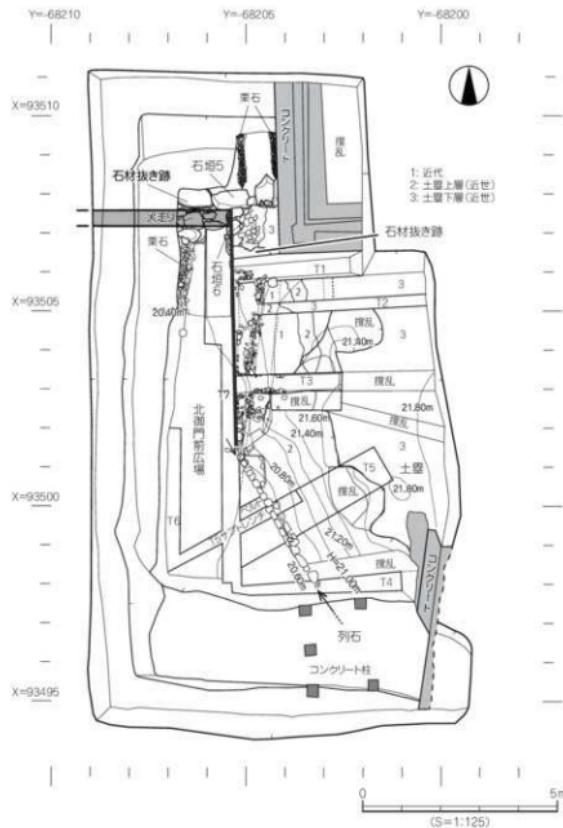


図2 遺構配置図

松山城三之丸跡 25 次調査

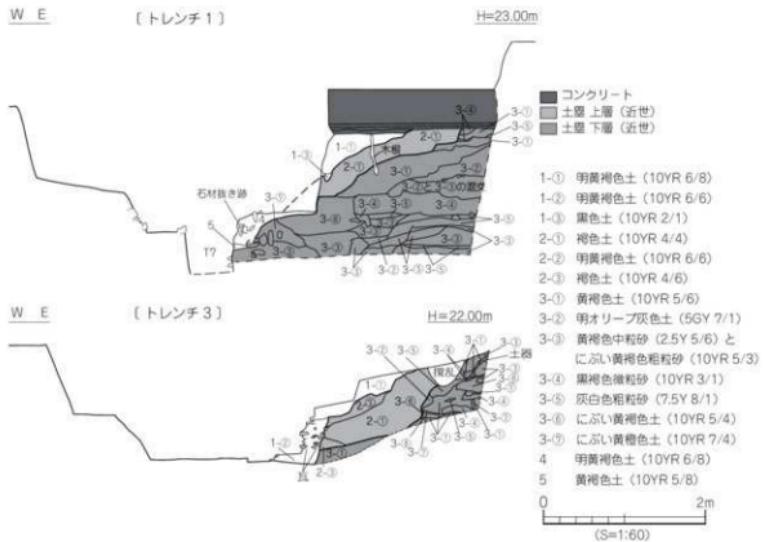


図3 土壌西端の土層

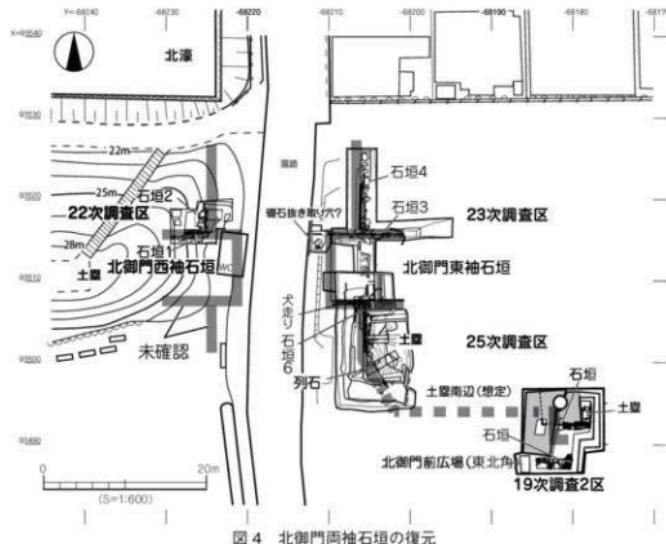


図4 北御門両袖石垣の復元



写真1 北御門東袖の土壘検出状況（南西より）



写真2 列石検出状況（北西より）

II 令和3年度
松山市埋蔵文化財調査関係資料

令和3年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

●例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は、令和3年4月1日～令和4年3月31日受付迄（申請番号1～231号）の資料を取り扱う。なお、令和2年度以前の資料については、「松山市埋蔵文化財調査年報I～X（昭和60～平成9年度）、同年報11～33（平成10～令和2年度）」を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、水本完児、渡部浩史、坂本久美子、篠原綾、岡崎政信が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認申込書の番号に準するものである。また、本発掘調査については、令和3年度内に発掘調査を完了した遺跡を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、10万分の1の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について
 - ① 標 高：地表面での測定値。
 - ② 申 込 者：公=地方公共団体等、民=民間事業者。
 - ③ 調査方法：試掘、踏査及び既往・周辺の調査履歴。
 - ④ 緊 急：記録保存を目的とした調査。
- 国 補：国庫補助事業調査。

●埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来的な文化の向上・発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和25年に制定された文化財保護法には、国民の心構えとして、「政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない」とこと、「文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに（中略）その文化的活用に努めなければならない」とことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

周知の埋蔵文化財包蔵地とは、貝づか、古墳その他の埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地のことです。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図^④に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行う場合は、60日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註）地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、文化財課にて配布しているほか、松山市ホームページでも閲覧が可能です。

●周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について

令和3年度は以下の5件の埋蔵文化財包蔵地に関する見直しが報告されました。

表1 松山市埋蔵文化財包蔵地変更一覧

包蔵地番号	包蔵地名 称	種類	時 代	見直し結果
110	釜ノ口遺跡	集落跡・散布地	旧石器・縄文・弥生・古墳・古代・中世	R43修正
120	北土守宮寺遺跡	集落跡・散布地	縄文・弥生・古墳	R43修正
163	東石井宝来遺跡	集落跡	弥生・古墳・古代	R43修正
222	北井門遺跡	集落跡・古墳・散布地	縄文・弥生・古墳・古代・中世・近世	R43修正
176	土居城跡	城館跡	中世	R43廃止

表2 令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No.	所在地	面積 (m ²)	標高 (m)	包蔵地 番号	申込者	工事の目的	調査方法	遺跡 有無	包含層 構成	出土遺物	備考
1	南江戸五丁目	1,201.96	13.80	No.221	民	住宅	試掘	無	○	出生土器・陶瓦器 (縄文・古墳・海貝器)	
2	朝美一丁目	313.49	24.00	No.33	民	宅地造成	既往の調査履歴 H03-080 (有)	(無)			
3	朝美二丁目	459.50	20.20	No.34	民	住宅	試掘	無			
4	道後北代	198.44	34.50	No.57	民	住宅	試掘	無			
5	船ヶ谷町	11,211	1,560.0	No.16	民	宅地造成	試掘	無			
6	山越三丁目	165.42	20.20	No.168	民	住宅	試掘	無			
7	文京町	約 381.49	-27.80 -28.30	No.67	民	その他開発	既往の調査履歴 家庭用陶器 H03-038 (有)				
8	祝谷五丁目	270.14	44.40	No.56	民	住宅	試掘	無	○	出生土器	
9	稚見町	303.12	33.40	No.170-3	民	住宅	既往の調査履歴 H03-180 (有)				
10	小坂四丁目	103.17	25.00	No.110	民	住宅	試掘	無			
11	樽味二丁目	398.20	43.00	No.81	民	その他他建物	試掘	有	○ 縄・木炭 柱穴	出生土器	
12	南江戸四丁目	35.28	12.30	No.35	公	その他の建物	既往の調査履歴 H03-220 (無)				
13	善応寺	518.10	48.30	北条67	民	住宅	試掘	有	○ 縄・木炭 柱穴	出生土器・土壤器	
14	福角町	196.10	29.00	No.170-1	民	その他他建物	試掘	無			
15	道後湯月町	94.69	59.40	No.58	民	その他他建物	試掘	無			
16	北吉田町 高岡町	1,194.16	27.30	No.25	民	住宅	踏査	無			
17	西石井四丁目	3.44	18.80	No.119	民	水道	既往の調査履歴 H03-307 (有)				
18	北久米町	148.06	31.50	No.124 No.126-1 No.126-2	公	水道	既往の調査履歴 H11-206 H12-177 H13-276 H25-276 H30-007 (有)				
19	西石井二丁目	55.30	19.80	No.119	公	水道	既往の調査履歴 H03-073 H28-226 (有)				
20	西石井六丁目	426.63	21.70	No.119	民	その他他建物	試掘	無	○	出生土器・土壤器	
21	庄	452.58	36.20	包蔵地外	公	水道	踏査	無			
22	樽味二丁目	753.79	42.50	No.81	民	その他他建物	既往の調査履歴 H03-238 (有)				
23	北斎院町	27.61	12.20	No.156	公	水道	既往の調査履歴 H03-367 (無)				
24	南久米町	2,904	47.10	No.91	民	その他他建物	既往の調査履歴 H03-039 (無)				
25	太山寺町	1,162.41	3.40	No.173	民	その他他建物	試掘	無			
26	太山寺町	1,147.71	3.40	No.173	民	その他他建物	試掘	無			
27	上野町	7.20	61.80	No.135	公	水道	既往の調査履歴 H03-208 (無)				
28	西石井五丁目	31.87	20.60	No.119	民	水道	既往の調査履歴 H03-303 H03-099 (有)				
29	小坂四丁目	102.81	25.00	No.110	民	住宅	既往の調査履歴 H03-000 (無)				

松山市埋蔵文化財調査関係資料

令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(2)

							○		
							土壌・軒丸	再生土層	
30	桜谷六丁目	304.33	60.00	No 55	民	住宅	試掘	有	
31	岩崎町二丁目	523.74	35.60	No 224	民	住宅	既往の調査履歴	H01-009	(無)
32	道後一万	108.20	33.20	No 68	民	住宅	試掘	無	
33	吉藤二丁目	153.23	17.60	No 227	民	住宅	既往の調査履歴	H02-232	(有)
34	南江戸四丁目	84.08	11.70	No 35	公	その他開発	既往の調査履歴	H22-384	(無)
35	今在家二丁目	220.27	32.00	No 125	民	住宅	既往の調査履歴	H22-230	(有)
36	北斎院町	334.86	5.60	No 29	民	宅地造成	既往の調査履歴	H02-389	(有)
37	森松町	349.50	34.70	No 134	民	住宅	試掘	有	聖心健樹 再生土層
38	南江戸四丁目	100.98	12.60	No 35	民	住宅	試掘	無	
39	太山寺町	1162.41	3.40	No 173	民	その他建物	既往の調査履歴	H03-025	(無)
40	太山寺町	1147.71	3.40	No 173	民	その他建物	既往の調査履歴	H03-026	(無)
41	桑原五丁目	132.77	36.20	No 82	民	住宅	既往の調査履歴	H02-072	(有)
42	南江戸五丁目	849.68	12.60	No 35	民	住宅	既往の調査履歴	H02-396	(無)
43	柳味四丁目	586.37	41.00	No 81	民	その他建物	試掘	有	聖心健樹 軒丸
44	南久米町	473.86	35.80	No 126-1	民	宅地造成	試掘	無	
45	朝美一丁目	1669.09	29.80	No 33	民	宅地造成	試掘	有	○ 調・軒丸 再生土層 底盤部・基礎部
46	南久米町 来住町 北久米町	257.12	38.40	No 127	公	水道	既往の調査履歴 入札説明書 合意書	H02-300 (有) (無)	
47	安城寺町	123.00	8.10	No 154	公	水道	既往の調査履歴	H06-257 H11-269 H12-270 H24-055 (無)	
48	西石井六丁目	785.43	21.60	No 119	公	その他建物	試掘	有	○ 調・土盤 軒丸 初期不明土盤欄杆
49	文京町	約 17.96	28.30	No 67	民	学校	既往の調査履歴	聖心健樹 軒丸	(有)
50	森松町	1980.70	34.40	No 134	公	その他建物	既往の調査履歴	H05-028	(無)
51	西野町	140.00	68.80	私藏地外	公	その他建物	試掘	無	
52	石風呂町	611.71	3.20	私藏地外	公	その他建物	試掘	無	
53	南江戸六丁目	179.17	13.00	No 35	民	宅地造成	試掘	無	
54	久万ノ台	132.02	16.00	No 167	民	住宅	試掘	無	
55	清水町三丁目	47.95	26.10	No 67	公	その他建物	試掘	無	
56	吉藤五丁目	231.00	30.60	No 41	公	道路	既往の調査履歴	H03-145	(無)
57	道後錦台	236.84	41.50	No 57	民	住宅	既往の調査履歴	H08-084	(無)
58	中村三丁目	5.86	26.30	No 110	公	水道	既往の調査履歴	H02-227	(有)
59	柳味三丁目	約 842.40	42.40	No 81	民	学校	—	—	—
60	桑原四丁目	164.81	39.60	No 85	民	住宅	試掘	無	
61	朝日ヶ丘二丁目	1033.84	~ 19.00 ~ 20.70	No 34	民	宅地造成	既往の調査履歴	H02-389	(有)
62	清水町一丁目	244.73	25.50	No 220	民	その他建物	既往の調査履歴	H02-024	(有)
63	小坂四丁目	8.75	24.90	No 110	公	水道	既往の調査履歴	H29-067	(無)
64	南久米町 来住町 北久米町	121.28	38.40	No 127	公	水道	既往の調査履歴 入札説明書 合意書	(有)	
65	煙寺二丁目	122.20	46.50	No 87	公	水道	既往の調査履歴	H05-054 H07-330 H21-262	(無) (無) (無)
66	道後今市	229.10	33.00	No 219	民	住宅	既往の調査履歴	H02-396	(無)
67	柳味二丁目	397.46	43.00	No 81	民	宅地造成	既往の調査履歴	H02-011	(有)
68	文京町	約 328.33	~ 27.80 ~ 28.30	No 67	民	学校	既往の調査履歴	聖心健樹 軒丸	(有)
69	恵原町	370.74	55.10	No 138	民	宅地造成	試掘	無	

松山市埋蔵文化財調査関係資料

(3)

令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

順位	町名	面積	地番	所有者	建物種別	調査結果	備考	備考	備考
70	吉藤一丁目	37.80	29.40	No.45	公	農業関連	—	—	—
71	桑原一丁目	140.61	35.40	No.82	民	住宅	既往の調査履歴	H01-454 (有)	
72	祝谷五丁目	132.19	45.80	No.56	民	住宅	既往の調査履歴	H01-157 (無)	
73	福角町	1,758.00	~ 64.00	公	農業関連	試掘	無		
74	朝美二丁目	159.68	15.10	No.34	民	住宅	試掘	無	
75	桑原五丁目	1,321.46	36.80	No.82	民	その他建物	試掘	無	○ 可能不規土地面積
76	文京町	31.88	27.80 ~ 28.30	No.67	民	学校	既往の調査履歴	X-XXXX (有)	
77	南江戸三丁目	292.51	13.50	No.35	民	住宅	既往の調査履歴	H01-029 (無)	
78	道後一万	27.24	33.20	No.68	民	水道	既往の調査履歴	H01-032 (無)	
79	平井町	2,179.22	~ 67.20 ~ 67.40	No.90	民	その他建物	試掘	無	
80	平井町	128.98	59.00	No.152	民	住宅	既往の調査履歴	H01-131 (有)	
81	権現町	311.57	35.50	No.170-3	公	道路	既往の調査履歴	H01-110 H07-256 (無) (無)	
82	別府町	287.83	5.40	No.24	民	住宅	試掘	無	
83	桑原四丁目	176.88	39.60	No.85	民	住宅	既往の調査履歴	H01-080 (無)	
84	吉藤二丁目	153.25	17.60	No.227	民	住宅	既往の調査履歴	H01-132 (有)	
85	朝日ヶ丘二丁目	156.29	~ 19.00 ~ 20.70	No.34	民	住宅	既往の調査履歴	H01-189 (有)	
86	南江戸五丁目	138.84	13.40	No.33	民	住宅	試掘	無	
87	柳味二丁目	397.46	43.00	No.81	民	その他建物	既往の調査履歴	H01-011 (有)	
88	東石井六丁目	412.91	22.00	No.119	民	住宅	試掘	無	
89	米住町	51.20	40.00	No.127	公	水道	既往の調査履歴	H01-135 (有)	
90	朝日ヶ丘二丁目	196.08	~ 19.00 ~ 20.70	No.34	民	住宅	既往の調査履歴	H01-189 (有)	
91	朝美一丁目	146.86	15.00	No.34	民	住宅	既往の調査履歴	H01-202 H02-126 (有) (有)	
92	北斎院町	19.86	8.50	No.29	公	水道	既往の調査履歴	H01-425 (無)	
93	米住町	230.00	40.50	No.127	民	宅地造成	試掘	有	津・林穴 既生土部
94	持田町四丁目	241.46	35.50	No.72	民	住宅	試掘	無	○ 既生土部
95	北井門五丁目	2,716.07	~ 24.20 ~ 25.50	No.222	民	その他建物	既往の調査履歴	H01-223 (有)	
96	柳味二丁目	約 300.00	42.60	No.81	民	住宅	試掘	無	○ 既生土部
97	中通	460.04	~ 16.80 ~ 17.60	北条 No.40 北条 No.68	民	宅地造成	既往の調査履歴	H01-071 (有)	
98	南森院町	437.67	~ 10.90 ~ 11.00	No.230	民	住宅	試掘	無	○ 可能不規土地面積
99	持田町三丁目	2,708.51	41.50	No.72	民	住宅	既往の調査履歴	H01-163 (無)	
100	南高井町	198.35	36.20	No.134	民	住宅	試掘	無	
101	太山寺町	2,179.69	3.50	No.173	民	その他建物	試掘	無	
102	安城寺町	46.97	9.20	No.154	公	水道	既往の調査履歴	H01-113 H02-139 (有) (有)	
103	道後北代	198.44	34.50	No.57	民	住宅	既往の調査履歴	H01-006 (無)	
104	南江戸四丁目	42.75	12.90	No.35	公	電気	既往の調査履歴	古墳墓跡 7.5m (有)	
105	柳味三丁目	約 100	44.60	No.81	民	その他開発	既往の調査履歴	史跡大字御所 御所IV (有)	
106	溝辺町	343.56	73.40	No.75	民	住宅	試掘	無	
107	祝谷四丁目	183.35	39.60	No.56	民	住宅	試掘	無	
108	西石井六丁目	156.93	21.60	No.119	民	住宅	試掘	無	○ 既生土部 既生土部 既生土部
109	桑原五丁目	280.40	35.80	No.82	民	住宅	試掘	有	井口一溝 有穴

松山市埋蔵文化財調査関係資料

(4)

令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

110	余戸南二丁目	94.88	8.00	私藏地外	公	道路	試掘	無			
111	南江戸四丁目	411.69	11.70	No.35	民	宅地造成	試掘	有	○ 土坑・柱穴 排水管・廻型器		
112	北久米町	94.0	33.00	No.126-1	公	水道	既往の調査履歴	H09-309 H11-300 H29-123	(無) (無) (無)		
113	余戸西一丁目	592.61	5.60	No.228	公	その他開発	既往の調査履歴	H02-160	(有)		
114	森松町	108.57	34.70	No.134	民	住宅	既往の調査履歴	H03-037	(有)		
115	森松町	104.93	34.70	No.134	民	住宅	既往の調査履歴	H03-037	(有)		
116	森松町	135.99	34.70	No.134	民	住宅	既往の調査履歴	H03-037	(有)		
117	北井門二丁目	903.00	25.30	No.222	民	その他建物	試掘	有	○ 空穴建物・遺 土坑・柱穴 排水管・廻型器		
118	善応寺	971.87	48.00	北条No.67	民	住宅	試掘	無			
119	福音寺町	44.40	30.30	No.116	公	水道	既往の調査履歴	福音寺小学校 H01-008	(有)		
120	清水町二丁目	222.00	24.00	No.67	民	住宅	試掘	無	○ 再生土質		
121	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廢棄
122	祝谷五丁目	143.57	49.00	No.56	民	住宅	試掘	無			
123	小坂二丁目	319.38	29.60	No.108	民	住宅	試掘	無			
124	桑原五丁目	1258.10	36.70	No.82	民	その他建物	試掘	無			
125	中通	457.67	16.80 ~ 17.60	北条No.40 北条No.68	民	住宅	既往の調査履歴	H02-074	(有)		
126	南久米町	77.90	36.50	No.126-1	公	水道	既往の調査履歴	H03-082	(有)		
127	北土居五丁目	998.00	24.00	No.120	民	その他建物	試掘	無			
128	椿味三丁目	約 2,278.66	44.60	No.81	民	その他建物	既往の調査履歴 奈良大学跡 H01-007 XDV-323328	(有)			
129	西石井六丁目	285.58	21.80	No.119	民	住宅	試掘	無	○ 昭和初期土器発見		
130	北斎院町	453.52	7.50	No.29	民	宅地造成	試掘	無			
131	小坂一丁目	160.00	31.30	No.108	公	学校	試掘	有	■		
132	祝谷六丁目	313.29	74.80	No.49	民	その他建物	試掘	無			
133	吉藤五丁目	4.18	17.90	No.41	民	水道	既往の調査履歴	H16-128	(無)		
134	古川北三丁目	96.69	16.00	No.225	民	住宅	既往の調査履歴	H11-100	(無)		
135	椿味二丁目	5.27	43.00	No.81	公	水道	既往の調査履歴	H03-011	(有)		
136	中通	54.10	46.50	北条No.58	公	農業関連	踏査	無			
137	朝日ヶ丘二丁目	599.92 ~ 20.70	19.00	No.34	民	宅地造成	既往の調査履歴	H02-189	(有)		
138	祝谷四丁目	180.99	48.20	No.55	民	住宅	試掘	有	○ 再生土質・磚		
139	道後今市	172.08	32.00	No.68	民	住宅	既往の調査履歴	H02-181	(無)		
140	桑原六丁目	790.00	31.90	No.82	民	宅地造成	試掘	無			
141	太山寺町	2,170.00	3.50	No.173	民	その他開発	既往の調査履歴	H03-011	(無)		
142	高砂町一丁目	134.36	23.00	No.220	民	その他建物	既往の調査履歴	H02-123	(無)		
143	谷町	69.74	13.00	No.41	公	水道	既往の調査履歴	H25-000 H29-008 H31-000	(無) (無) (無)		
144	福音寺町	981.95 ~ 24.20	23.80	No.114	民	その他建物	試掘	無			
145	桑原一丁目	140.73	35.40	No.82	民	住宅	既往の調査履歴	H01-034	(有)		
146	谷町	713.40	49.90	No.41	公	農業関連	踏査	無			
147	福音寺町	135.36	30.40	No.116	民	宅地造成	試掘	有	■		
148	朝日ヶ丘二丁目	165.50 ~ 20.70	19.00	No.34	民	住宅	既往の調査履歴	H02-189	(有)		
149	朝日ヶ丘二丁目	253.54 ~ 20.70	19.00	No.34	民	住宅	既往の調査履歴	H02-189	(有)		
150	久万ノ台	159.06	22.00	No.167	民	住宅	既往の調査履歴	H01-107	(有)		

松山市埋蔵文化財調査関係資料

(5)

令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

						踏査	無		
151	善応寺	18.40	65.20	北条No.67	公	農業開進			
152	祝谷五丁目	270.14	44.40	No.56	民	住宅	既往の調査履歴 H03-008	(無)	
153	北斎院町	507.34	8.60	No.29	民	住宅	試掘	無	
154	吉藤二丁目	252.33	20.00	No.227	民	住宅	既往の調査履歴 H02-172	(有)	
155	北斎院町	453.51	7.50	No.29	民	住宅	既往の調査履歴 H03-130	(無)	
156	朝日ヶ丘二丁目	136.52	17.80	No.34	民	住宅	試掘	無	
157	桑原五丁目	132.27	36.20	No.82	民	住宅	既往の調査履歴 H03-072	(有)	
158	太山寺町	905.00	2.20	No.173	民	その他開発	試掘	無	
159	北斎院町	79.90	6.70	包蔵地外	公	水道	試掘	無	○ 埋蔵地
160	朝美一丁目	50.10	29.80	No.33	公	水道	既往の調査履歴 H03-045	(有)	
161	東住町	4.00	39.50	No.127	公	水道	既往の調査履歴 H03-229	(無)	
162	衣山二丁目	244.00	24.90	No.20	民	住宅	試掘	無	
163	桑原一丁目	140.78	35.40	No.82	民	住宅	既往の調査履歴 H03-154	(有)	
164	朝日ヶ丘二丁目	206.80	~ 19.00	No.34	民	住宅	既往の調査履歴 H03-189	(有)	
165	浅海原	3,477.00	~ 25.30	包蔵地外	公	農業開進	試掘	無	
166	北斎院町	744.36	10.60	No.156	民	宅地造成	既往の調査履歴 H03-156	(無)	
167	北斎院町	174.67	10.50	No.156	民	住宅	既往の調査履歴 H03-084	(無)	
168	北梅本町	505.00	~ 113.40	No.166	公	道路	試掘	無	
169	吉藤二丁目	201.11	20.00	No.227	民	住宅	既往の調査履歴 H02-172	(有)	
170	平井町	481.00	57.20	No.152	民	住宅	試掘	有	既穴
171	祝谷五丁目	143.57	49.00	No.56	民	住宅	既往の調査履歴 H03-122	(無)	
172	余戸西三町目	371.85	~ 4.20	No.228	公	道路	試掘	無	
173	高岡町 北斎院町	331.60	13.70	No.26	公	水道	既往の調査履歴 順田中学校 横内道路	(有)	
174	今在家一丁目	105.93	32.40	No.125	民	その他建物	試掘	無	○ 可燃不燃土器発見
175	桑原五丁目	3,944.32	36.70	No.82	民	その他建物	既往の調査履歴 H02-362 H03-025 H03-126	(有) (無) (無)	
176	高岡町	6.00	5.80	包蔵地外	公	その他建物	試掘	無	
177	桑原一丁目	139.18	35.40	No.82	民	住宅	既往の調査履歴 H03-154	(有)	
178	南江戸二丁目	1,141.97	13.90	No.37	民	その他建物	既往の調査履歴 H02-103	(無)	
179	祝谷五丁目	331.47	46.60	No.56	民	住宅	試掘	無	
180	久谷町	1.00	112.60	No.171	民	その他建物	—	—	—
181	福音寺町	137.64	29.20	No.116	民	住宅	既往の調査履歴 H02-071	(無)	
182	北久米町	339.03	29.30	No.124	民	住宅	試掘	有	塗・柱穴
183	北久米町	919.42	31.50	No.126-1	民	その他建物	既往の調査履歴 H03-007	(有)	
184	西石井一丁目	330.79	20.30	No.119	民	宅地造成	試掘	有	塗・柱穴
185	安城寺町	1,308.00	4.00	No.173	民	その他建物	試掘	無	
186	岩崎町二丁目	664.49	37.40	No.224	民	住宅	試掘	無	○ 可燃不燃土器発見
187	桑原一丁目	136.95	35.40	No.82	民	住宅	既往の調査履歴 H03-154	(有)	
188	南江戸三丁目	908.93	13.00	No.35	民	その他建物	試掘	有	○ 士塁 塗壁 瓦器
189	和泉南五丁目	12,869.35	~ 14.40	包蔵地外	公	その他建物	試掘	無	
190	和泉南六丁目	15,191.17	~ 13.80	包蔵地外	公	その他建物	試掘	無	
191	安城寺町	130.50	7.80	No.154	公	学校	既往の調査履歴 H02-263 H02-121	(有) (無)	
192	南江戸五丁目	299.55	22.60	No.33	民	宅地造成	試掘	有	○ 塗・柱穴 埋蔵物

松山市埋蔵文化財調査関係資料

令和3年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(6)

193 来住町	281.00	36.00	No 127	民	住宅	試掘	無		
194 善応寺	1020.31	46.40 ~ 47.60	北条No.67	民	宅地造成	試掘	有	第1本丸 柱穴	土塀跡・瓦跡 発掘記
195 来住町	408.30	40.00	No 127	公	水道	既往の調査履歴 松山市文化財 登録番号 111	H23.09 (有) H21.09 (有)		
196 朝日ヶ丘二丁目	146.81 ~ 20.70	19.00 No 34	民	住宅	既往の調査履歴	H02.109	(有)		
197 天山一丁目 小坂四丁目	53.87	21.10	No 112 No 113	民	電気	既往の調査履歴 H07.108 H21.099	(有) (有)		
198 南久米町	254	35.90	No 126-1	公	水道	既往の調査履歴	H00.147	(無)	
199 南久米町	547.64	39.60	No 127	民	その他建物	試掘	有	第1本丸・第 2本丸・柱穴	土生土器・瓦 発掘記
200 朝美二丁目	488.00	20.20	No 34	民	住宅	既往の調査履歴	H03.063	(無)	
201 北井門三丁目	275.58	22.70	No 121	民	住宅	試掘	有	○ 柱穴	司馬不明と都城跡
202 来住町 南久米町	1,017.10	39.70	No 127	民	宅地造成	既往の調査履歴 H02.220 H02.229	(有) (有)		
203 山越一丁目	1,026.14	18.50 ~ 18.70	No 160	民	宅地造成	試掘	有	第1本丸	出生土器
204 東石井六丁目	55.01	24.40	No 119	民	その他建物	既往の調査履歴	H03.053	(無)	
205 福音寺町	133.47	30.40	No 116	民	住宅	既往の調査履歴	H03.147	(有)	
206 祝谷六丁目	205.72	72.90	No 49	民	住宅	試掘	無		
207 北梅本町	1.00	116.00	No 105	民	その他建物	—	—	—	
208 下難波	0.672	22.70	北条No.40	公	農業関連	—	—	—	
209 小坂五丁目	975.00	23.70	No 111	民	宅地造成	試掘	有	○ 柱穴	第1本丸・第2本丸
210 一番町三丁目	0.09	31.10	No 74	民	その他建物	既往の調査履歴 H02.122	(有)		
211 持田町三丁目	173.56	35.00	No 72	民	住宅	試掘	無	○	司馬不明土器痕跡
212 東石井六丁目	25.76	23.00	No 119	公	水道	既往の調査履歴 松山市文化財 登録番号 132	(有)		
213 東石井七丁目	58.10	23.00	No 163	公	水道	試掘	有	○ 痕跡	司馬不明土器痕跡
214 越智一丁目	56.08	29.90	No 217	公	水道	既往の調査履歴	H01.068	(有)	
215 小坂四丁目	144.98	25.60	No 110	民	住宅	試掘	無		
216 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—
217 常光寺町	804.02	62.80 ~ 66.00	No 62	民	その他開発	試掘	無		
218 東方町	424.63	57.10	No 143	民	住宅	試掘	有	○ 柱穴跡	出生土器・木漆器
219 久米窪田町	241.89	47.00	No 129	民	その他建物	試掘	無		
220 桑原五丁目	1.70	36.80	No 82	公	水道	既往の調査履歴	H03.302	(有)	
221 南江戸四丁目	137.66	11.70	No 35	民	その他建物	既往の調査履歴	H03.111	(有)	
222 祝谷二丁目	123.43	42.20 ~ 42.30	No 57	民	住宅	既往の調査履歴	H02.093	(有)	
223 祝谷二丁目	129.17	49.80	No 57	民	住宅	試掘	有	木枕・柱穴	
224 夏目	210.32	33.80	北条No.33	民	住宅	試掘	無		
225 枝松五丁目 小坂四丁目	144.90	28.50 ~ 28.70	No 110	公	水道	試掘	有	柱穴跡 遺物	
226 山田町	174.02	174.02	No 49	民	住宅	試掘	無		
227 枝松三丁目	199.51	199.51	No 83	民	住宅	試掘	有	第1本丸 柱穴	
228 祝谷六丁目	205.72	72.90	No 49	民	その他建物	既往の調査履歴	H03.206	(無)	
229 高岡町	129.08	7.90	No 26	民	住宅	既往の調査履歴	H02.087	(無)	
230 桑原四丁目	236.76	38.80	No 82	民	その他建物	既往の調査履歴	H07.203	(無)	
231 鷹子町	894.93	43.20	No 128	民	宅地造成	既往の調査履歴	H03.100	(有)	

表3 令和3年度 松山市埋蔵文化財本格調査一覧

調査番号	通跡名	所在地	時代	主な遺構・遺物等	本格対象面積(m ²)	屋外調査期間	調査目的
6.6.9	桜谷アリ道跡2次調査	松山市桜谷六丁目 1086番1, 1087番1の各一部	弥生	溝、土坑、柱穴、水田跡 弥生土器、土師器、須恵器、分離形土製品、 石器、執斧、木器	579.88	R3.8.23～R3.11.5	緊急
6.7.0	清水町道跡3次調査	松山市清水町一丁H5番2, 5番3の各一部	弥生～中世	溝、土坑、柱穴、井戸、自然配路 弥生土器、土師器、須恵器、石包丁	145.00	R3.8.26～R3.9.30	緊急
6.7.1	松山城三之丸跡2.4次調査	松山市属之内 13番9及び無番地 (史跡内)	近世	石組溝、溝、土坑 陶器、磁器、瓦、銅器(劍)、木器	332.00	R3.9.21～R4.2.4	回捕
6.7.2	松山城三之丸跡2.5次調査	松山市属之内 13番9及び無番地 (史跡内)	近世	土壘、石列、石垣、道路 陶器、磁器、瓦、弾丸、弥生土器	143.00	R3.9.21～R4.2.4	回捕



図1 令和3年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図

III 令和3年度
出土物整理・保存処理事業

令和3年度 出土物整理・保存処理事業

1. 出土物整理

当センターでは、近年実施された発掘調査の整理作業と並行して、過去の調査に関する資料の再整理を行っている。

報告書作成に向けて作業を進めている発掘調査の出土品については、必要に応じて注記・接合・復元作業を拡充した上で、実測作業と写真撮影を行っている。報告書が刊行された遺跡の出土品については、掲載順に配列したうえで当センター収蔵庫と別棟の松山市文化財情報館のいずれかに収納するほか、胴部の小片等については市内北吉田町の収蔵庫にて保管している。また、重要遺物については、温湿度管理がなされ、自動消火システムが設置されているセンターの特別収蔵庫にて厳重に保管している。いずれの収蔵場所においても収蔵台帳を作成し、資料調査の依頼等に迅速に対応できる体制をとっている。なお、遺構・遺物の実測図・作業日誌・写真的ネガ・ポジフィルム等は、センターの所定の場所に保管しつつ、必要に応じて再整理を実施することによって、適切な管理を実施している。

(1) 遺物洗浄・注記・接合・復元作業

石膏による土器の復元作業は、報告書掲載写真の撮影と展示目的に加え、遺物の補強のために行う場合もある。近年は、過去に復元済みの遺物について、経年劣化による破損箇所の修復を行うこともある。

表1 遺物接合・復元作業一覧

(1)

遺跡No.	遺 跡	点数	天箱数	調査年度	刊 行 物	備 考
260	若草町遺跡 3次調査	5		平成 5年	松山市文化財調査報告書 第205集	
541	大峰ヶ台道路 12次調査	3		平成 22年	松山市埋蔵文化財調査年報 23	
562	久米高畠遺跡 74次調査	1		平成 24年	松山市文化財調査報告書 第206集	
575	若草町遺跡 4次調査	1		平成 26年	松山市文化財調査報告書 第205集	
629	釜ノ口道路 12次調査	3		平成 29年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
633	久万山本遺跡	2		平成 29年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	国庫補助
635	道後今市道路 16次調査		1	平成 29年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
636	道後今市道路 17次調査	2		平成 29年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
643	鶴塚古墳		8	平成 30年	松山市埋蔵文化財調査年報 30	
644	持田本村遺跡 2次調査		12	平成 30年	松山市埋蔵文化財調査年報 31	
660	東垣生八反地遺跡 6次調査	34		令和 2年	松山市埋蔵文化財調査年報 33	
666	下難波腰折道路 2次調査 (腰折5号墳)	1	13	令和 2年	松山市埋蔵文化財調査年報 33	
669	祝谷アリ遺跡 2次調査		16	令和 3年	松山市埋蔵文化財調査年報 34	
670	清水町遺跡 3次調査		38	令和 3年	松山市埋蔵文化財調査年報 34	

遺物接合・復元作業一覧

(2)

遺跡 No.	遺 跡	点数	天籍数	調査年度	刊 行 物	備 考
672	松山城三之丸跡 25 次調査		1	令和3年	松山市埋蔵文化財調査年報 34	国庫補助
*	城山東1号墳出土 (松山東雲学園所蔵)		5	採集品	『埴輪論叢』第11号掲載予定	

(2) 遺物実測・整理・収藏・図面整理作業

出土品は報告書刊行計画にしたがって分類し、必要なものについて実測図の作成やトレース作業を行っている。近年はデジタルトレースに完全に移行している。遺構測量図等に関しても同様である。

以下、作業を実施した遺跡について概要を記す。

表2 遺物実測・整理・収藏・図面整理作業一覧

遺跡 No.	遺 跡	報 告 書 名	備 考
	年報 33掲載遺跡	松山市埋蔵文化財調査年報 33	令和3年度刊行
596 607	南江戸上沖遺跡 1次・2次調査	『南江戸上沖遺跡』 - 1次・2次調査 -	令和3年度刊行 松山市文化財調査報告書 第202集
661	南高井一丁地遺跡	『南高井一丁地遺跡』	令和3年度刊行 松山市文化財調査報告書 第203集
660	東垣生八反地遺跡 6次調査	『東垣生八反地遺跡』 - 6次調査 -	令和3年度刊行 松山市文化財調査報告書 第204集
260	若草町遺跡 3次調査	『若草町遺跡』 - 3次・4次調査 -	令和3年度刊行
575	若草町遺跡 4次調査		松山市文化財調査報告書 第205集
647	筋達S遺跡	筋達S遺跡	令和3年度刊行
646	久米高畠遺跡 74次調査	久米高畠遺跡 74次調査	松山市文化財調査報告書 第206集
*	平成13年度以降三之丸跡及び周辺で実施した全遺跡	『史跡松山城跡』 保存整備に伴う埋蔵文化財確認調査 総括報告書	令和3年度刊行 松山市文化財調査報告書 第207集
657 658	下難波腰折遺跡 1次調査	未定	令和4年度刊行予定
666 667	下難波腰折遺跡 2次調査		
589	持田本村遺跡	未定	令和4年度刊行予定
644	持田本村遺跡 2次調査	未定	令和4年度刊行予定

(3) 遺物写真撮影・現像・整理作業

令和3年度に報告書などを刊行した遺跡について、掲載遺物の写真撮影及びデータ処理を行った。また、調査直後の遺物や展示・広報関係に使用する物なども適宜撮影している。

撮影においてはフィルムの使用を停止し、遺物用・現場用共に35mm判一眼レフデジタルカメラフルサイズ1台と、APS-C サイズ4台で賄っている。なお、現場用にはコンパクトデジタルカメラも併用している。データ処理には、Adobe Lightroom Classic 及び Adobe Photoshop を使い、TIFF保存を基本としている。編集は、Adobe InDesign で行っている。

撮影済みのフィルムは専用の保管室に収納しているが、使用の際は、スキャナー EPSON GT-X970 でデータ化している。他機関からの依頼はもとより、昔の景観を探しておられた市民の要望に応じ喜ばれた。古い写真もうかつに廃棄できない。

その他、報告書刊行済みの遺跡のデータの再整理を行い、保管データ量の圧縮に努めた。

令和3年度に写真関係の作業を実施した遺跡や遺物は、以下の刊行物に掲載している。

表3 遺物写真撮影及びデータ処理・整理作業一覧

報告書 No.	報告書名	所収遺跡数	備考
*	「掘ったぞな松山2021」ポスター用		令和3年度報告会ポスター
年報 33	「松山市埋蔵文化財調査年報33」	*	令和3年度刊行
第204集	「東坦生八反地遺跡6次調査」	2	令和3年度刊行
第205集	「若草町遺跡3次・4次調査」	2	令和3年度刊行
第206集	「久米高畑遺跡74次調査・筋道5遺跡」	2	令和3年度刊行
第207集	「史跡松山城跡」	*	令和3年度刊行
第＊集	「柳味高木遺跡18次調査」	1	令和4年度刊行予定
第＊集	「大峰ヶ台遺跡12次調査」	1	令和4年度刊行予定
第＊集	「久米高畑遺跡75次調査」	1	令和4年度刊行予定
第＊集	「持田本村遺跡2次調査」	1	令和4年度刊行予定

2. 出土物整理・立会調査（南斎院町）

(1) はじめに

ここでは、文化財保護法第93条の届出に対する愛媛県教育委員会の指示に基づいて行った記録保存のための調査について報告する。

表1 南斎院町立会調査一覧

調査番号	種別	調査年度	所在地	検出遺構	出土遺物	備考
1 R2-207	工事立会	令和3年度	南斎院町 1360番・1361番 1358番2	溝・井戸・柱穴	須恵器・土師器 瓦器・青白磁・白磁	

(2) 南斎院町立会調査 (R2-207)

所在地 松山市南斎院町 1360番・1361番・1358番2

期間 令和3年11月29日～令和3年12月2日

面積 147.78m²

原因 宅地造成・専用住宅の建築

担当 高尾 和長・新原 佑典

山邊 進也・浅井 茂之

山内 英樹（文化財課）



図1 調査地位置図

概要 調査は、宅地造成と専用住宅の建築に伴う掘削に併せて立会調査を実施したものである。当該地は、周知の埋蔵文化財包蔵地「松山地区No.27津田古墳群・遺物包含地」に所在する。周辺では津田中学校構内遺跡1・2次調査、斎院烏山遺跡1・2次調査、津田烏越遺跡などが実施されている。津田中学校構内遺跡からは、弥生時代集落関連遺構や遺物を多数検出し、斎院烏山遺跡では弥生時代前中期～中期初頭の環濠集落を検出している。このほか調査地北西側の丘陵部には津田山古墳群があり、箱式石棺と青銅鏡1面が出土している。これらのことから、令和3年3月8日（月）～令和3年3月9日（火）に、公益財團法人松山市文化・スポーツ振興財團埋蔵文化財センターは、申請地における試掘調査を実施した。その結果、遺構では溝、井戸を検出し、遺物では弥生土器・土師器・瓦器が出土した。愛媛県教育委員会から試掘調査の結果を受け、破壊される遺跡に対して、記録保存のため立会調査を実施することとなった。

成果 調査は、北側から1区～4区に分けて行った。検出遺構は、溝（SD）3条、井戸（SE）1基、柱穴（SP）3条である。

基本層序は12層に分層し、第1層 耕作土、第2層 にぶい黄橙色土（10YR 6/3）、第3層 褐灰色粘質砂（10YR 6/1）、第4層 にぶい黄褐色土（10YR 5/3）と灰白色砂（10YR 7/1）の混じり、第5層 にぶい黄褐色土（10YR 5/3）、第6層 灰黃褐色土（10YR 5/2）、第7層 にぶい黄褐色土（10YR 5/4）、第8層 灰褐色粘質土（7.5YR 5/2）、第9層 にぶい黄色土（2.5Y 6/4）、第10層 暗灰黄色粘質土（2.5Y 5/2）、第11層 黄褐色粘質土（2.5Y 5/3）、第12層 明綠灰色細砂（7.5GY 8/1）（地山）である。遺構は、1区と2区では第12層上面で、4区では第11層上面で遺構を検出した。

以下、各区ごとに遺構と遺物の報告を行う。

1区の調査 遺構は溝（SD）1条を検出した。遺物は、第10層より須恵器、土師器、白磁の小片が出土した。SD1は湧水のため平面では確認できず東壁と西壁の断面で検出した。検出規模は長さ210cm、幅109cm、深さ24cmを測る。断面形態は皿状である。埋土は青灰色土（10BG 5/1）である。遺物は出土していない。

2区の調査 遺構は井戸（SE）1基を検出した。遺物は、第10層より土師器の小片が出土した。SE1は北東側で検出し、平面形態は円形を呈し、検出規模は長径80cm、短径66cm、深さ38cmである。埋土は暗青灰色粘土（10BG 4/1）である。遺物は土師器皿の底部が出土した。

3区の調査 遺構は検出されなかった。遺物は、第10層と第11層で須恵器、瓦器、土師器の小片が出土した。

4区の調査 遺構は溝（SD）2条、柱穴（SP）3基を検出した。遺物は第9層、第10層、第11層より須恵器、土師器、瓦器、青白磁が出土した。SD1は北-東方向を指向するL字状に直線的にのび、溝両端は調査区外につづく。検出規模は長さ8.10m、幅0.54m、深さ5cmを測る。断面形態は皿状で、基底面はほぼ平坦である。埋土は暗灰黄色粘質土（2.5Y 5/2）である。遺物は、土師器、瓦器の小片が出土した。SD2は南北方向を指向する溝で、SP1とSP2に切られる。検出規模は長さ0.95m、幅0.17m、深さ6cmを測る。断面形態はレンズ状である。埋土は暗灰黄色粘質土（2.5Y 5/2）である。遺物は出土していない。SP1は中央南寄りに位置しSD2を切る。平面形態は円形を呈し、規模は径73cm、深さ10cmを測る。埋土は灰褐色粘質土（7.5YR 5/2）である。遺物は、土師器小片が出土した。SP2は中央南寄りに位置しSD2を切る。平面形態は円形で、規模は径28cm、深さ8cmを測る。埋土は灰褐色粘質土（7.5YR 5/2）である。遺物は出土していない。SP3は中央南東寄りに位置し、平面形態は円形で、規模は径32cm、深さ12cmを測る。埋土は暗灰黄色粘質土（2.5Y 5/2）である。遺物は出土していない。

まとめ 本調査地の北側と南側では、試掘調査の結果から灰白色粗砂の層が広い範囲に堆積し、第12層の明緑灰色細砂の地山が検出されなかったことから、北側と南側には河川の広がりが推測される。調査区中央では12層の明緑灰色細砂の地山が広がり、中世の井戸、溝、柱穴を検出した。とくに、4区SD1は北から東に折れ曲がる溝で集落を区画する溝の可能性が考えられる。遺物では白磁、土師器、瓦器が出土した。これらのことから、調査地周辺には中世集落の存在が考えられ、南斎院町の遺跡を知る上で貴重な資料が得られた。今後は、本調査地周辺の広い範囲の調査が進めば、建物跡や土坑など明確な遺構の検出により、中世集落の存在がより一層明らかになると思われる。（浅井）

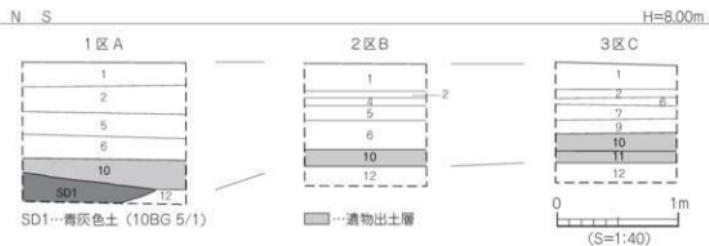


図2 柱状土層図

立会調査（南斎院町）

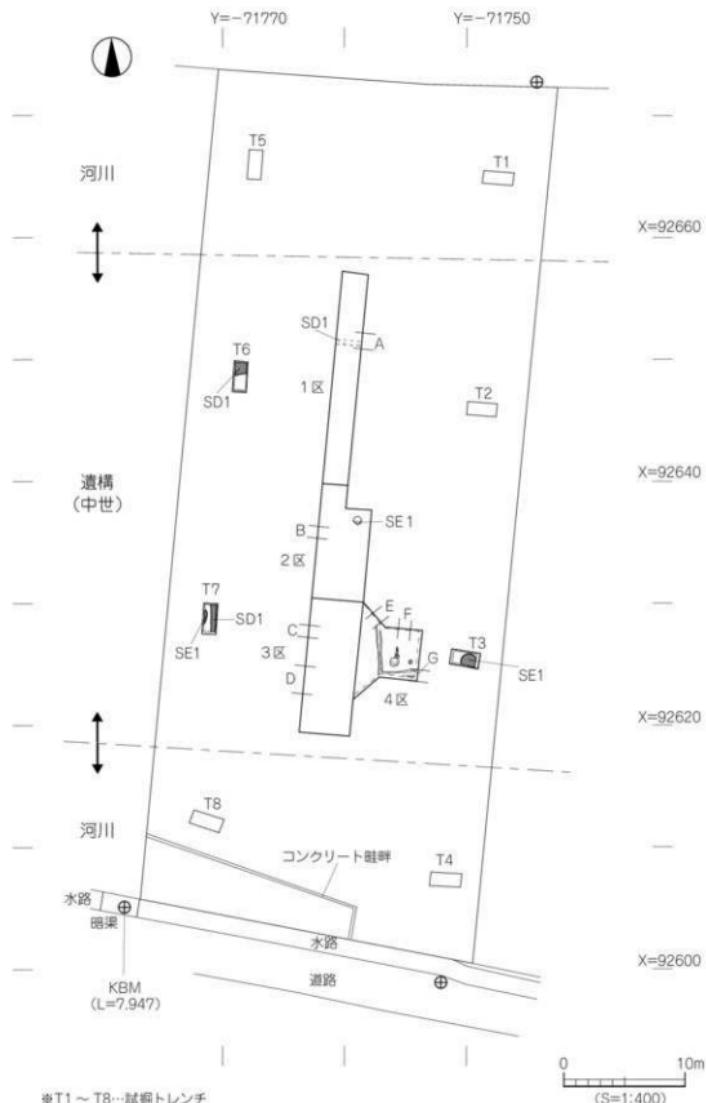


図3 遺構配置図

出土物整理

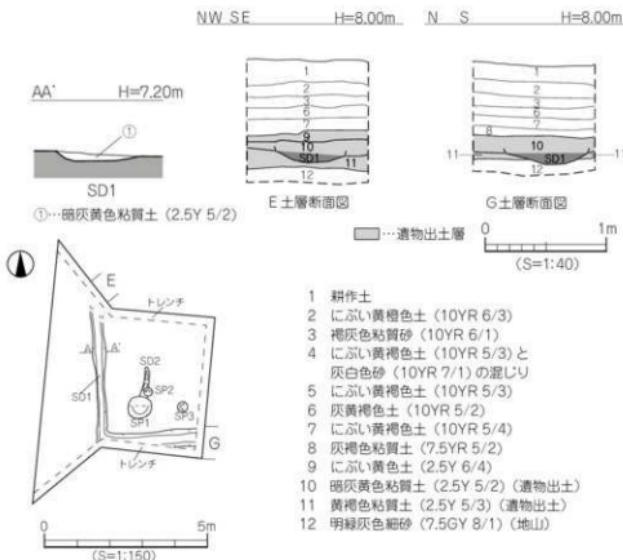


図4 4区遺構配置図

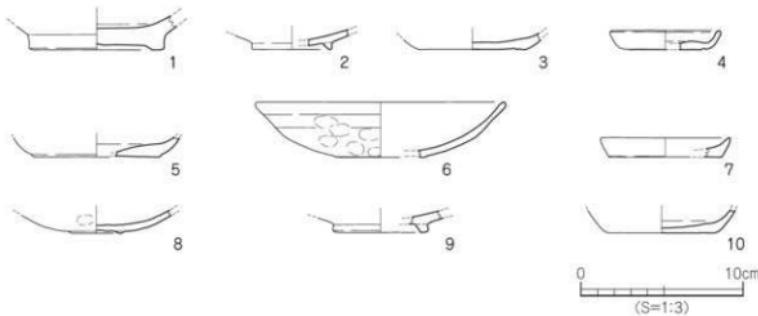


図5 出土遺物実測図

表2 溝一覧

溝 (SD)	地区	断面形	規 模		埋 土	出土遺物	備 考
			長さ	幅×深さ (m)			
1	1区	皿状	(2.10)	× (1.09) × 0.24	青灰色土		束縛と西側で検出
1	4区	皿状	(8.10)	× 0.54 × 0.05	暗灰黄色粘質土	土師器・瓦器	
2	4区	レンズ状	(0.95)	× 0.17 × 0.06	暗灰黄色粘質土		SPI-2に切られる

表3 井戸一覧

井戸 (S E)	地区	平面形	断面形	規 模		埋 土	出土遺物	備 考
				長径×短径	×深さ (m)			
1	2区	円形	皿状	0.80	× 0.66 × 0.38	暗青灰色粘土	土師器	

立会調査（南斎院町）

表4 柱穴一覧

柱穴 (S.P.)	地 区	平面形	規 模		埋 土	出土遺物
			長径×短径×	深さ (m)		
1	4区	円形	0.73	0.73 × 0.10	灰褐色粘質土	土器器
2	4区	円形	0.28	0.28 × 0.08	灰褐色粘質土	
3	4区	円形	0.32	0.32 × 0.12	灰褐色粘質土	

表5 出土遺物観察表

番号	基種	法量 (cm)	形態・施文	調 整		色 調 (外面) (内面)	粘 土 種 成	出土地	備 考	
				外 面	内 面					
1	瓶	底径 残高 21	(8.2) 白磁輪の底部片。削り出し高台。1/5 の残存。	回転ナデ ナデ	ナデ	灰白色 灰白色	素 ○	1区 10層	施釉	
2	环	底径 残高 12	(4.9) 底部片。輪状の高台を貼付。1/6 の残存。	マメツ	マメツ	灰黄色 灰黄色	微砂粒・金 ○	1区 10層		
3	皿	底径 残高 10	(6.6) 底部片。底部外周に回転系切り痕 あり。	ナデ	ナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○	2区 SD1		
4	皿	口径 底径 器高 12	(6.8) 小型の皿。底部外周に回転系切り痕 あり。 (5.0) 1.6の残存。	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ	淡黄橙色 灰黄色	微砂粒 ○	2区 10層		
5	皿	底径 残高 12	(7.6) 底部片。高台を貼付。底部外周に回 転系切り痕あり。1/4の残存。	ナデ	ナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○	3区 9-10層		
6	碗	口径 底径 器高 34	(15.4) (5.6) 3.4	瓦器。外周には縫があり、口縁端部 は丸く仕上がる。1/6の残存。	ナデ (指頭直)	マメツ	灰 暗灰色	石・長 (1-4) ○	4区 SD1	
7	皿	口径 底径 器高 12	(8.0) (6.8) 6.8	箱型を呈する小型の皿。1/4の残存。	マメツ	マメツ	淡黄橙色 淡黄橙色	微砂粒 ○	4区 SD1	
8	碗	底径 残高 14	(3.1) 5.9	瓦器の底部片。低い高台を貼付。1/3 の残存。	ナデ (指頭直)	マメツ	暗灰色 暗灰色	石・長 (1-2) 金○	4区 9-10-11層	
9	环	底径 残高 13	(5.9) 1.6	底部片。高台を貼付。1/4の残存。	ナデ	マメツ	灰・青い黄橙色 灰黄褐色	微砂粒・金 ○	4区 9-10-11層	
10	皿	底径 残高 14	(6.6) 1.6	底部片。1/4の残存。	マメツ	ナデ	灰白色 灰白色	微砂粒 ○	4区 9-10-11層	



写真1 調査区周辺状況 (南より)

写真2 4区 SD1 と東壁 (G) 土層状況 (西より)

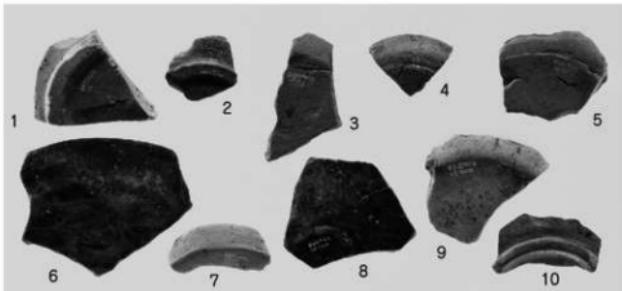


写真3 出土遺物

3. 出土物整理・立会調査（桑原五丁目）

(1) はじめに

ここでは、文化財保護法第93条の届出に対する愛媛県教育委員会の指示に基づいて行った記録保存のための調査について報告する。

表1 桑原五丁目立会調査一覧

調査番号	種別	調査年度	所在地	検出遺構	出土遺物	備考
1 R4-125	工事立会	令和3年度	桑原五丁目町678番1	堅穴建物址・土坑・柱穴	弥生土器・須恵器・土師器 タイゴの羽口	

(2) 桑原五丁目立会調査(H20-342)

所在地 松山市桑原五丁目 678番1
期間 令和4年2月21日～令和4年2月25日
面積 約47.25m²
原因 店舗の建築
担当 高尾 和長・新原 佑典
浅井 茂之
山内 英樹・鶴久森 彬（文化財課）

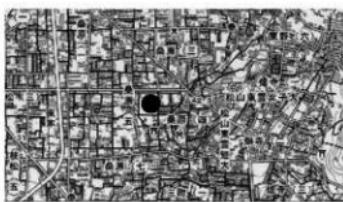


図1 調査位置図

概要 調査は、店舗建築に伴う掘削に併せて立会調査を実施したものである。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地「松山地区No.082 桑原・東本遺跡群」に所在する。調査地の周辺では、経石山古墳、集落遺跡の桑原遺跡、東本遺跡、桑原田中遺跡などが実施されている。桑原遺跡はこれまで7度の調査が行われており、弥生時代から中世の集落関連遺構や遺物が多数出土している。東本遺跡4次調査では、周堤帯をもつ建物と青銅鏡片が出土した建物など多数の堅穴建物址が検出されている。桑原遺跡5次調査では、古墳時代の自然流路内より木鍤、斎申、瓢箪製の杓子などの木製品が出土した。とくに、斎申は本例が市内最古で、瓢箪製の杓子は松山平野で二例目となる貴重な資料である。また、調査地南東に位置する県指定史跡の経石山古墳は、現存長48.5mを測る前方後円墳で、5世紀～6世紀築造の首長墳と考えられている。経石山古墳3次調査では、後円部の南側で幅5.0m、深さ0.4mの周溝を確認し、周溝内からは古墳時代後期～古代の遺物が出土している。

成果 調査は1区～5区に分けて調査を行った。検出遺構は堅穴建物址(SB)1棟、土坑(SK)1基、柱穴(SP)18基である。

基本層序は10層に分層し、第I層 耕作土、第II層 床土、第III層 黒灰色土(7.5YR 4/1)(土師器出土)、第IV層 暗褐色土(10YR 3/3)(土師器出土)、第V層 黒褐色土(10YR 3/2)(弥生土器・須恵器出土)、第VI層 黒色土(10YR 2/1)(弥生土器・須恵器出土)、第VII層 灰黄褐色土(10YR 5/2)に黒色土(10YR 2/1)が混じる(地山)、第VIII層 灰黄褐色土(10YR 5/2)(地山)、第IX層 にぶい黄橙色土(10YR 6/4)(地山)、第X層 灰白色土(10YR 8/1)(地山)である。

遺構は、2区・3区・5区では第IX層上面、4区では第VII層と第IX層上面で遺構を検出した。

以下、各区ごとに遺構と遺物の報告を行う。

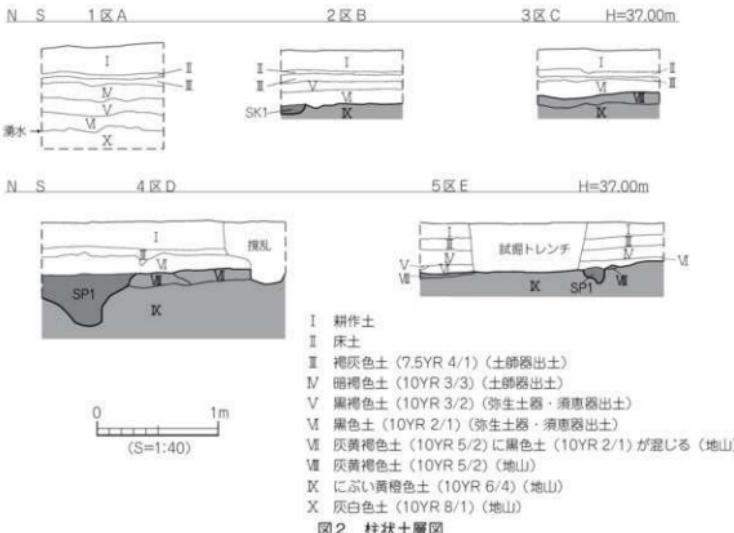


図2 柱状土層図

1区の調査 調査では、遺構は検出されなかった。遺物は第Ⅲ層と第Ⅳ層から土師器、第V層と第VI層から弥生土器と須恵器が出土した。

2区の調査 遺構は、土坑 (SK) 1基と柱穴 (SP) 7基を検出した。SK1は調査区北東部に位置し、北側と東側は調査区外に続く。平面形態は円形で、規模は検出長0.76m、検出幅0.36m、深さ0.08mを測る。埋土は黒色土 (10YR 2/1) である。遺物は口縁部に山形文が施された壺形土器 (No 1) と弥生土器片が少量出土した。柱穴は調査区全域に位置し、平面形態は円形と楕円形がある。規模は径9~44cm、深さ6~28cmを測る。埋土は2種類ありSP1・2・3・6の4基が黒色土 (10YR 2/1)、SP4・5・7の3基が黒色土 (10YR 2/1) ににぶい黄褐色土 (10YR 6/4) 混じりである。遺物はSP1とSP4から弥生土器が出土した。

3区の調査 遺構は、柱穴 (SP) 3基を検出した。第Ⅲ層から土師器、第VI層と第VII層から弥生土器、須恵器が出土した。柱穴は調査区中央部と南部に位置し、平面形態は円形と楕円形がある。規模は直径20~42cm、深さ10~41cmを測る。埋土は、SP1が黒色土 (10YR 2/1) に褐灰色土 (7.5YR 4/1) 混じり、SP2が黒色土 (10YR 2/1)、SP3が褐灰色土 (7.5YR 4/1) である。遺物はSP3から須恵器が出土した。

4区の調査 遺構は、第VII層上面で柱穴 (SP) 1基、第IX層上面で竪穴建物址 (SB) 1棟と柱穴 (SP) 5基を検出した。

SB1は調査区北部に位置し、SP1とSP2に切られ西側と北側は調査区外に続く。平面形態は一部の検出にとどまっているため全容は不明であるが円形をなすものと考えられる。検出規模は長軸1.77m、短軸1.52m、深さ17cmである。埋土は2層に分層され、1層黒褐色土 (10YR 2/2)、2層黒褐色土 (10YR 2/2) に明黄褐色土 (10YR 6/6) 混じりである。遺物は弥生土器片が少量と6世紀後

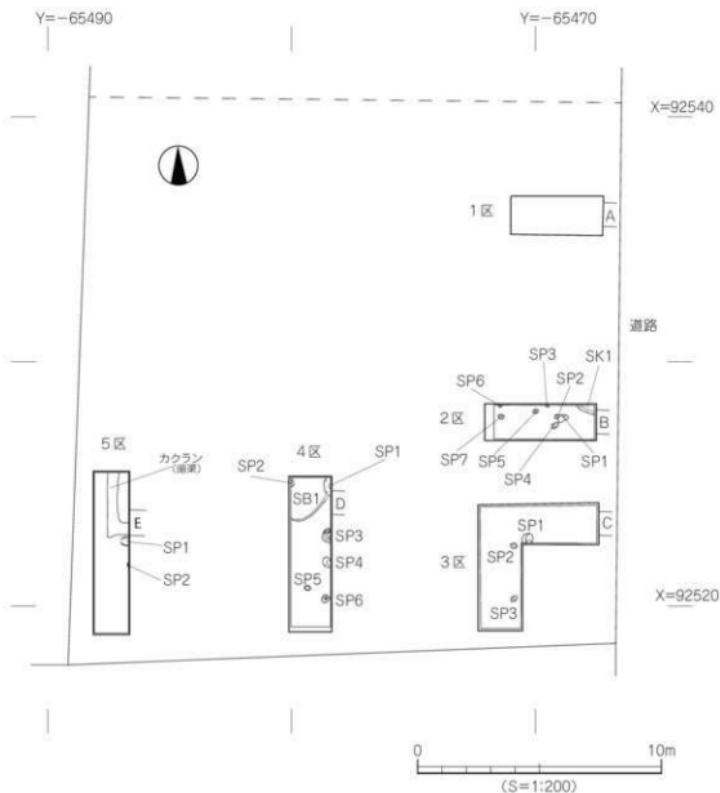


図3 遺構配置図

葉の須恵器の壺蓋（№2）が1点出土した。柱穴5基は調査区全域に位置し、平面形態は円形と楕円形がある。規模は直径12～75cm、深さ14～42cmを測る。埋土はSP2・3の2基が黒色土（10YR 2/1）、SP1・5・6の3基が黒色土（10YR 2/1）ににぶい黄橙色土（10YR 6/4）が混じる、SP4が黒色土（10YR 2/1）に褐灰色土（7.5YR 4/1）が混じる。遺物はSP1からフイゴの羽口（№3）の破片、SP3から土師器片が出土した。

5区の調査 調査では、にぶい黄橙色土（10YR 6/4）（地山）上面で柱穴（SP）2基を検出した。SPは調査区中央東部に位置し、平面形態は円形と楕円形がある。規模は直径5～36cm、深さ5～14cmを測る。埋土はSP1が黒色土（10YR 2/1）ににぶい黄橙色土（10YR 6/4）混じり、SP2が黒色土（10YR 2/1）に褐灰色土（7.5YR 4/1）混じりである。遺物は出土していない。

立会調査（桑原五丁目）

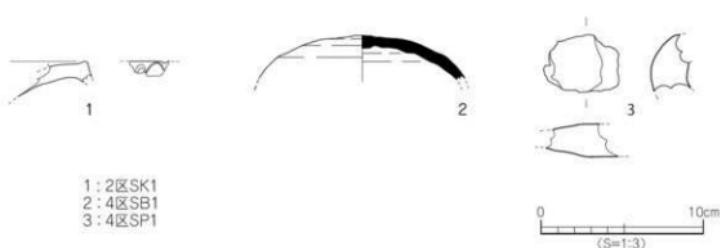
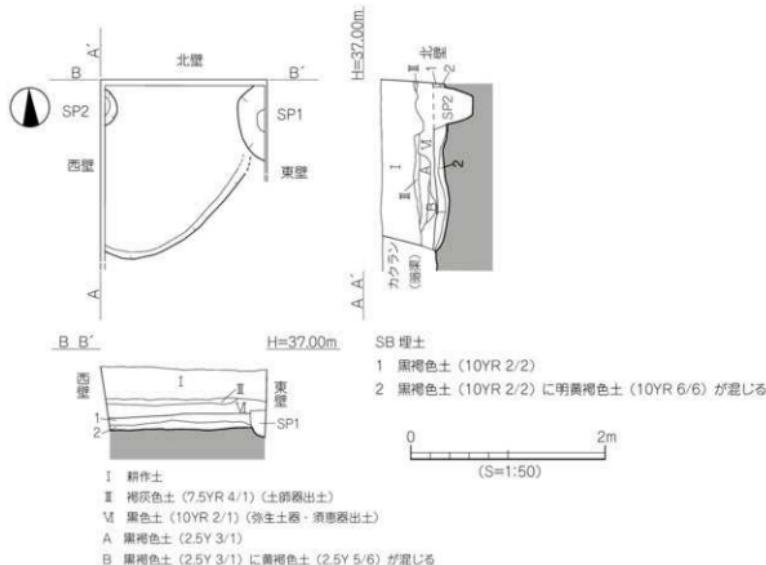


表2 出土遺物観察表

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調整		(外面) 色調 (内面)	胎土 焼成	出土地	備考
				外面	内面				
1	壺	残高 21	口縁部端面に山形文あり。小片。	ナデ	ミガキ ヨコナデ	灰白色 灰白色	石・長(1~3) 金○	2区 SK1	
2	壺蓋	残高 27	天井部は丸味をもつ。口縁端部は欠損。1/7の残存。	回転ヘラケツリ 回転ナデ	回転ナデ	灰色 灰色	石・長(1~2) ○	4区 SB1	
3	羽口	長さ 35 幅 22	パイゴの羽口。破片。	マツメ	ナデ	灰色 褐色	石・長(1~2) ○	4区 SP1	

まとめ 今回の調査は狭小範囲ではあったが、弥生時代から古墳時代にかけての遺構や遺物を検出した。遺構では、堅穴建物址、土坑、柱穴などの集落関連遺構を検出し、遺物では、弥生土器、須恵器、土師器、フイゴの羽口などが出土した。今回の調査で検出した遺構や出土した遺物は、調査地近隣で確認されている、弥生時代から古墳時代の集落の広がりや構造を解明するうえで、貴重な資料が得られた。また、調査区北側の1区では、南側に広がるにぶい黄橙色土（地山）は確認されず、隣接する調査や試掘調査の結果と同じように灰白色土層が確認されたことから、調査区1区から北西方向には河川があったことが推測される。（浅井）



写真1 2区遺構検出状況 (南より)



写真2 3区遺構検出状況 (北より)



写真3 4区遺構検出状況 (北より)



写真4 4区 SB1 完掘状況 (東より)



写真5 5区遺構完掘状況 (北より)

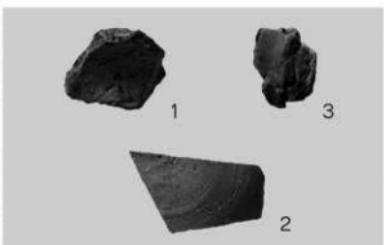


写真6 出土遺物

4. 出土物整理・石器（石庖丁・石鎌の各未成品及び原石）

1. 調査の目的

弥生時代の石製農工具には、石庖丁や石鎌の他に、伐採石斧や加工用の柱状片刃石斧や扁平片刃石斧、整形石斧などの成品が調査研究対象として取り上げられ、編年案や地域間交流などが提示されることが多い。ところが、未成品及び原石を意識的に取り上げ、大陸系磨製石器の材料となる石材入手のあり方や、素材獲得法について意識的かつ実証的にアプローチされることは少ない。今回は、石庖丁と石鎌の未成品及び原石に着目し、素材獲得法の把握を目的に調査を試みた。

2. 調査の経過

本書掲載資料は、基本的に報告書に掲載されている遺物を選択し、報告書未掲載の遺物も極力抽出した。調査は、まず報告書や文献等で調べ、つぎに収蔵庫や常設展示室から該当遺物の所在を確認した。つづいて、素材獲得法に着目しつつすべて再実見及び再実測をおこなった。再実測は加島が担当し、表裏に自然由来の面の有無とその範囲、縦断面の形状等に着目した。デジタルトレースは平岡・山下・木西・山之内がおこなった。一覧表には法量の数値等も加えることで、資料化の充実に努めた。

3. 一覧表について（凡例を含む）

- 1) 遺跡名は、報告書の名称を使用した。
- 2) 素材獲得技法については、第39回瀬戸内考古学研究会例会（2016年1月）で、下條信行・加島次郎・児玉洋志が「石庖丁素材獲得法②」で提示したものを採用した。

4. 調査知見概要

素材獲得法を基準として未成品は、オモテ面とウラ面の両面に大きく自然由来の面が残置するⅠ類、オモテ面は自然由来の面が、ウラ面には素材獲得時の原石分割剥離由来の面が大きく残置するⅡ類、両面に素材獲得時の原石分割剥離由来の面が大きく残置するⅢ類に分類できる。石庖丁と石鎌は在地の緑色片岩を多く用いており、石庖丁の素材獲得法はⅡ類（時代を通じておよそ47%を占める）が主体であった。石庖丁未成品・原石は21遺跡から66点を、石鎌未成品は6遺跡から15点を抽出できた。このうち、5遺跡（大瀬・祝谷六丁場・西石井2次・久米高畠8次・船ヶ谷4次）からは石庖丁未成品と石鎌未成品が出土している。特に、祝谷六丁場と西石井2次では、原石も出土することから、この2遺跡では、入手した原石を集落内で分割し両器種を自己消費目的で製作していた蓋然性が極めて高い。原石は7遺跡（久米高畠26次・岩崎・祝谷六丁場・西石井2次・松ヶ谷・乃万の裏2次・椿味四反地4次）から11点確認され、掌大の扁平タイプ（厚さ5.9～10.6mm）と、掌大のやや厚目タイプ（厚さ11.9～15.1mm）に分類できる。この傾向は、在地石材製石庖丁の製作では、粗削段階の原石分割剥離を省略し次段階の打裂段階へ移行するもの（原石が扁平タイプ）と、素材獲得後、原石分割剥離を施す必要があるもの（厚目タイプ）におおよそ対応すると推定される。

松山平野の弥生人は、自己消費目的で石庖丁を製作する。製作過程で最も時間と労力を要する研磨段階の労力削減を目的として、素材獲得時に在地石材の原石を分割することで、Ⅱ類を適した素材として認識し、積極的に活用してていた可能性の高いことがわかった。Ⅱ類のオモテ面には、自然由来の面が大きく残置しており、この自然由来のカーブを利用して、研磨による刃付けが施された。一方、石鎌には主にⅠ類とⅡ類とを併用していった可能性が高いことがわかった。（加島）

出土物整理

表 1 石庖丁未成品及び原石観察表

(1)

番号	器種・状態	時代・時期	製作段階	基材 鑿削法	残存	石材	高さ (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重さ (g)	荷物報告書 通路名	出土場所等
1	石庖丁未成品	弥文・後期後半	研磨	Ⅱ類少 複合	完存	劉鋹物の無い 青石	30.0	43.2	6.6	1120	第 27 亂 大西井通路 p124 亂 12.12	包含層
2	石庖丁未成品	弥文・後期後半	打製	Ⅱ類少 複合	完存	劉鋹物の無い 青石	30.0	47.0	5.5	344	第 29 亂 大西井通路 p129 亂 19.6-20.2	SX-1
3	夏石	弥生・後期末 ～中期初	夏石準備 青石削除	1類少	完存	緑色石片	116.0	35.0	12.5	854	第 12 亂 久木山通路20西 p07 亂 24.12	SK113
4	夏石	弥生・後期末 ～中期初	夏石準備 青石削除	1類	左半部欠損	緑色石片	61.8	32.0	7.4	227	第 11 亂 青石削除 p30 亂 22.1 西 31	SDVI 105
5	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	石刃分割着跡 の打製	1類	完存	緑色石片	108.0	40.0	9.8	761	第 11 亂 青石削除 p32 亂 26.10 西 31	SKVII 189
6	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	打製	1類	下端欠損	緑色石片	100.0	42.0	10.5	591	第 17 亂 青石削除少20 p24 亂 24.10	包含層
7	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	打製	Ⅱ類	完存	緑色石片	140.0	62.0	11.4	1559	久木山通路20北 青石削除	SD1
8	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	原石分割	Ⅱ類	完存	紅褐色石片	98.0	66.0	5.1	314	第 43 亂 青石削除通路 p97 亂 56.10	SD1
9	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	研磨	Ⅱ類	左半部欠損	緑色石片	88.5	36.0	7.4	423	第 21 亂 青石削除 p38 亂 25.0 西 31	SKVII 199
10	石庖丁 内装工具	弥生・後期末 ～中期初	敲打	Ⅱ類	完存	緑色石片	83.0	45.0	5.6	358	第 21 亂 青石削除 p34 亂 24.10 西 31	SKVII 194
11	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	打製	Ⅲ類	左端部欠損	晶質系石片	77.0	41.0	8.6	426	第 117 亂 青石削除3-20 p130 亂 10.2 西 31	SEAD01
12	石庖丁未成品	弥生・後期末 ～中期初	研磨	Ⅲ類	右端部欠損	緑色石片	105.0	51.0	6.9	575	第 21 亂 青石削除 p33 亂 27.10 西 31	SKVII 126
13	夏石	弥生・中間中葉	斜	1類	左半部欠損	緑色石片	60.0	37.0	10.6	47.8	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
14	草石	弥生・中間中葉	斜	1類	左半部欠損	緑色石片	63.0	39.0	12.9	447	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
15	夏石	弥生・中間中葉	斜	1類	完存	緑色石片	148.5	47.0	11.9	1550	松谷六丁場通路 青石削除	4区包含層
16	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	石刃分離着跡 の打製	1類	左半部欠損	緑色石片	75.0	35.0	10.5	366	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
17	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	粗削	Ⅱ類	左半部欠損	緑色石片	30.0	26.0	6.9	109	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
18	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	石刃分離着跡 の打製	Ⅲ類少	完存	緑色石片	104.0	67.0	25.0	3817	第 103 亂 古石通路2次 p67 亂 52.10 西 31	解A.3 (p115)
19	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	石刃分離着跡 の打製	Ⅲ類多	完存	青石片	121.0	82.0	16.0	2339	松谷六丁場通路 青石削除	1区包含層
20	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	石刃分離	Ⅱ類	完存	緑色石片	104.5	50.0	7.1	609	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
21	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	打製終了か	Ⅱ類	完存	緑色石片	108.0	42.5	11.3	849	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
22	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	打製終了か	Ⅱ類	完存	緑色石片	118.0	46.0	13.0	993	第 15 亂 丸山大橋通路46次 p42 亂 33.10 西 31	SH1
23	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	研磨	Ⅱ類	完存	緑色石片	130.0	46.0	10.0	1329	第 103 亂 古石通路2次 p68 亂 63.10 西 31	解A.3 (p27)
24	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	敲打	Ⅱ類	完存	緑色石片	123.5	56.0	13.1	1549	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
25	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	研磨	Ⅱ類	左半部欠損	緑色石片	32.5	22.0	6.0	121	松谷六丁場通路 青石削除	1区包含層
26	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	穿孔	Ⅱ類	完存	緑色石片	72.0	36.0	6.4	266	松谷六丁場通路 青石削除	1区包含層
27	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	打製	Ⅲ類	完存	青苔灰岩片	122.0	61.5	8.2	877	松谷六丁場通路 青石削除	1区包含層
28	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	粗削	Ⅲ類	右半部欠損	緑色石片	83.5	53.0	9.3	526	松谷六丁場通路 青石削除	3区包含層
29	石庖丁未成品	弥生・中間中葉	穿孔	Ⅱ類	完存	青苔灰岩 凝灰岩片	98.0	50.5	8.0	576	第 23 亂 青石アーチ通路 p75 亂 54.10 西 31	表層
30	夏石	弥生・中間後葉	自然的 の可能性	はづけ定存	自然的	緑色石片	106.0	62.5	13.5	1113	第 112 亂 西石井通路2次 p302 亂 26.10-25	SD402
31	石庖丁未成品	弥生・中間後葉	草石分離初期	Ⅲ類少	完存	緑色石片	123.0	70.0	19.0	2552	第 112 亂 西石井通路2次 p226 亂 25.10-25	SD304
32	夏石	弥生・中間後葉	斜	1類	完存	綠化美しい 緑色片岩	167.0	61.0	10.0	2083	第 112 亂 西石井通路2次 p305 亂 26.10-25	SD402
33	石庖丁未成品	弥生・中間後葉	打製	Ⅱ類多 複合少	完存	緑色石片	103.0	45.0	9.5	621	第 119 亂 大西ヶ台通路10次 p28 亂 25.10-25	トランク2 飛瓦屋
34	石庖丁未成品	弥生・中間後葉	打製	Ⅱ類	完存	緑色石片	121.0	62.0	9.7	904	第 112 亂 西石井通路2次 p305 亂 26.10-25	SD402
35	石庖丁未成品	弥生・中間後葉	研磨	Ⅱ類	完存	緑色石片	109.0	54.0	11.0	889	第 49 亂 松山大橋通路3次 p294 亂 25.10-25	SRI
36	草石	弥生・後期初	斜	1類	完存	綠化美しい 緑色片岩	167.0	61.0	10.0	2083	第 89 亂 青石通路 p21 亂 15.10-1	A区包含層
37	石庖丁未成品	弥生・後期初	草石分離着跡 の打製	1類	完存	緑色石片	104.7	46.5	10.1	827	第 111 亂 丸山大橋通路3次 p125 亂 84.10-12	SRI
38	石庖丁未成品	弥生・後期初	研磨	Ⅱ類	完存	緑色石片	113.5	45.0	10.5	846	第 127 亂 丸山大橋通路3次 p208 亂 37.10-22	解A.7 (P3)
39	石庖丁未成品	弥生・後期初	研磨	Ⅱ類	完存	緑色石片	140.0	55.5	6.7	807	第 27 亂 丸山大橋通路8次 p161 亂 37.10-34	3区包含層
40	石庖丁未成品	弥生・後期初	研磨	Ⅲ類	完存	緑色石片	83.0	31.0	6.9	250	第 127 亂 丸山大橋通路8次 p60 亂 56.10-42	SK128
41	石庖丁未成品	弥生・後期前半	研磨	1類	完存	緑色石片	126.0	52.0	9.9	1006	第 124 亂 青石通路9次 p45 亂 33.10-41	SD3
42	石庖丁未成品	弥生・後期前半	打製	Ⅱ類	右半部欠損	緑色石片	71.5	53.5	10.1	456	第 124 亂 青石通路10次 p66 亂 50.10-47	SD7

石庖丁・石鎌の各未成品及び原石

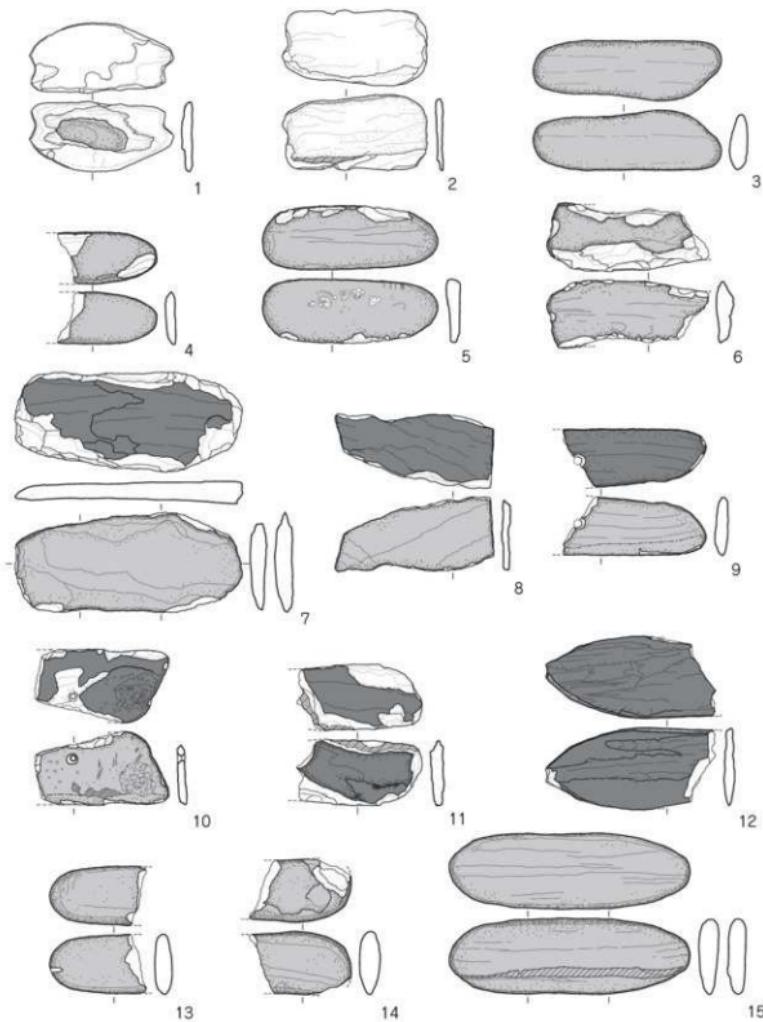
石庖丁未成品及び原石観察表

(2)

番号	器種・状態	時代・時期	製作段階	審査 獲得法	残存	石材	奥さ (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重さ (g)	掲載報告書 添註名	出土通積等
43	石庖丁未成品	弥生・後期前半	研削	Ⅱ類	左上欠損	紅褐色片岩	1080	51.5	107	661	第17集 西行ノ原遺跡3次 p151 第18回-418	SD304
44	石庖丁未成品	弥生・後期前半	研磨	Ⅱ類	完存	綠色片岩	1010	43.5	101	552	第25集 西行ノ原遺跡 p156 第4回-247	SD309
45	原石	弥生・後期後半			完存	綠色片岩	1135	46.5	151	1181	第22集 万力山遺跡2次 p157 第21回-257	SD合留
46	石庖丁未成品	弥生・後期後半	單石分割初期	Ⅱ類を 意識か	完存	綠色片岩	1240	65.5	138	1921	第17集 西行ノ原遺跡2次 p151 第21回-256	SD401
47	原石	弥生・後期後半			新しい欠損	綠色片岩	1047	56.0	122	980	第112集 西行ノ原遺跡2次 p111 第21回-256	SD401
48	石庖丁未成品	弥生・後期後半	研削	Ⅱ類	右半部欠損	綠色片岩	1140	68.0	102	1015	第46集 鎌浦下遺跡 p172 第19回-122	S33 (SP45)
49	石庖丁未成品	弥生・後期後半	打製	Ⅱ類	完存	綠色片岩	1085	46.0	83	623	第112集 西行ノ原遺跡2次 p112 第21回-311	SE301 木留
50	石庖丁未成品	弥生・後期後半	研磨	Ⅱ類	完存	綠色片岩	1000	45.5	71	459	第112集 西行ノ原遺跡3次 p123 第30回-339	SE103
51	石庖丁未成品	弥生・後期後半	研磨初期	Ⅱ類	完存	綠色片岩	890	53.0	86	613	第59集 中行村田遺跡 p23 第19回-142	SD4
52	石庖丁未成品	弥生・後期後半	研削	Ⅱ類を 意識か	右半部欠損	綠色片岩	890	48.0	99	482	第112集 西行ノ原遺跡2次 p112 第21回-253	SD401
53	石庖丁未成品	弥生・後期後半	研磨	Ⅱ類か	ほぼ完存	綠色片岩	1020	46.5	74	449	第112集 鎌浦下遺跡 p160 第9回-230	SD5
54	原石	弥生・終末			左半部欠損	綠色片岩	520	26.0	59	187	第46集 雨山四反田遺跡4次 p110 第9回-18	SD301
55	石庖丁未成品	弥生・終末	穿孔	Ⅱ類	完存	青い緑色片岩	875	43.0	92	440	第16集 犬山城分坑跡 p49 第9回-413	SD合留
56	石庖丁未成品	弥生・終末	研磨	Ⅱ類を 意識か	完存	風化した 緑色片岩	755	45.0	79	362	第59集 中行村田遺跡 p20 第9回-413	SD合留
57	石庖丁未成品	弥生・終末	研磨初期	Ⅱ類	完存	風化した 緑色片岩	800	36.0	70	267	第54集 長良川遺跡2次 p37 第14回-575	SD558
58	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	研磨	Ⅱ類	完存	綠色片岩	1240	58.5	146	1325	第112集 鎌浦下遺跡4次 p112 第21回-312	SD合留
59	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	研削	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	730	62.5	72	425	第59集 長良川遺跡4次 p29 第21回-208	SRI
60	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	打製か	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	745	62.5	115	862	第59集 長良川遺跡4次 p29 第21回-209	SRI
61	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	穿孔の 鉄錐打	Ⅱ類か	左半部欠損	チリビ灰色 灰岩	610	36.0	87	51.5	第122集 久美子手延跡26次 p98 第8回-348	表揮
62	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	打削研磨か	Ⅰ類	左半部欠損	綠色片岩	650	39.5	107	421	第98集 第7回-159	SRI ③層
63	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	研磨	Ⅱ類か	完存	綠色片岩	975	44.5	111	752	第98集 第7回-159	SRI ③層
64	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	打製か	Ⅱ類か	右半部欠損	淡青色片岩	750	53.0	96	572	第98集 第7回-159	SRI ③層
65	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	打削研磨か	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	720	60.0	96	591	第98集 第7回-159	SRI ③層
66	石庖丁未成品	弥生・時期不詳	研磨初期	Ⅱ類	完存	綠色片岩	835	52.0	66	480	第98集 第7回-159	SRI ③層

表2 石鎌未成品観察表

番号	器種・状態	時代・時期	製作段階	審査 獲得法	残存	石材	奥さ (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重さ (g)	掲載報告書 添註名	出土通積等
1	石鎌未成品	縞文・後期前半	研削初期	Ⅱ類か	左半部欠損	阿蘇産の「縞文」 滑面研磨	1140	40.0	70	45.9	第77集 久美子手延跡 p159 第16回-154	SD合留
2	石鎌未成品	弥生・中期	右半部研磨か 手延跡	Ⅰ類	完存	綠色片岩	2140	48.0	200	3801	第109集 久美子手延跡2次 p109 第36回-116	SD301
3	石鎌未成品	弥生・中期	敲打	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	1410	63.5	160	2367	第109集 久美子手延跡4次 p109 第36回-116	SD201
4	石鎌未成品	弥生・中期	研磨初期	Ⅱ類	高都欠損	綠色片岩	1515	45.0	140	1412	第109集 久美子手延跡4次 p141 第27回-165	SD201
5	石鎌未成品	弥生・中期中盤	研磨	Ⅰ類	左大きく 欠損	武志鉛色 玄武岩片岩	1015	47.5	160	1165	第122集 久美子手延跡26次 p122 第18回-348	4区合留
6	石鎌未成品	弥生・中期中盤	打製	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	1509	56.0	134	2002	第122集 久美子手延跡 p122 第18回-348	1区合留
7	石鎌未成品	弥生・中期後盤	打製	Ⅱ類	右欠損	木材未発見	1600	30.0	180	2317	第122集 西行ノ原遺跡 p229 第22回-224	SD合留
8	石鎌未成品	弥生・中期後盤	打削した 手延跡	Ⅱ類	完存	綠色片岩	2540	50.0	180	2658	第132集 西行ノ原遺跡2次 p308 第36回-223	SD402
9	石鎌未成品	弥生・時期未定	研磨	Ⅱ類か	左大きく 欠損	綠色片岩	2170	49.0	92	1602	第132集 久美子手延跡4次 p161 第41回-165	SD合留
10	石鎌未成品	弥生・後期初期	打製	Ⅱ類	左大きく 欠損	綠色片岩	880	40.0	100	602	第108集 久美子手延跡4次 p108 第41回-165	SD201
11	石鎌未成品	弥生・後期初期	敲打	Ⅰ類	左半部欠損	綠色片岩	810	35.0	84	465	第22集 久美子手延跡8次 p22 第37回-16-32	SD合留
12	石鎌未成品	弥生・時期未定	研磨初期	Ⅰ類	完存	綠色片岩	1510	46.0	122	1417	第108集 久美子手延跡4次 p108 第64回-14	SX1
13	石鎌未成品	弥生・時期未定	打製	Ⅱ類	左大きく 欠損	綠色片岩	800	51.0	122	501	第98集 久美子手延跡4次 p108 第9回-1054	SRI 1号
14	石鎌未成品	弥生・時期未定	打製	Ⅱ類	左半部欠損	綠色片岩	1105	39.5	140	77.3	第98集 久美子手延跡4次 p108 第24回-292	SRI 1号
15	石鎌未成品	弥生・時期未定	敲打初期	Ⅱ類	先端欠損	乳白色灰岩 片岩	1800	45.5	150	1814	第98集 久美子手延跡4次 p108 第9回-1052	SRI 2号



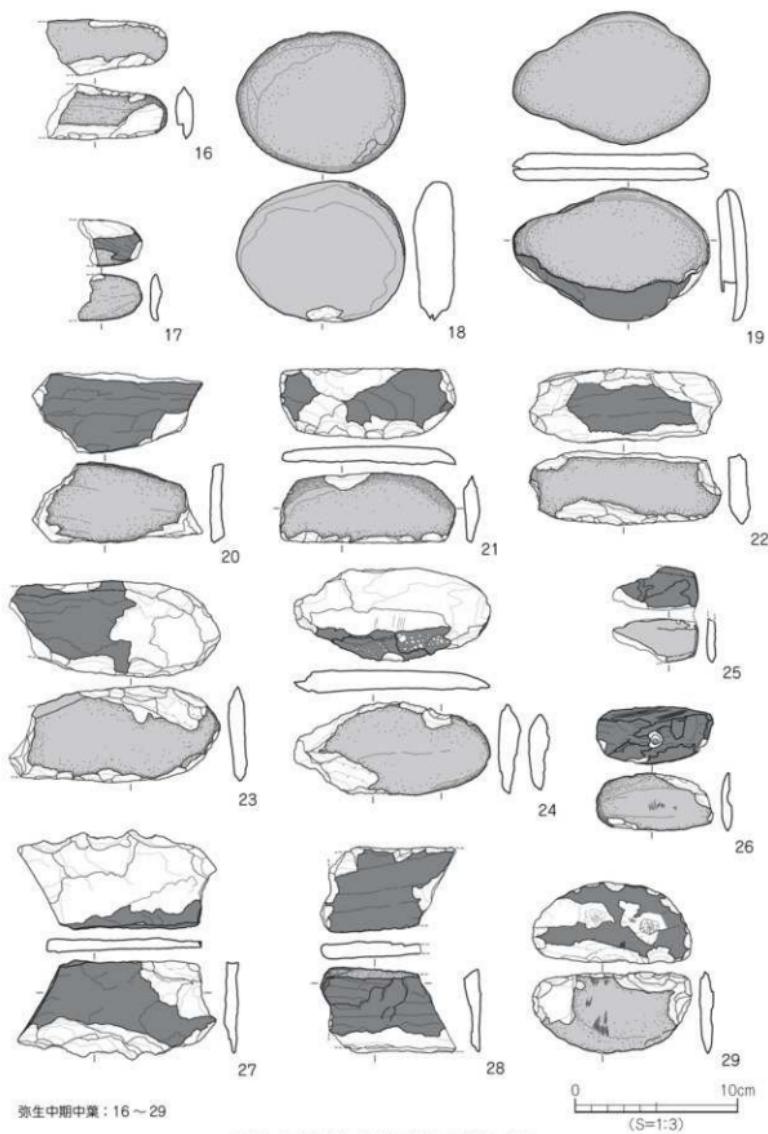
縄文 晩期 後半: 1・2
弥生前中期～中期初: 3～12
弥生 中期 中葉: 13～15

■: 自然由來の面
■: 原石分割剥離由來の面
▨: 石英質の脈
(※ 第2～8回も同じ)

0 10cm
(S=1:3)

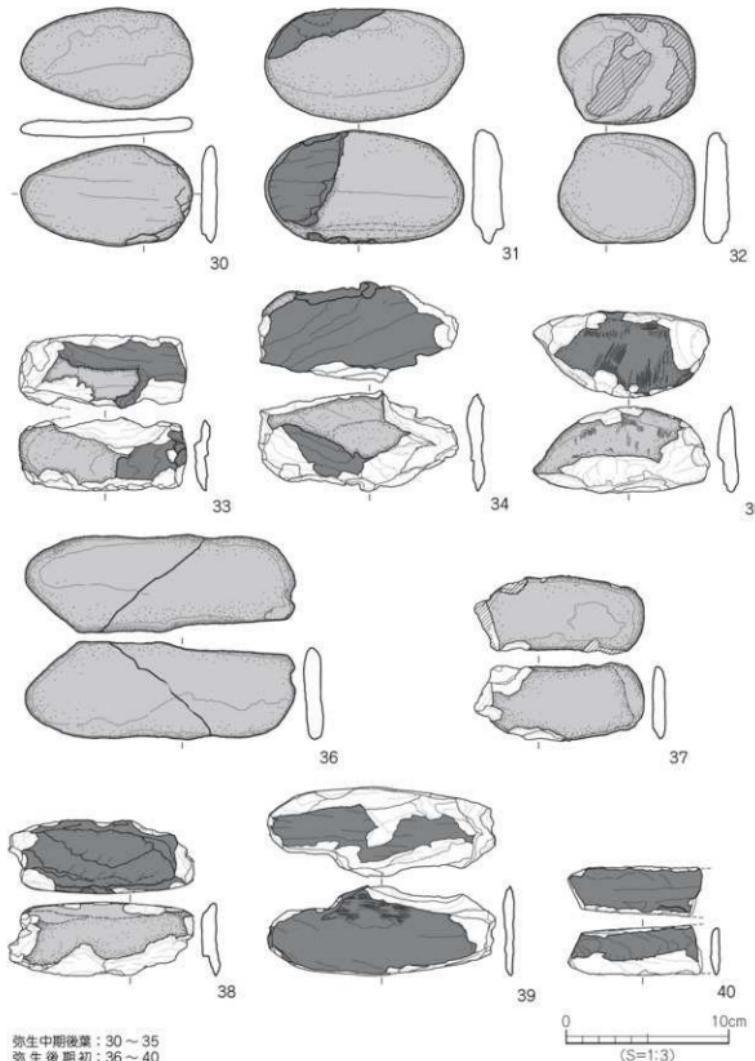
図1 石庖丁未成品及び原石実測図(1)

石庖丁・石鎌の各未成品及び原石



弥生中期中葉：16～29

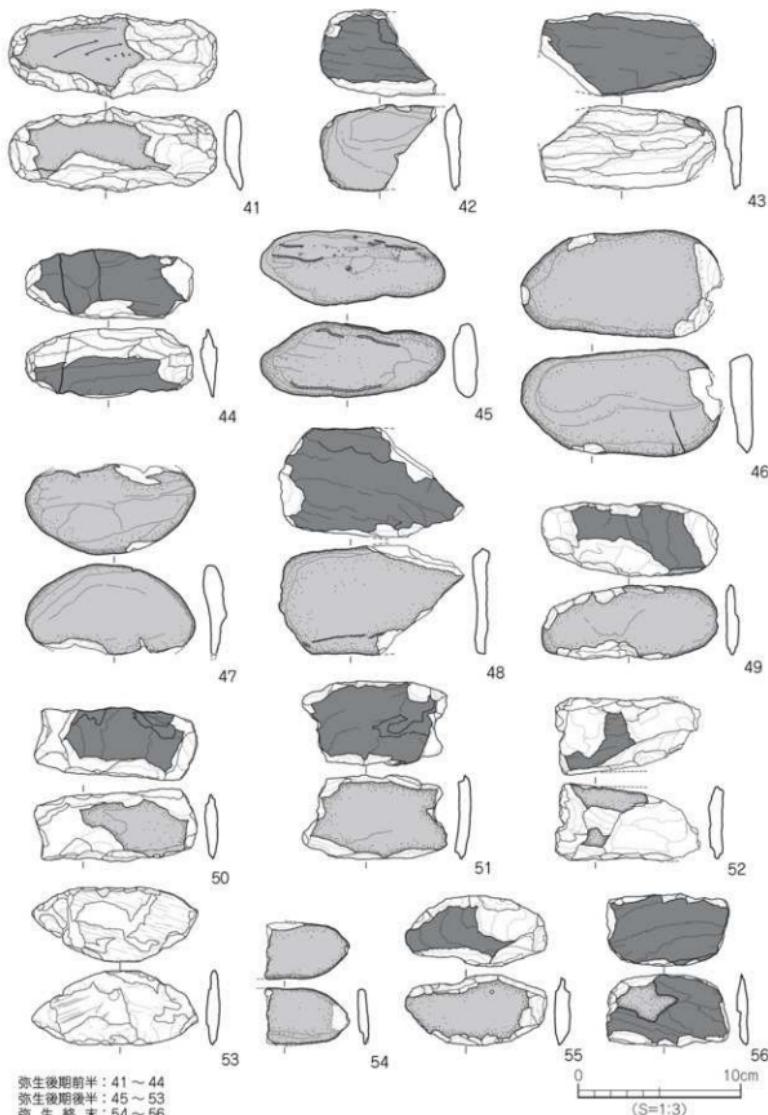
図2 石庖丁未成品及び原石実測図(2)



弥生中期後葉：30～35
弥生後期初：36～40

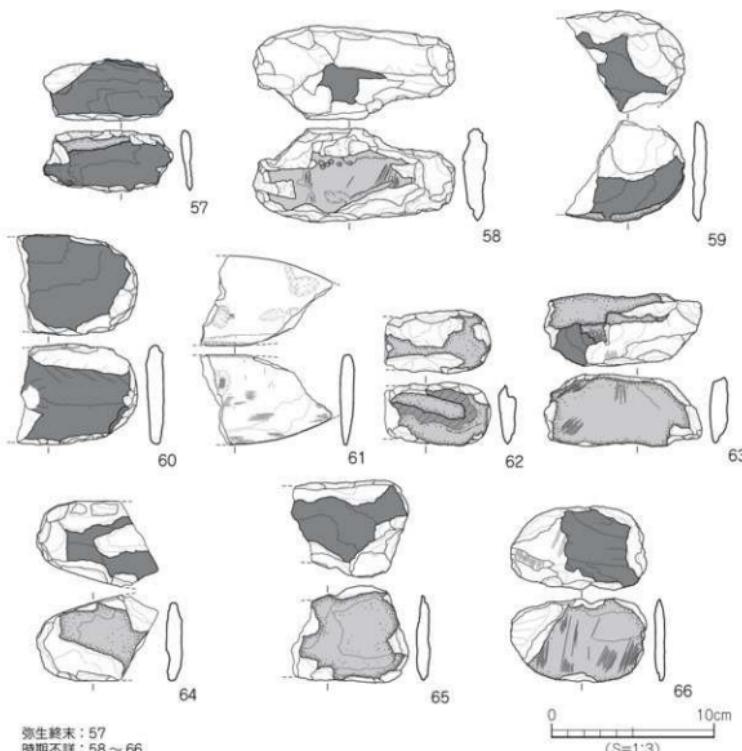
図3 石庖丁未成品及び原石実測図（3）

石庖丁・石鎌の各未成品及び原石



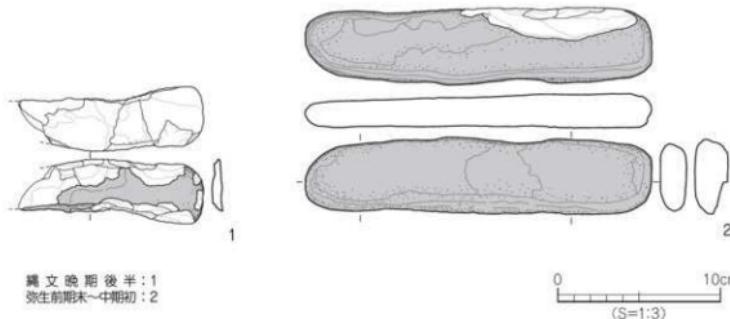
弥生後期前半：41～44
弥生後期後半：45～53
弥生終末：54～56

図4 石庖丁未成品及び原石実測図(4)



弥生終末：57
時期不詳：58～66

図 5 石磨丁未成品実測図 (5)



縄文晩期後半：1
弥生前期末～中期初：2

図 6 石鎌未成品実測図 (1)

石庖丁・石鎌の各未成品及び原石

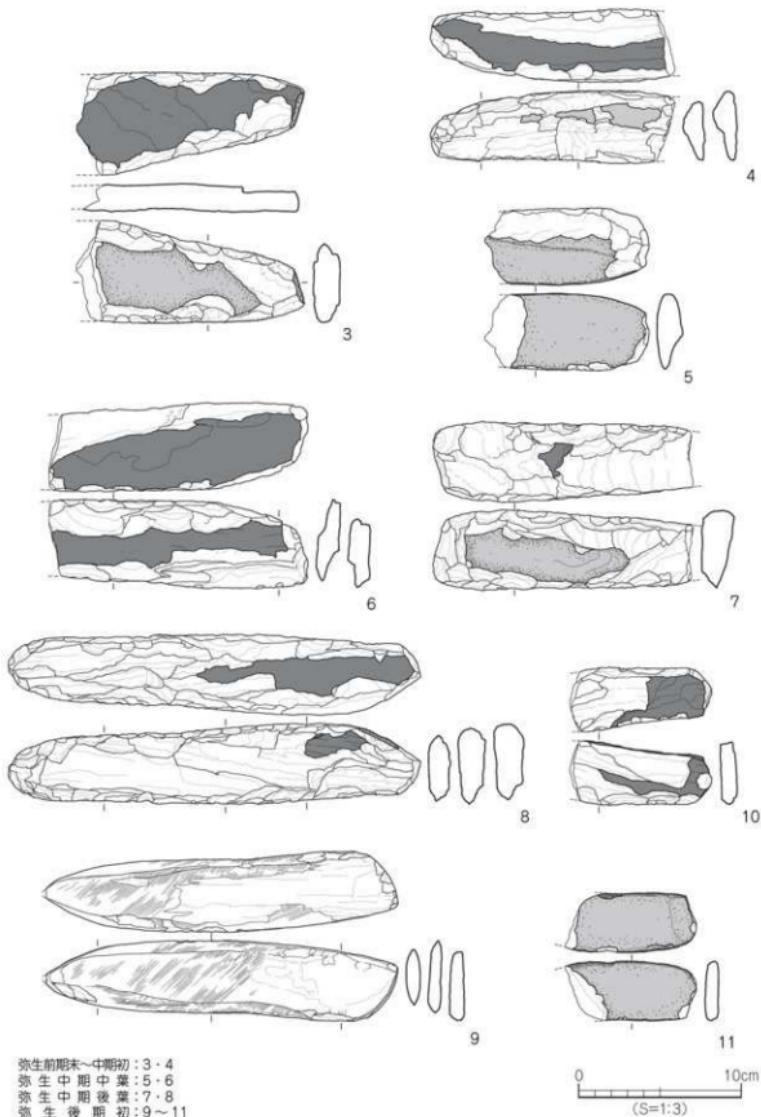
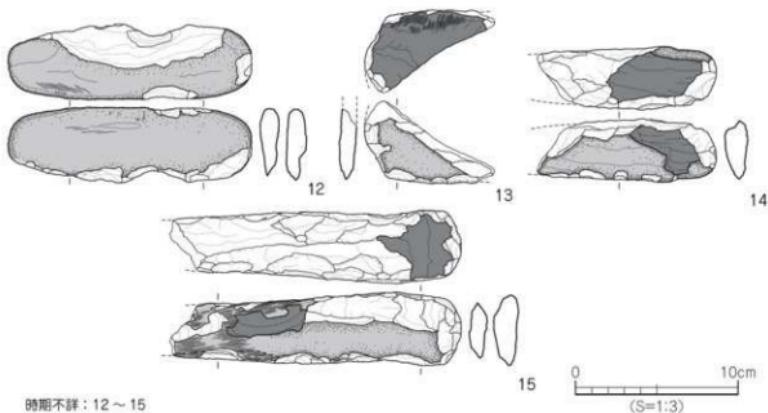


図7 石鎌未成品実測図(2)



時期不詳：12～15

図 8 石鎧未成品実測図 (3)

写真 1 石庵丁未成品 5 (I類)



写真 2 石庵丁未成品 21 (II類)



写真 3 石庵丁未成品 12 (III類)



石庖丁・石鎌の各未成品及び原石

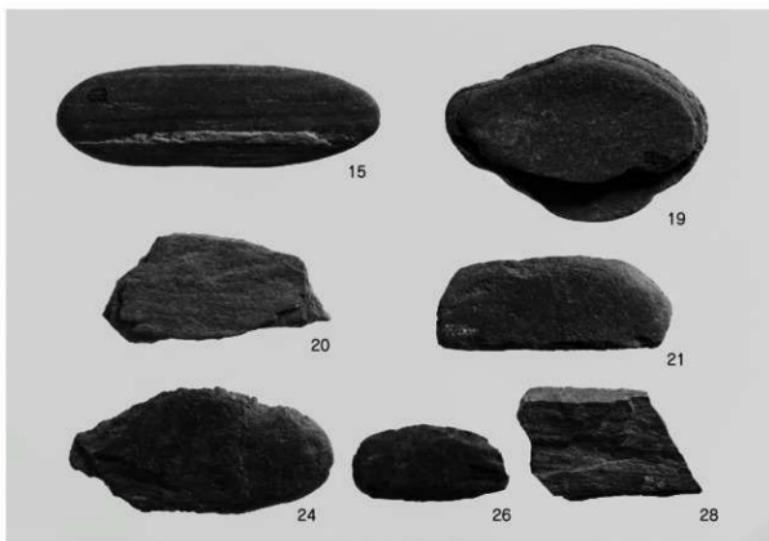


写真4 祝谷六丁場遺跡出土石庖丁未成品及び原石

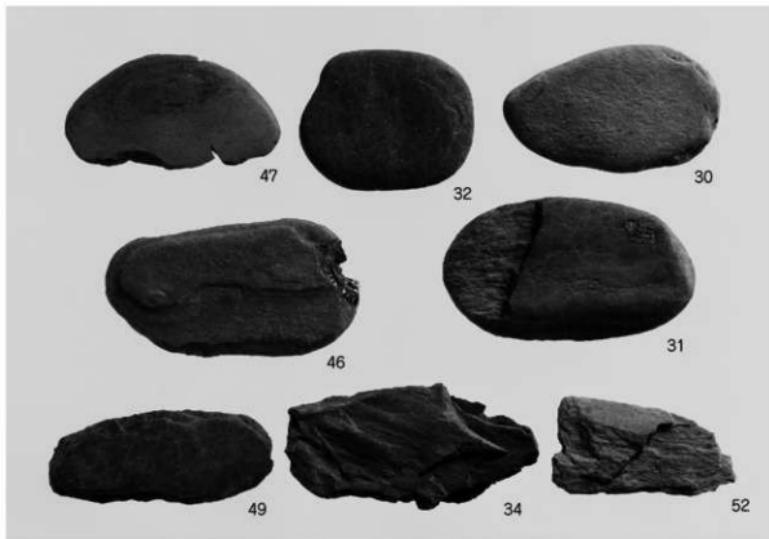


写真5 西石井遺跡2次調査出土石庖丁未成品及び原石



写真6 やや厚目の原石（左の一群）と扁平の原石（右の一群）

写真7 石鎌未成品2（I類）



写真8 石鎌未成品7（II類）

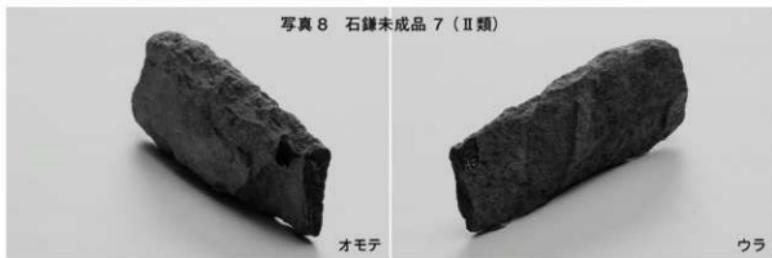
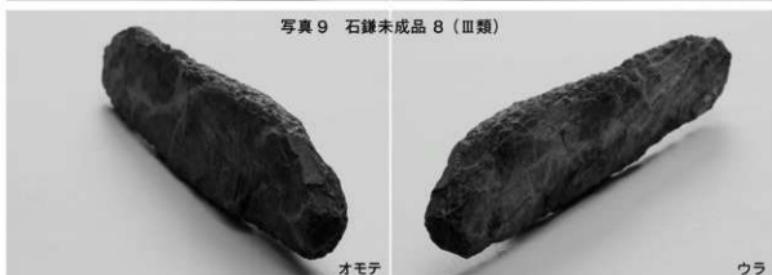


写真9 石鎌未成品8（III類）



5. 出土物整理・石器（五郎兵衛谷古墳）

五郎兵衛谷古墳における後期旧石器時代遺物の再整理

1.はじめに

五郎兵衛谷古墳^{※1}は、松山平野の東部、高繩山系が南西に延びる丘陵裾部に位置する。この高繩山系の南西面は堀越川の支流によって開拓された谷と舌状に伸びる丘陵が連続する地域で、当古墳は鷹子の丘陵部で確認されている（図1）。昭和52（1977）年に配水池建設に伴い市教委による調査が行われ、6世紀末～7世紀初頭の古墳6基と弥生時代中期末葉の堅穴住跡1棟が検出されている。後期旧石器時代の遺物は、これらの調査の中で出土したもので、これまでにナイフ形石器等が報告されている（十亀1979・1980、重松1992）。

近年、昭和52年の調査時に調査補助員であった沖野新一氏により、五郎兵衛谷古墳と高見I・II遺跡との基本層序の対比が行われ、五郎兵衛谷古墳のⅡ層下部及びⅢ層が後期旧石器時代の遺物包含層であった可能性が指摘され（沖野新一2019）、再び五郎兵衛谷古墳の後期旧石器時代の遺物が注目されることとなった。その後、高見I・II遺跡の発掘調査に携わった、愛媛県埋蔵文化財センターの沖野実氏の協力を得て、令和元年度、令和2年度に断続的に五郎兵衛谷古墳の資料調査を行ったところ、これまでに後期旧石器時代として報告されてきた遺物以外にも、後期旧石器時代に遡る可能性がある遺物が確認されたため、令和3年度に再整理を行った。



番号	遺跡名	立地	番号	遺跡名	立地
1	五郎兵衛谷古墳	山地	6	久米高畠遺跡 49次	台地・段丘
2	志我神社南遺跡	山地	7	久米小学校遺跡	台地・段丘
3	久米山田池遺跡	山地	8	久米庄田V遺跡	崩状地
4	北久米淨寺遺跡	台地・段丘	9	久米庄田V遺跡	崩状地
5	北久米遺跡	台地・段丘	10	鶴塚古墳	崩状地

図1 遺跡分布図（後期旧石器時代の遺跡）^{※2}

五郎兵衛谷古墳は、これまで後期旧石器時代については、典型的なナイフ形石器等が報告される機会はあったものの、その名のとおり古墳がメインの遺跡であったため、石器群全体に分析が及ぶことはなかった。そのため、今回取り扱った資料は、昭和52年の発掘調査で出土した石器全てを対象に分析を行った。その中で後期旧石器時代の可能性がある遺物の製品については図化し、それ以外の遺物は観察表にまとめた。以下、層位、遺物分布、石器群の特徴、考察について述べる。

2. 層位

五郎兵衛谷古墳の基本層序については、先述したとおり、沖野新一氏によって推定がなされている（沖野新一 2019）。ここでは、沖野新一氏の論考を参考に東峰遺跡第4地点も加えて各遺跡の土層柱状図を図示し、比較検討を行う。

図2は、高見I・II遺跡、東峰遺跡第4地点、五郎兵衛谷古墳の土層柱状図を比較したものである。高見I遺跡西壁拡張部2は、礫群及び石器がまとまって出土し、火山灰分析が行われた箇所、高見II遺跡Ia区東壁は、石器がまとまって出土し、火山灰分析が行われた付近、東峰遺跡第4地点は、AT下位の遺物が出土した付近、五郎兵衛谷古墳は、調査区の中心で古墳の埴丘盛土の影響のない箇所を選び比較した。

ATは高見I遺跡のII b層、高見II遺跡のII層下部、東峰遺跡第4地点のIII層下部で確認されている。後期旧石器時代の石器は、高見I遺跡のIII a層、高見II遺跡のIII層でそれぞれ出土のピークを持つ。東峰遺跡第4地点では、AT上位の遺物がII層、III層、AT下位の遺物がIV層で確認されている。五郎兵衛谷古墳では、火山灰分析は行われていないが、後期旧石器時代の石器は、III層を掘り込んだ弥生時代の竪穴住居跡の掘り方付近に遺物出土のピークを持つ。従って、III層中が後期旧石器時代の主要な遺物包含層であったと考えたい。また、石器群の様相の詳細は後述するが、大きく二時期に分かれる。沖野新一氏の五郎兵衛谷古墳の基本層序^{*3}では、後期旧石器時代の遺物包含層をII層下部及びIII層と推定していることから、この中に二時期が収まるものと推測される。

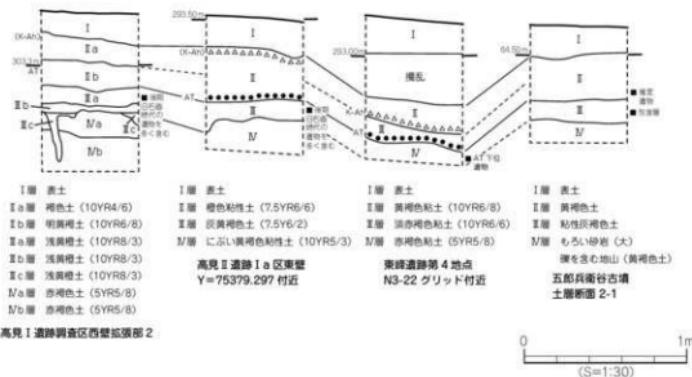


図2 土層柱状図^{*4}

五郎兵衛谷古墳出土遺物の出土層位については、遺物カードにも情報が記載されていなかったため、詳細は不明であるが、遺物に粘質を帯びた黄褐色土が付着しているものが多数みられることから、Ⅱ層、Ⅲ層の帰属する遺物と推測される。なお、黄褐色土の付着する遺物は赤色珪質岩に偏る傾向が見られた。

3. 遺物分布

遺跡は山地端部の緩斜面に立地し、背部には山塊を控え、眼下には遺跡から約500mの間に堀越川に接続する小河川が流れている（図3・4）。遺跡は南向きに開けており、松山平野東部を見渡すことができる。河川の流路については、後世の河川改修や扇状地形形成過程により流路変更がなされていることから、後期旧石器時代の河川の流路の復元には難があるが、山塊の谷部から堀越川に接続する小河川があったことは、周囲の地形から見ても想像することができる。

図5は遺構配置図である。遺物の出土位置については、ドットでの取り上げ情報は残されていなかったが、遺物カードに記載されていた情報から、SB1（堅穴住居跡）の集石遺構からは凝灰岩製の周縁加工尖頭器（図7-11）、サスキトイド製^⑤の石鎚等の石器がまとまって出土し、3号墳からは、赤色珪質岩製のナイフ形石器（図6-7）、剥片、碎片が出土していることが分かった。集石遺構については、後期旧石器時代に帰属する単独の遺構か、弥生時代のSB1に伴うものなのか、遺構から異なる時代の遺物が混在して出土しているため判然としない。



図3 位置図^⑥

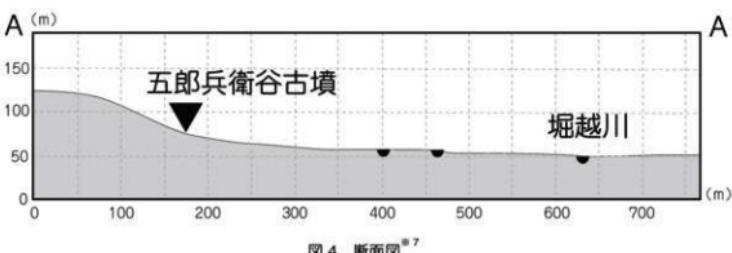


図4 断面図^⑦

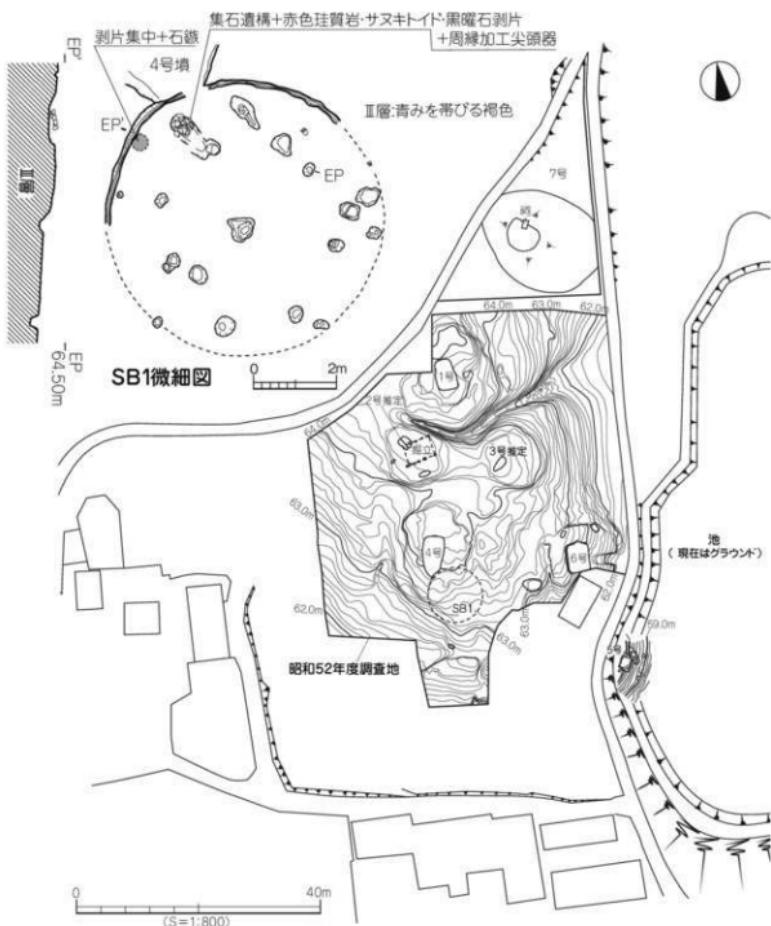


図 5 五郎兵衛谷古墳遺構配置図

4. 石器群の特徴

後期旧石器時代の可能性がある遺物の製品は、ナイフ形石器（図 6-1～4、図 7-10）、台形（様）石器（図 6-5～9）、周縁加工尖頭器（図 7-11）、彫器（図 7-12・13）、スクレイバー（図 7-14）である。

図 6-1～4 は、切断と部分調整加工のみられる小型のナイフ形石器である。横長剥片を素材とし、左右両端部を切断し、基部の縁辺に急斜度な調整加工を施している。図 6-3 は先端部に使用に伴う衝撃剥離が認められる。図 7-10 は、小型の二側縁加工のナイフ形石器である。横長剥片を素材とし、

調整加工は全て主要剥離面側から行われている。図6-5～7は、素材剥片の縁辺を切断し逆台形状ないし平行四辺形状に整えた台形（様）石器である。これらは、図6-1～4の小型のナイフ形石器と切断調整する点で共通するが、急斜度な調整の加工の有無で台形（様）石器に分別した。大きさや平面形状も似ていることから機能的には同じだった可能性が考えられる。図6-8・9は、素材剥片の縁辺の一部に平坦剥離を施し、逆台形状に整えた台形（様）石器である。図7-11は、横長剥片を素材とし、主要剥離面側からの調整加工が全周に及ぶ周縁加工尖頭器である。断面形状は、先端部が三角形状で、中間部・基部が台形状となっている。図7-12・13は、素材剥片の小口部分から彫刀面を作出した彫器である。図7-14は左右両側縁に刃部を形成したスクレイパーである。

石材は、図6-1～5・7-8、図7-12～14が赤色珪質岩、図6-6、図7-10がサスキトイド、図6-9がチャート、図7-11が凝灰岩である。

5. 考 察

松山平野における後期旧石器時代の遺物については、表採遺物の他、発掘調査から出土したものであっても他時期の遺構からの出土であったり、他時期の遺物と混在する形での出土であったりと、未だ後期旧石器時代の遺物を含む単純層の発見には至っていない。そのため、鍵層となるATが検出されていても、遺物の層位的な編年が行えないため、他地域の遺物との技術形態学的な比較の中で編年が行われてきた経緯がある。これは、松山平野の土層堆積の特徴であり、今後も局所的に土層堆積の良好な場所が見つかる可能性はあっても、大局的には表採遺物や他時期の遺構、遺物と混在して遺物が出土する状況は続くものと思われる。したがって、今回の五郎兵衛谷古墳の遺物は、表採遺物と後期旧石器時代の包含層出土遺物との中間的な情報をを持つ遺物として貴重である。

五郎兵衛谷古墳の石器群の器種構成は、小型のナイフ形石器、台形（様）石器、周縁加工尖頭器、彫器、スクレイパー等であり、これらは高見I遺跡の器種構成と類似している。高見I遺跡の後期旧石器時代の石器群の時間的位置付けについては、暫定的ではあるが、「出土遺物・遺構の大部分がAT下位石器群の可能性があり、一部にAT上位遺物との混在が考えられる（沖野実ほか2018）」とされていることを踏まえると、五郎兵衛谷古墳の石器群についても大部分がAT下位遺物で、一部にAT上位遺物が混在しているものと推測される。

五郎兵衛谷古墳の石材消費については、赤色珪質岩を多用しており、高見I遺跡をはじめとした、肱川流域の遺跡群の在り方と類似している。赤色珪質岩の原産地については、先行研究によって、内子町神南山周辺の肱川中流域であることが明らかにされている（沖野新一 2012）。五郎兵衛谷古墳出土の赤色珪質岩の剥片に残された自然面は円磨していることから、肱川流域の河床で採取されたものと思われる。五郎兵衛谷古墳への赤色珪質岩の搬入状況については、碎片が少なく石器製作痕跡が低調であることから、製品及び剥片の状態で搬入されたものと考えられる。（鶴久森）

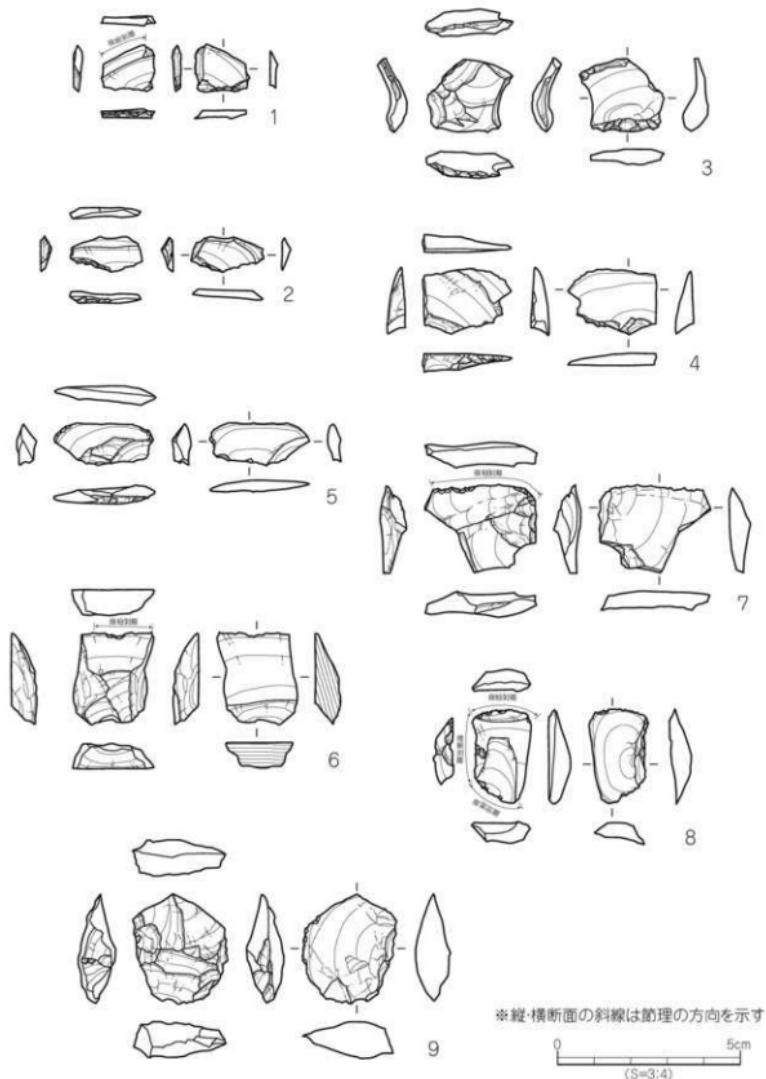
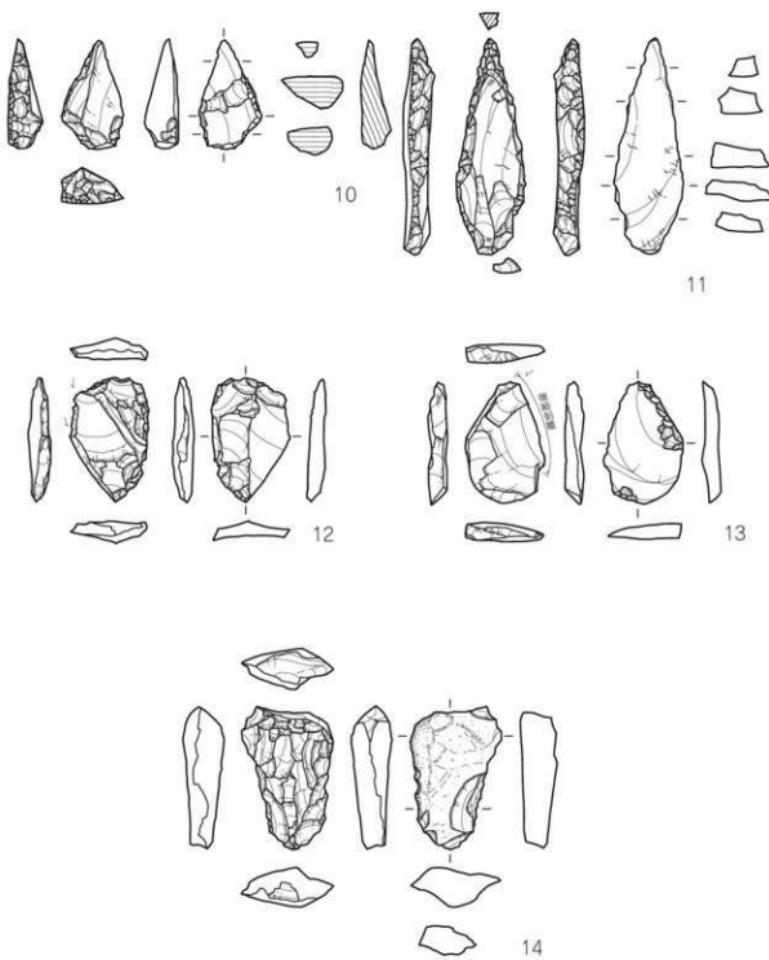


図6 五郎兵衛谷古墳出土石器実測図(1)



※縦・横断面の斜線は節理の方向を示す

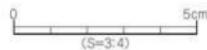


図7 五郎兵衛谷古墳出土石器実測図(2)

出土物整理

表 1 五郎兵衛谷古墳出土石器観察表

(1)

遺物番号	図版番号	報告書掲載番号	遺構名	取り上げ番号	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	打面			石材	備考	時期			
										形状	幅(cm)	厚さ(cm)						
										打面	幅(cm)	厚さ(cm)						
96	96-1	原11号 第24回18			ナイフ形石器	120	1.40	0.20	662	-	-	-	-	赤色珪質岩	田石部			
98	96-2	原11号 第24回18			FGLI	ナイフ形石器	(090) (1.85)	0.20	0.42	-	-	-	-	赤色珪質岩	田石部			
11	96-3	原11号 第24回19	SRI	DERI	ナイフ形石器	(240)	2.00	0.35	218	-	-	-	-	赤色珪質岩	田石部			
12	96-4	原11号 第24回19			FGLI	ナイフ形石器	170	(2.35)	0.50	194	-	-	-	赤色珪質岩	微細網状脈あり 田石部			
48	96-5				台形(底)石器	260	1.00	0.35	130	-	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着 田石部			
29	96-6				2073	台形(底)石器	250	2.20	0.20	414	-	-	-	サスキトイド	白色に風化 田石部			
45	96-7		3号墳		DERI	台形(底)石器	(285) (2.35)	0.70	453	平照	1.35	0.60	127°	赤色珪質岩	微細網状脈あり 田石部			
30	96-8				2082	台形(底)石器	255	1.65	0.60	255	切子	1.85	0.55	125°	赤色珪質岩	田石部		
28	96-9				39	台形(底)石器	300	2.55	1.00	666	切子	1.70	0.80	111°	チャート	黄褐色土付着 田石部		
27	96-10	原11号 第24回17			GHL1 541	ナイフ形石器	285	1.70	0.90	347	-	-	-	サスキトイド	田石部			
9	96-11	原11号 第24回16	SRI		環狀加工跡	632	2.03	0.85	1148	-	-	-	-	鷹眼岩	田石部			
8	96-12	原11号 第24回16			FGLI	環狀	(330)	2.15	0.50	396	-	-	-	赤色珪質岩	田石部			
13	96-13	原11号 第24回15	SRI	DERI	環狀	320	2.10	0.30	359	-	-	-	赤色珪質岩	質熱 田石部				
14	96-14	原11号 第24回14			FGLI	スクレイバー	(385)	2.50	1.10	1036	-	-	-	赤色珪質岩	田石部、赤生			
1	96-15				SRI	石器	210	(1.65)	0.25	68	-	-	-	サスキトイド	微細風化 門基無基			
2	96-16				SRI	石器	(190)	(1.30)	0.20	559	-	-	-	サスキトイド	赤部久経 赤生			
3	96-17				SRI	石器	170	1.50	0.30	67	-	-	-	サスキトイド	ハリ買 門基無基			
4	96-18				SRI	石器	140	1.20	0.20	28	-	-	-	サスキトイド	白色風化 門基無基			
5	96-19				SRI	石器	37	2.1	0.90	31	-	-	-	サスキトイド	白色風化 赤生			
7	96-20				SRI	砥石	2920	3.40	1.51	20224	-	-	-	水成岩	赤生～古墳			
9	96-21				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
10	96-22	原11号 第24回19			FGLI	調片	240	1.55	0.50	141	-	-	-	赤色珪質岩	田石部			
15	96-23	原11号 第24回15	SRI	DERI	二次加工調片	225	(2.85)	(0.60)	329	-	-	-	赤色珪質岩	質熱 田石部、赤生				
16	96-24	原11号 第24回16			SRI	調片	(110)	1.25	0.10	16	-	-	-	赤色珪質岩	田石部、赤生			
17	96-25	原11号 第24回17			FGLI	調片	205	1.85	0.40	195	平照	155	0.40	110°	赤色珪質岩	自然面あり 田石部、赤生		
19	96-26	原11号 第24回19				スクレイバー	275	4.20	1.00	879	-	-	-	黒曜石	赤鳥産 赤生			
20	96-27	原11号 第24回20				スクレイバー	(225)	2.80	0.40	244	-	-	-	サスキトイド	母岩1 赤生			
21	96-28	原11号 第24回21	SRI	DERI	石器	225	1.40	0.25	100	-	-	-	サスキトイド	未成品 母岩1 赤生				
22	96-29	原11号 第24回22	SRI	DERI	調片	(250)	(2.10)	0.50	264	-	-	-	サスキトイド	田石部、赤生				
23	96-30	原11号 第24回23			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
24	96-31	原11号 第24回24	SRI	DERI	石器	(150)	(1.20)	0.20	49	-	-	-	サスキトイド	未成品 赤生				
25	96-32	原11号 第24回25	SRI	DERI	二次加工調片	(210)	0.50	0.30	83	-	-	-	サスキトイド	右端未充填品？ 母岩1 赤生				
26	96-33	原11号 第24回26	SRI	DERI	碎片	(085)	(1.60)	0.10	27	錐状	110	0.03	90°	サスキトイド	田石部、赤生			
31					SRI	石器	250	1.60	0.50	177	-	-	-	サスキトイド	先端削り欠損 赤生			
32					SRI	石器	160	1.40	0.30	75	-	-	-	サスキトイド	赤生			
33					SRI	石器	210	2.75	0.30	211	-	-	-	サスキトイド	赤生			
34					SRI	石器	260	1.50	0.30	136	-	-	-	サスキトイド	赤生			
35					EPRI	石器	(230)	1.90	0.40	192	-	-	-	サスキトイド	微細風化 先端削り欠損 赤生			
37						二次加工調片	(190)	(1.55)	(0.55)	142	-	-	-	サスキトイド	赤生			
38					SRI	碎片	(080)	(1.40)	0.10	111	-	-	-	サスキトイド	黄褐色風化 赤生			
39					SRI	碎片	(130)	(0.60)	0.10	98	-	-	-	サスキトイド	黄褐色風化 赤生			
40					SRI	碎片	(075)	(0.60)	0.10	101	-	-	-	サスキトイド	質熱 赤生			
41						二次加工調片	(300)	(4.20)	(0.75)	565	-	-	-	サスキトイド	田石部、赤生			
42						燒難	(130)	(0.90)	0.35	125	-	-	-	宝山岩	質熱 赤生			
43						調片	230	5.30	1.85	2983	切子	320	0.95	135°	サスキトイド	自然面あり 母岩1 赤生		
44						打製作面丁	370	4.80	(0.50)	1237	-	-	-	緑色珪質岩	赤生			
46						碎片	(135)	(0.40)	0.30	19	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着 田石部、赤生			
47						碎片	(090)	(0.40)	0.30	61	-	-	-	赤色珪質岩	田石部、赤生			
49						碎片	100	1.00	0.15	17	錐状	0.75	0.05	-	赤色珪質岩	田石部、赤生		
50						碎片	(090)	(0.80)	0.20	112	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着 田石部、赤生			

石器・五郎兵衛谷古墳

(2)

五郎兵衛谷古墳出土石器觀察表

遺物 番号	因版 番号	報告書 添載 番号	遺構名	取り 上げ 番号	器種	長さ (cm)	幅(cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面			剥離 角	石材	備考	時期				
										形状	幅(cm)	厚さ (cm)								
51					石柱	230	465	130	1318	-	-	-	-	チート	黄褐色土付着	旧石器、後生				
52		SBI	DERI S-1	神片	(155)	0.60	0.15	0.17	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生					
53		SBI	DERI S-1	神片	(230)	1.75	0.10	0.37	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生					
54			GPZ2	打製石庖丁	450	1440	0.80	17.48	-	-	-	-	サスコトイド	茶褐色土付着 表面無加工 自然面あり	後生					
55		SBI	DERI S-1	神片	0.50	0.30	0.05	0.01	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生					
56		SBI	DERI S-1	神片	(110)	0.60	0.10	0.18	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生					
57		SBI	DERI S-1	神片	0.60	0.30	0.01	0.01	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生					
58				神片	0.90	0.60	0.25	0.17	-	-	-	-	サスコトイド	白色風化	旧石器、後生					
59			石顎	150	120	0.49	0.62	-	-	-	-	黒褐色	表面に平行 の凹凸有り	後生						
60		SBI	打製石庖丁	150	(455)	0.25	283	-	-	-	-	緑色片岩	大部分欠損	後生						
61			神片	(250)	3.60	150	0.40	-	-	-	-	赤色珪質岩	茶褐色土付着 自然面あり(切削)	旧石器、後生						
62			神片	(110)	0.65	0.01	0.09	-	-	-	-	赤色珪質岩	後生	後生						
63			神片	0.80	0.20	0.05	0.47	切子	200	1.45	LNF	赤色珪質岩	後生	後生						
64			神片	0.85	0.70	0.00	0.41	-	-	-	-	赤色珪質岩	後生	後生						
65	3号墳		神片	(260)	1.75	0.55	1.90	-	-	-	-	赤色珪質岩	内側消磨	後生						
66	3号墳	DERI S-1	神片	(160)	0.65	0.35	0.65	-	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着	旧石器、後生						
67		DERI S-1	神片	(230)	1.40	0.65	2.45	-	-	-	-	赤色珪質岩	後生	後生						
68		DERI S-1	神片	(200)	1.35	0.50	1.35	-	-	-	-	チート	後生	後生						
69			神片	(140)	0.60	0.20	0.25	-	-	-	-	ホルンフェルス	後生	後生						
70		DERI S-1	石核	160	3.15	120	4.35	-	-	-	-	黒褐色石	鷹島産	後生						
71			神片	0.90	0.50	0.20	0.10	-	-	-	-	赤色珪質岩	後生	後生						
72			神片	(115)	0.70	0.35	0.2	-	-	-	-	赤色珪質岩	後生	後生						
73		SBI	DERI S-1	神片	0.80	0.60	0.20	0.08	-	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着	旧石器、後生					
74		SBI	DERI S-1	神片	0.90	0.45	0.10	0.01	-	-	-	-	緑色片岩	後生	後生					
75			分類標	10.38	8.00	3.05	36230	-	-	-	-	サスコトイド	自然面あり 黄褐色土付着	後生						
76			神片	0.96	0.94	0.33	0.39	-	-	-	-	赤色珪質岩	自然面あり 黄褐色土付着	旧石器、後生						
77		GHUJ S-6	神片	(178)	1.10	0.74	0.80	-	-	-	-	糊灰質	後生	後生						
78		GHUJ S-6	神片	(220)	1.09	0.51	1.21	-	-	-	-	赤色珪質岩	自然面あり 黄褐色土付着	旧石器、後生						
79			石顎	(142)	1.58	0.38	0.90	-	-	-	-	サスコトイド	茶褐色土付着 内側消磨	後生						
80			神片	2.87	1.75	0.35	1.74	錐状	0.80	601	90	サスコトイド	黄褐色土付着	旧石器、後生						
81	F地点		石顎	(243)	2.10	0.45	3.20	-	-	-	-	サスコトイド	黄褐色土付着 青銅器	後生						
82	3号墳	A地 2	神片	(291)	1.81	0.45	2.68	-	-	-	-	赤色珪質岩	自然面あり (河原石) - 黄褐色土付着	旧石器、後生						
83		GHUJ S-11	火器器?	(131)	0.72	0.60	0.56	-	-	-	-	赤褐色	青銅器土付着	古墳						
84		GHUJ S-11	神片	(147)	(123)	0.22	0.64	-	-	-	-	赤色珪質岩	黄褐色土付着	後生						
85		GPZ2	神片	(218)	(101)	0.77	1.46	-	-	-	-	糊灰質	後生	後生						
86			神片	(255)	(106)	0.35	1.51	-	-	-	-	宝山岩	系網状土付着	後生						
87		GPZ2	神片	(128)	(136)	0.62	1.18	-	-	-	-	泥岩	後生	後生						
88			神片	(190)	(118)	0.72	1.82	-	-	-	-	宝山岩	系網状土付着	後生						
89		GHUJ S-11	火器工房?	(212)	(135)	0.18	0.63	-	-	-	-	サスコトイド	石頭成品 後生	後生						
90		GHUJ S-11	神片	(205)	(120)	0.40	1.00	-	-	-	-	サスコトイド	系網状土付着	GHUJ、後生						
91		SBI	2' - 1' 片	神片	(167)	1.60	0.32	0.96	-	-	-	-	サスコトイド	系網状土付着	GHUJ、後生					
92			神片	(225)	(128)	0.22	0.94	-	-	-	-	サスコトイド	系網状土付着	GHUJ、後生						
93	4号墳	3' - 1' - 2'	神片	(196)	(175)	0.15	1.07	-	-	-	-	泥岩	後生	後生 - 古墳						
94			神片	2.34	1.92	0.27	1.61	■	1.48	0.28	90	サスコトイド	系網状土付着	GHUJ、後生						
95		GHUJ S-11	神片	(162)	(204)	0.62	2.53	-	-	-	-	泥岩								
96			神片	(198)	(251)	0.55	2.82	-	-	-	-	宝山岩	系網状土付着							
97		GPZ2	神片	(188)	(300)	0.45	2.82	平担	1.25	0.48	105	サスコトイド	系網状土付着 90と同一	GHUJ、後生						
98		GPZ2	神片	(241)	(275)	(185)	7.88	-	-	-	-	泥岩	系網状土付着 90と同一							
99		GPZ2	神片	(260)	(260)	0.90	9.65	-	-	-	-	泥岩	系網状土付着 90と同一							
100		GPZ2	神片	(412)	(265)	0.40	5.75	-	-	-	-	緑色片岩	系網状土付着	後生						
101		SBI	DERI S-2	紙石片	(3.39)	(2.48)	(0.64)	6.95	-	-	-	-	糊灰質	黄褐色土付着	後生 - 古墳					
102			紙片	4.40	2.28	0.46	9.51	-	-	-	-	緑色片岩	系網状土付着	後生 - 古墳						

出土物整理

(3)

五郎兵衛谷古墳出土石器観察表

遺物 番号	因版 番号	報告書 掲載 番号	遺構名	取り 上げ 番号	器種	長さ (cm)	幅(cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	打面			剥離 角	石材	備考	時期	
										形状	幅 (cm)	厚さ (cm)					
103		1号墳トレス	CDL1 No.8	鋸片	(296) (324) (0.88)	7.35	—	—	—	—	—	—	サメキトイド	茶褐色土付着			
104				鋸片	(315) (275) (150)	12.24	—	—	—	—	—	—	砂岩				
105			GRJ S41	鋸片	(365) (226) (222)	110.00	—	—	—	—	—	—	茶褐色土付着				
106		1号墳南	スカライバー	394	(380)	0.73	15.71	—	—	—	—	—	サメキトイド	茶褐色土付着			
107		SBI	レ・H・H1	鋸片	(355) (532)	0.46	12.36	—	—	—	—	—	緑色片岩	茶褐色土付着 石塚丁未成品	油生		
108			鋸片	6.44	2.72	0.82	21.07	—	—	—	—	—	緑色片岩	茶褐色土付着 石塚丁未加工	油生		
109			GRH1	砥石片	(437) (355)	(125)	15.00	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着	油生～古墳		
110		SBI	DEB1 S4	右石舟	(437) (421)	(146)	29.00	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着	油生		
111		1号墳南	砥石舟	(475)	(315)	(3.9)	70.00	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着	油生、古墳		
112		1号墳南	スカライバー	5.89	(545)	(0.95)	41.00	—	—	—	—	—	サメキトイド	一側縁二次加工	油生		
113		1号墳南	CDL1 No.1	鋸片	(8.40)	(4.30)	(1.41)	70.00	—	—	—	—	緑色片岩	石塚丁未成品か	油生		
114		SBI	DEB1 S2	鋸	7.06	3.57	3.40	154.74	—	—	—	—	砂岩	角擦			
115		1号墳南	砥石片	(796)	(578)	(3.35)	213.00	—	—	—	—	—	砂岩	油生、古墳			
116		SBI	DEB1 S4	砥石片	(912)	(632)	(263)	225.50	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着			
117		PGJ1	砥石器	(942)	(385)	(2.44)	137.00	—	—	—	—	—	緑色片岩	1/4 残存、棒状	右石舟、油生		
118			鋸	(1164)	(315)	(282)	157.00	—	—	—	—	—	砂岩	2/3 残存、棒状	右石舟、油生		
119			—JED1のJED	12.33	4.30	1.32	141.50	—	—	—	—	—	緑色片岩	石塚丁未成品か	油生		
120		GRH1-S1	鋸	(1425)	3.44	2.23	153.50	—	—	—	—	—	砂岩	3/4 残存、棒状	右石舟、油生		
121		1号墳南 CDL1-S1	磨石	(10.23)	(2.50)	(1.50)	139.00	—	—	—	—	—	砂岩	1/5 残存	油生		
122		SBI	DEB1-S2	右石舟	(1365) (1011)	(2.45)	287.00	—	—	—	—	—	砂岩	123と同一	油生		
123			右石舟	(17.30)	(6.02)	(5.00)	524.00	—	—	—	—	—	砂岩	122と同一	油生		
124		3号墳	鋸片	(173)	(1.16)	(1.60)	11.19	—	—	—	—	—	砂岩				
125		GRH1-S6	鋸	1.67	1.30	1.67	100	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着			
126		HII	鋸片	(129)	(1.65)	(1.00)	263	—	—	—	—	—	砂岩	ホシシフルス			
127		HII	鋸片	(190)	(1.48)	(0.90)	252	—	—	—	—	—	砂岩	ホシシフルス			
128			コンクリート				4.34	—	—	—	—	—	砂岩	コンクリート			
129			鋸片	(236)	(1.30)	(1.19)	283	—	—	—	—	—	砂岩				
130		PGJ1	砂石				1.36	—	—	—	—	—	砂岩	安山岩			
131		GRH1-S8	鋸片	(256)	(2.09)	(0.65)	228	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着			
132		DEB1 S1付近	鋸片	(245)	(1.49)	(0.65)	4.79	—	—	—	—	—	砂岩				
133			鋸片	(220)	(1.90)	(0.85)	373	—	—	—	—	—	砂岩				
134			鋸片	(280)	(2.21)	(0.46)	462	—	—	—	—	—	砂岩	ホシシフルス			
135		GRH1-S5	鋸片	(256)	(1.60)	(1.10)	592	—	—	—	—	—	砂岩	ホシシフルス			
136		FBI	鋸片	(280)	(2.35)	(1.40)	11.85	—	—	—	—	—	砂岩	ホシシフルス			
137		SBI	DEB1-S3	鋸片	(292)	(2.51)	(1.90)	15.35	—	—	—	—	—	泥岩			
138		PGJ1	鋸片	(380)	(3.04)	(0.75)	7.84	—	—	—	—	—	砂岩	139.140.148 右石舟～古墳			
139		SBI	DEB1 S1付近	鋸片	(4.19)	(2.42)	(0.38)	4.29	—	—	—	—	—	砂岩	138.3.40.148 右石舟～古墳		
140			鋸片	(422)	(2.48)	(1.15)	8.48	—	—	—	—	—	砂岩	138.3.39.148 右石舟～古墳			
141			研石内	鋸片	(376)	(2.58)	(1.21)	14.09	—	—	—	—	砂岩				
142		3号墳	鋸	4.15	2.88	1.10	15.86	—	—	—	—	—	砂岩	東角擦			
143		FBI	鋸片	4.22	(3.32)	2.15	33.74	—	—	—	—	—	砂岩				
144			鋸片	(460)	(3.21)	(0.90)	126.69	—	—	—	—	—	砂岩	被熱	右石舟～古墳		
145		3号墳	土塁2	鋸	4.48	2.94	2.38	16.43	—	—	—	—	泥岩	円筒擦			
146		DHL1	鋸	(744)	1.28	1.21	21.86	—	—	—	—	—	砂岩	棒状			
147		PGJ1	鋸	6.55	2.01	1.86	39.00	—	—	—	—	—	砂岩	棒状			
148		1号墳No.1	GRH1	鋸片	(5.45)	(3.45)	(1.20)	26.50	—	—	—	—	—	砂岩	138～140と同一 被熱	右石舟～古墳	
149		1号墳No.1	GRH1	鋸片	(5.82)	(3.99)	(0.92)	21.50	—	—	—	—	—	砂岩			
150		1号墳No.1	GRH1	鋸片	(5.74)	(3.25)	(1.12)	29.50	—	—	—	—	—	砂岩			
151			GRH1 S-13	鋸片	(7.29)	(4.39)	(1.82)	38.50	—	—	—	—	—	砂岩			
152			鋸	7.42	4.12	2.38	85.50	—	—	—	—	—	砂岩	茶褐色土付着			
153			鋸片	(5.88)	(5.64)	(1.41)	65.00	—	—	—	—	—	砂岩				
154			GRH1 S-4	鋸片	(9.20)	(3.78)	(0.99)	46.50	—	—	—	—	—	砂岩			
155			右石舟	(7.52)	(5.11)	(5.35)	133.00	—	—	—	—	—	砂岩				
156		CDL1 No.3	右石舟	(5.84)	(5.01)	(0.66)	31.78	—	—	—	—	—	砂岩	被熱、1/2残存	油生		
157			打制強T	(3.00)	(5.78)	(0.55)	25.11	—	—	—	—	—	砂岩	被熱、1/2残存	油生		
158		3号墳	鋸片	(7.31)	(6.80)	(3.78)	250.79	—	—	—	—	—	砂岩	被熱、1/2残存			
159			右石舟	(1265)	(2.41)	(1.29)	60.58	—	—	—	—	—	砂岩	被熱	油生		
160		SBI	DEB1-2	鋸片	(11.85)	2.48	2.21	123.47	—	—	—	—	—	砂岩	被熱、被熱、石 部分	油生	

※計測値の()括弧は残存値を示す。

【注釈】

- *1 遺跡名の呼称については、文献によっては五郎兵衛谷遺跡と呼ばれることがあるが、五郎兵衛谷古墳の調査で古墳時代以外の遺物が発見され、松山市から五郎兵衛谷古墳の報告書の中で古墳時代以外の遺物が報告されていることから、本報告では五郎兵衛谷古墳の遺物として整理・報告する。
- *2 「地形分類（自然地形）」国土地理院
(<https://maps.gsi.go.jp/#15/33.816314/132.813721/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0fl>) を元に作成。
- *3 沖野新一氏は、I 層表土（本稿 I 層）、II 層橙色に近い黄褐色土（本稿 II 層）、III 層灰褐色土（本稿 III 層）、IV 層粘性の赤褐色土、V 層砂岩礫を含む黄褐色土（本稿 IV 層）としている。
- *4 沖野実・青野美和・富山亜紀子 2018「高見 I 遺跡 2 次」埋蔵文化財発掘調査報告書第 196 集（公財）愛媛県埋蔵文化財センター 9p、島崎達也・沖野新一・武智克弥・松本美香・兵頭歎 2019「高見 II 遺跡 東峰第 4 地点 2 次」伊予市埋蔵文化財調査報告書第 14 集 9p、竹口加枝美・多田仁 2002「東峰遺跡第 2・4 地点 高見 I 遺跡」埋蔵文化財発掘調査報告書第 98 集（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター 31p、松山市教育委員会 1978「五郎兵衛谷古墳」松山市文化財調査報告書 13 18-22p を元に作成。
- *5 県外産のサスカイトと肉眼分別出来ない、生地が黒色緻密にして無斑品質な安山岩を沖野実ほか 2018「高見 I 遺跡 2 次」埋蔵文化財発掘調査報告書第 196 集（公財）愛媛県埋蔵文化財センター 102p に倣いサヌキトイドとした。
- *6 「標準地図（3D データ）」国土地理院
(<https://maps.gsi.go.jp/#15/33.816314/132.813721/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0fl>) を元に作成。図中の実線は河川及び水路を示す。
- *7 「標準地図（断面図データ）」国土地理院
(<https://maps.gsi.go.jp/#15/33.816314/132.813721/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0fl>) を元に作成。
- *8 打面形状の呼称及び剥離角の計測方法については竹岡俊樹 2003『旧石器時代の型式学』株式会社学生社 13p に倣った。
- *9 資料の検討にあたっては、愛媛県埋蔵文化財センター沖野実氏に多くのことをご教示頂いた。記して感謝の意を表したい。

【参考文献】

- 沖野新一 2012「赤い旧石器を求めて -肱川流域の謎に家族で迫る-」唐崎旧石器研究会
- 沖野新一 2019「松山市五郎兵衛谷遺跡の推定基本層序」からさき第 474 号 唐崎文化通信 唐崎旧石器資料館
- 沖野実・青野美和・富山亜紀子 2018「高見 I 遺跡 2 次」埋蔵文化財発掘調査報告書第 196 集（公財）愛媛県埋蔵文化財センター
- 十亀幸雄 1979「松山市五郎兵衛谷のナイフ形石器」「遺跡 17」
- 十亀幸雄 1980「道後平野における先土器時代の遺跡と遺物」「遺跡 18」
- 重松佳久 1992「第 8 章 小野川水系における旧石器文化」「米住・久米地区的遺跡」松山市文化財調査報告書第 27 集
- 島崎達也・沖野新一・武智克弥・松本美香・兵頭歎 2019「高見 II 遺跡 東峰第 4 地点 2 次」伊予市埋蔵文化財調査報告書第 14 集伊予市教育委員会
- 竹口加枝美・多田仁 2002「東峰遺跡第 2・4 地点 高見 I 遺跡」埋蔵文化財発掘調査報告書第 98 集（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター
- 松山市教育委員会 1978「五郎兵衛谷古墳」松山市文化財調査報告書 13

6. 出土物整理・埴輪（二つ塚古墳）

1 はじめに

松山市北久米町に所在する二つ塚古墳は、現状では後円部の一部が残存するのみであるが、これまでの先学研究の成果より、主軸を東西に指向した松山平野最大級の前方後円墳とされてきた（遺跡発行会 1985 ほか）。また、北久米遺跡 4 次・6 次調査（山之内 2007）により、周塚及び埴輪部の復元が部分的ではあるが可能になった点は大きな成果である。

今回、北久米 4 次・6 次調査出土の埴輪資料を再整理する機会を得たため、以下にその報告を行うものである。併せて、近年実施された周辺の試掘調査により新知見を得ることが出来たため、再度復元案を提示し、松山平野における古墳時代後期前葉の大型前方後円墳について検討を加えたい。

2 墓輪資料の観察

二つ塚古墳の周塚からは多量の埴輪片が出土しており、北久米遺跡 4 次・6 次調査のほか、周辺の試掘調査でも同様の様相を呈する。遺物観察では、出土位置での器種や出土量の多寡は見られず、墓造当時より全域に埴輪が樹立されたものと推測される。

また、出土埴輪の大半は円筒埴輪で、少しづつ朝顔形埴輪が混じる。形象埴輪は蓋形埴輪が認められるが、一部小片ながら動物（人物？）の可能性がある個体も散見される。以下に器種ごとにその特徴を詳述する。

（1）円筒埴輪（図 1～5・1～35）

復元可能な個体は器高 50cm を超える大型品で、形状や各種調整・焼成には複数の種類が認められ、幾つかの系統に分類可能と考える。

大別すると、①土師質焼成で、基底部から口縁部にかけて直線的に外傾する個体（A 類）と、②須恵質焼成で、基底部から口縁部にかけて直線的に上方へ伸び、口縁部高が突帯間幅と比べ短い（約 1/2）個体（B 類）の 2 種類が存在する。以下にその特徴を列記する。

① A 類（1～30）

今回の主な出土地点である前方部前面～南側括れ部にかけての個体の殆どは、この A 類である。全形が復元できる個体では突帯 4 条 5 段構成で、一部にやや大型の個体も混在するようである。外面にはタテ及びナナメハケが施されており、1 段空けて直交して 2 方向の円形スカシを穿つ。

口縁部は体部同様に外傾し、大きく外反するようなものは見当たらない。口縁部長は突帯間隔と大きな差異はなく、口縁端部内面にはヨコハケがみられる個体と無い個体があり、外面には 2 条単位の弧線（14～17）や「×」線刻（4・18）などのヘラ記号が確認できる。

突帯は断面が低平な三角形形状を呈し、横方向のナデ（指または板）により器面貼付時の断続ナデを消している。体部への貼付時の設定間隔は個体間で差があり、やや上下に波打つ個体も認められる。

ここで注目されるのが最下段に残る突帯の断続ナデ貼付（断続ナデ技法）である。貼付時の断続ナデを残す「断続ナデ技法 B」が見られる一方、指及び板ナデ（押圧の可能性もあり）により調整する「断続ナデ技法 A」も一定数認められる。前方部付近の一部の調査であるため、古墳全体での比率は不明だが、重要な視点であろう。

基底部は端部の潰れではなく、ナデまたは指オサエにより「基底部正立調整」が施されるが、後期中

埴輪・二つ塚古墳

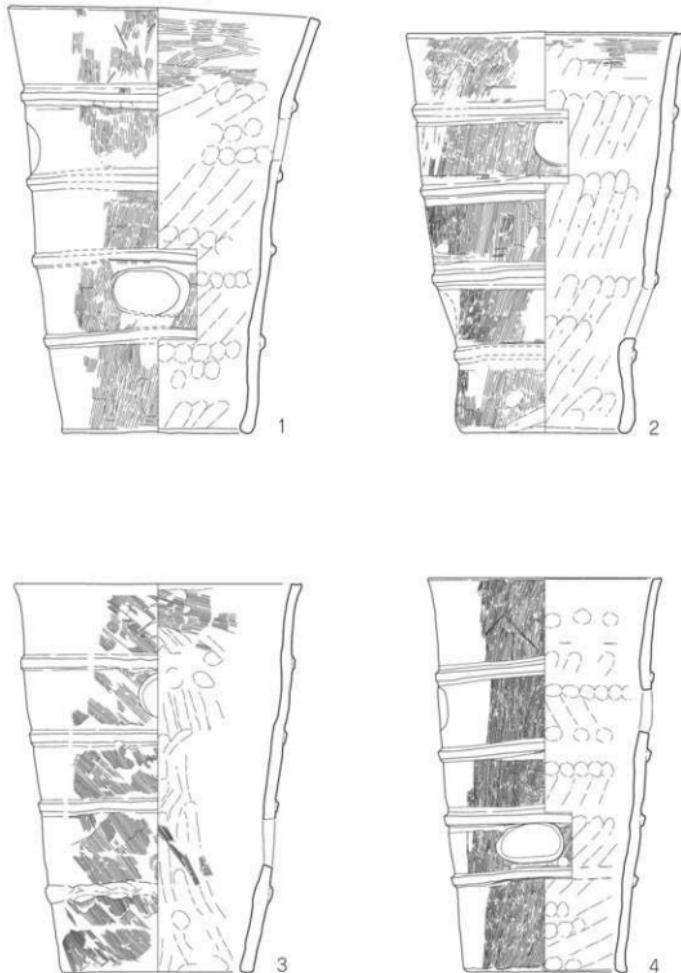


図1 二つ塚古墳出土埴輪実測図（1）

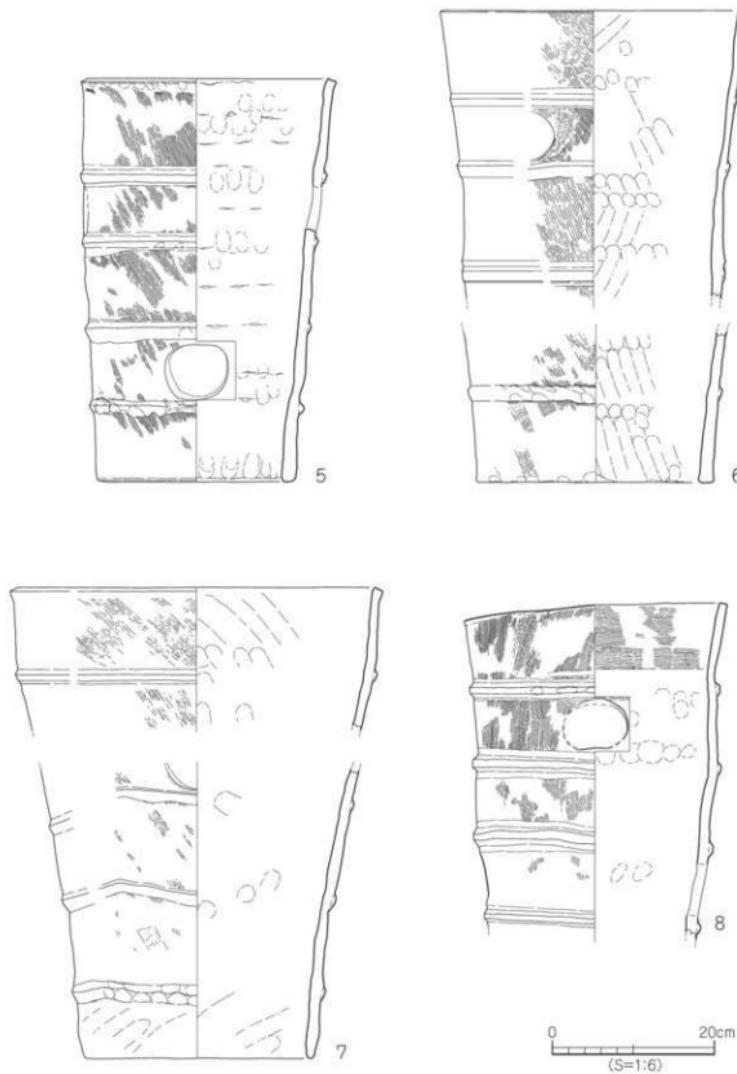


図2 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (2)

埴輪・二つ塚古墳

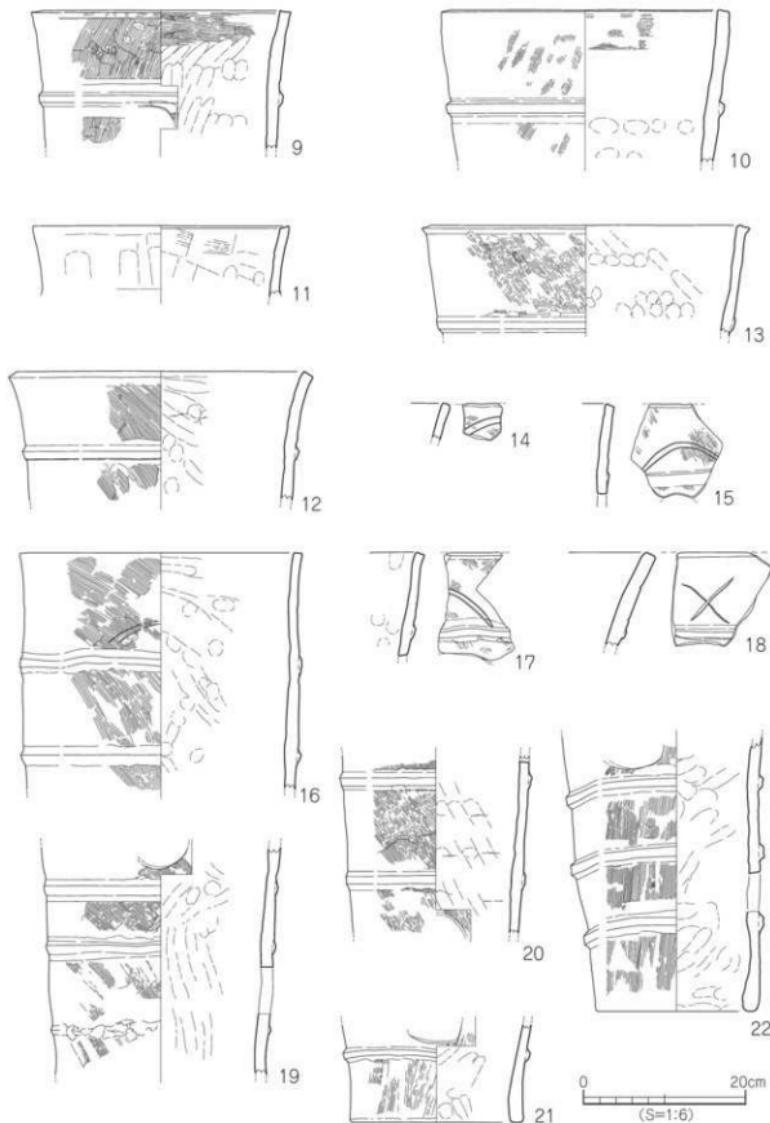


図3 二つ塚古墳出土埴輪実測図(3)

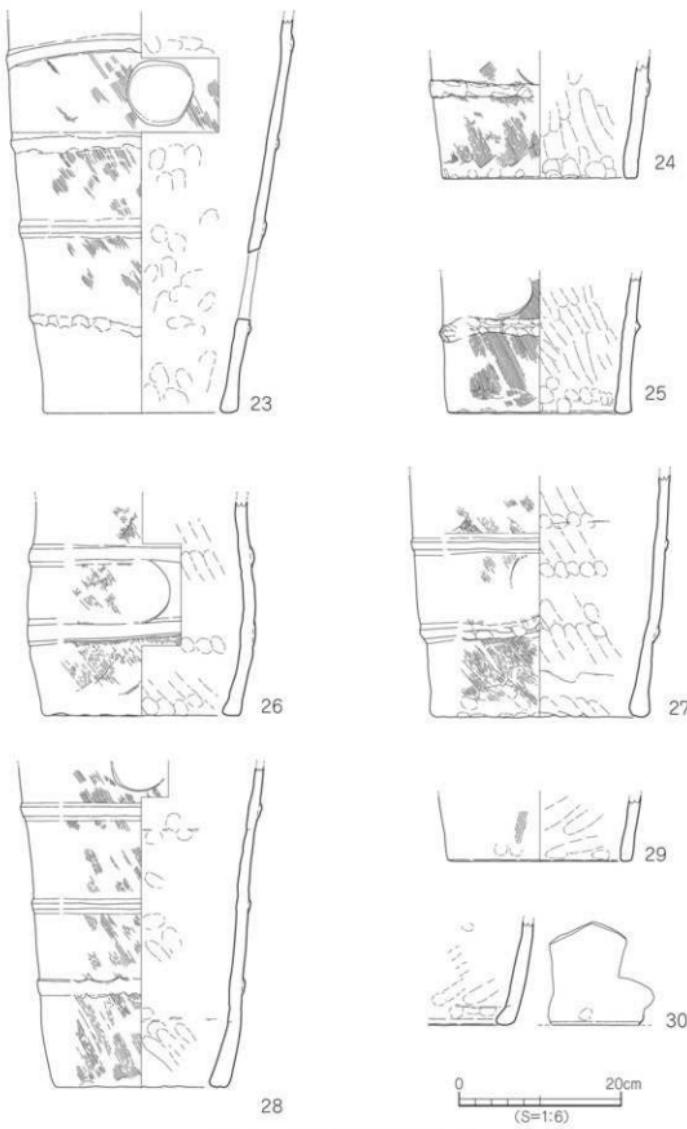


図4 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (4)

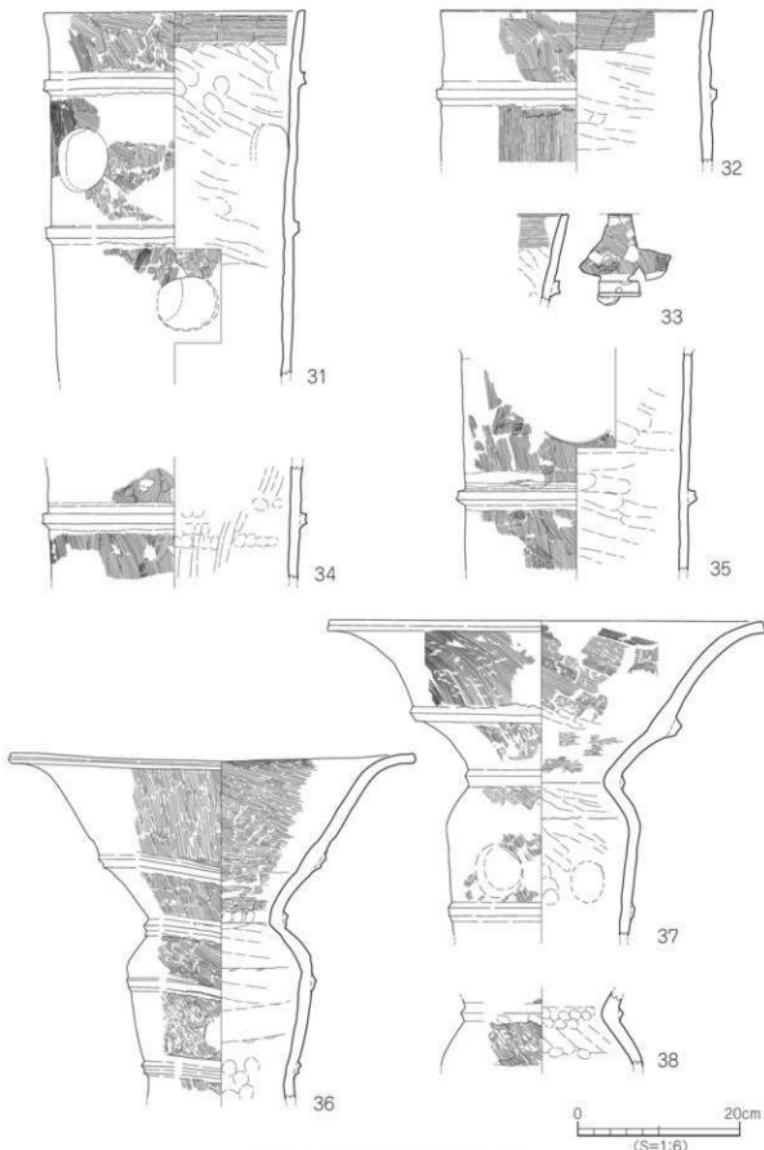


図5 二つ塚古墳出土埴輪実測図(5)

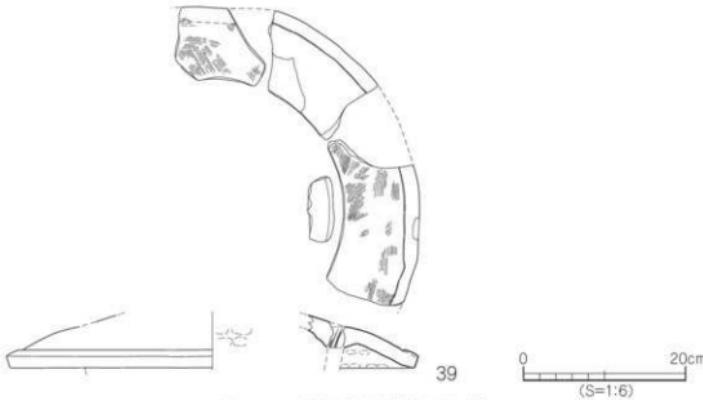


図6 二つ塚古墳出土埴輪実測図 (6)



写真1 二つ塚古墳出土埴輪



写真2 墓輪3の突帯



写真3 墓輪5の突帯

埴輪・二つ塚古墳

表1 二つ塚古墳出土埴輪観察表

(1)

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調 整		(外側) 色調 (内面)	胎 土 焼成	備 考
				外 面	内 面			
1	円筒	口径 40.0 豊高 53.5 ~ 54.8 底径 24.4	基底部から直線的に開く (口縁部少し開きが大きい)。	ナナメハケ ナナメハケ 断続ナデ	ヨコハケ 指ナデ・オサエ 指ナデ	橙色 橙色	石・長(1~1) 赤 良好	2・4段目に円形スカシ (対面に2孔穿つ) 突帯4条5段構成。
2	円筒	口径 35.6 豊高 51.3 ~ 54.0 底径 21.6	基底部から直線的に開く 突帯は軽く波打つ。	ナナメハケ(右上り)、 ナナメハケ ナナメハケ	ヨコハケ 指ナデ・オサエ 指ナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) 赤 良好	2・4段目に円形スカシ (対面に2孔穿つ) 突帯4条5段構成。
3	円筒	口径 37.0 豊高 (50.0) 底径 24.4	基底部から直線的に開く 突帯は断面扁平な三角形状。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	ヨコハケ 指ナデ・オサエ 指ナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) 良好	2・4段目に円形スカシ (対面に2孔穿つ) 突帯4条5段構成。 底下段断続ナデB
4	円筒	口径 (30.0) 豊高 (50.6) 底径 (21.0)	基底部から直線的に外縁。 口縁部でやや外反。 外面上に[X]のへら記号。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	指オサエ・ナデ 指オサエ・ナデ 指オサエ	橙色 橙色	石・長(1~3) 良好	2・4段目に円形スカシ (対面に2孔穿つ) 突帯4条5段構成。
5	円筒	口径 31.0 豊高 51.6 底径 25.0	基底部から直線的に外縁。 突帯は断面扁平な三角形状。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	指オサエ・ナデ 指オサエ・ナデ 指オサエ	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1) 良好	2・4段目に円形スカシ 突帯4条5段構成。 最下段断続ナデB
6	円筒	口径 (39.0) 豊高 (50.8 ~ 50.0) 底径 (30.0 ~ 30.0)	口縁部まで直線的にやや外縁。 突帯は断面三角形状(断続ナデ駆け付)。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	指ナデ・オサエ 指ナデ・オサエ 指ナデ・オサエ	褐灰色 褐灰色	石・長(1~1) 良好	2・4段目に円形スカシ 突帯4条5段構成か? 最下段断続ナデB
7	円筒	口径 (47.6) 豊高 (58.5) 底径 (29.0)	基底部から直線的にやや外縁。 口縁部は直線的に星る。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	指オサエ・ナデ 指オサエ・ナデ 指オサエ	褐色 褐色	石・長(1~3) 赤 良好	2・4段目に円形スカシ 突帯4条5段構成。 最下段断続ナデB
8	円筒	口径 (33.8) 豊高 43.2	口縁部にかけて直線的に外縁。 突帯は断面扁平な台形状。	ナナメハケ ナナメハケ ナナメハケ	ヨコハケ 指オサエ 指ナデ	橙色 橙色	石・長(1) 良好	2・4段目に円形スカシ (対面に2孔穿つ) 突帯4条5段構成。
9	円筒	口径 33.0 残高 17.6	口縁部は直線的に外縁。 突帯は軽めの断面台形状(中央底む)。	ナナメハケ (右上り方向) ナナメハケ	ヨコハケ 指ナデ・オサエ 指オサエ・ナデ	にぶ+褐色 にぶ+褐色	石・長(1~1) 密 良好	口縁部下段に円形スカシ 内面にナデ繋有。
10	円筒	口径 (37.2) 残高 19.4	口縁部に向かい直線的に外縁。 突帯は断面扁平な台形状。	ナナメハケ (右上り方向)	ヨコハケ 指ナデ・オサエ 指ナデ	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1~2) 良好	口縁部にかけてやや内湾
11	円筒	口径 (32.8) 残高 9.0	直線的に外縁する。口縁部はナデで尖り気味。	ヨコハケ ナナメナデ	ヨコナデ・ナデ? (口縁部内面・板) 指ナデ・オサエ	褐色 暗赤褐色	石・長(0.5~1) 密 良好(須塵質)	口縁内面のナデ不明瞭 (隠めの口縁)
12	円筒	口径 (39.0) 残高 16.5	口縁部は軽やかに外反する。 突帯は断面扁平な三角形状。	ナナメハケ	ヨコハケ 指ナデ・オサエ	明赤褐色 明赤褐色	石・長(1~2) 良好	口縁内面にヨコハケ無
13	円筒	口径 (41.8) 残高 9.1	直線的に外縁する。口縁部に強めのナデ。	ナナメハケ 指オサエ	指オサエ・ナデ 指オサエ	にぶ+褐色 黄褐色	石・長(1~2) 良好	口縁内面にヨコハケ無
14	円筒	残高 4.7	口縁部に向かい直線的に外縁。 2条並立の弧線(ヘラ記号)有。	ナナメハケ	指ナデ?	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1~1) 密 良好	口縁内面にヨコハケ無
15	円筒	残高 12.0	口縁部は直線的に外縁。 2条単立の弧線(ヘラ記号)有。	ナナメハケ	指ナデ	黄褐色 黄褐色	石・長(1~1) 良好	口縁部は短め 口縁内面にヨコハケ無
16	円筒	口径 (36.4) 残高 30.4	口縁部まで直線的に外縁。 突帯は軽く幅広の駆け付。 2条並立の弧線(ヘラ記号)有。	ナナメハケ	指オサエ・ナデ	橙色 橙色	石・長(1~3) 良好	口縁内面にヨコハケ無 突帯駆付は断続ナデA?
17	円筒	残高 13.7	口縁部は直線的に外縁。 2条単立の弧線(ヘラ記号)有。	ヨコサエ・ナデ	指オサエ	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1) 良好	No.8と同一個体か?
18	円筒	残高 12.0	口縁部に向かい直線的に外縁。 「×」印のヘラ記号有。	? (摩滅激し)	指ナデ?	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1~1) 密 良好	口縁内面にヨコハケ無
19	円筒	残高 29.2	直線的に上方へ伸びる (あまり開かない形状)。	ナナメハケ 指オサエ	指オサエ・ナデ	にぶ+黄褐色 にぶ+黄褐色	石・長(1~3) 良好	2・4段目に円形スカシ 突帯4条5段構成か? 最下段断続ナデB
20	円筒	残高 22.7	直線的に上方へ外縁する。 突帯断面は軽平な台形状。	ナナメハケ 指ナデ	指オサエ・ナデ	橙色 橙色	石・長(1~1) 赤 良好	2・4段目に円形スカシ 突帯4条5段構成か?

出土物整理

(2)

二つ塚古墳出土埴輪観察表

番号	器種	法量(cm)	形態・施文	調 整		(外面) 色調 (内面)	胎 土 焼 成	備 考
				外 面	内 面			
21	円筒	底径(22.2) 残高 12.5	基底部から直線的に外傾。 突帝貼付は指ナデ(断続あり?)。	タテハケ・ ナナメハケ  指ナデ	 指ササギ  ヨコナデ	褐色 褐色	石・長(1) 良好	2段目に円形スカシ 基底部端は厚め
22	円筒	底径 20.1 残高 35.1	基底部から直線的に外傾。 突帝は無面「M」字型。	タテハケ・ ナナメハケ  指ナデ	指ササギ・ナデ  ヨコナデ	褐色 褐色	石・長(1~2) 良好	2・4段目に円形スカシ (前面に2孔穿つ) 突帝4条5段構成?
23	円筒	底径 25.1 残高 50.5	基底部から直線的に外傾。 突帝は断面低平な三角形状。	ナナメハケ・ 指ナデ(オサエ)	指ササギ・ナデ  指ササギ	褐色 褐色	石・長(1~8) 良好	2・4段目に円形スカシ 突帝4条5段構成? 最下段断続ナデB
24	円筒	底径(24.6) 残高 15.6	基底部から直線的に外傾。 突帝貼付は無面ナデ→指ナデ。	ナナメハケ  指ササギ	指ナデ(ナナメ)  指ササギ	褐色 にぶい褐色	石・長(1) 良好	2段目に円形スカシ 最下段断続ナデA
25	円筒	底径 22.8~24.8 残高 17.5	直線的に上方へ伸びる。 最下段突帝は断面三角形。	ナナメハケ  指ナデ  指ササギ	指ナデ(ナナメ)  指ササギ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1~2) 良好	2段目に円形スカシ 最下段断続ナデB
26	円筒	底径(25.5) 残高 17.4	基底部からやや張出し 氣味。突帝は軽扁でナデ強い。	ナナメハケ  指ナデ	指ナデ・オサエ  指ナデ	褐色 褐色	石・長(1~4) 良好	2段目に円形スカシ 最下段断続ナデA?
27	円筒	底径(28.0) 残高 31.0	直線的に上方へ伸びる (あまり開かない形)。	ナナメハケ  指ナデ・オサエ	 指ササギ  指ナデ	灰黄褐色 灰黄褐色	石・長(1~2) 良好	2段目に円形スカシ 基底部端はやや厚め 最下段断続ナデB
28	円筒	底径(22.6) 残高 41.0	基底部から直線的に外傾。 最下段突帝は断続ナデ →(指ナデ? ナナデ?)。	ナナメハケ  指ナデ  指ナデ	指ナデ・オサエ  指ナデ	褐色 褐色	石・長(1~8) 良好	4段目に円形スカシ 基底部端は厚め 最下段は腹牌压庄か?
29	円筒	底径(23.6) 残高 8.3	直線的にやや開く。基底 端部の潰れなし。	ナナメハケ  指ナデ  指ササギ	指ナデ(ナナメ)  指ササギ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1) 良好	
30	円筒	残高 13.1	基底部端内面が内側に潰 れる。	ナナメナデ  指ササギ	指ナデ(ナナメ)  指ササギ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1~5) 良好	
31	円筒	口径(33.5) 残高 48.8	口縁部まで直線的に外傾。 突帝は軽扁の断面台形状 (中央突出)。	タテハケ・ ナナメハケ	①ヨコハケ 指ナデ・オサエ	にぶい褐色 にぶい褐色	長(1~2) 亦 良好(須惠質)	口縁部は削め 円形スカシは各段2個ずつ
32	円筒	口径(34.9) 残高 19.5	口縁部は直線的に立ち上 がる。突帝は軽広の断面 台形状(中央突出)。	タテハケ・ ナナメハケ	②ヨコハケ 指ナデ・オサエ	灰褐色 灰褐色	密 良好(須惠質)	口縁部は削め
33	円筒	残高 11.6	口縁部は直線的に外傾。 突帝は軽扁の断面台形状 (中央突出)。	ナナメハケ	②ヨコハケ 指ナデ・オサエ	にぶい褐色 にぶい褐色	密 良好(須惠質)	口縁部は削め
34	円筒	残高 14.5	直線的に上方へ伸びる(あ まり開かない形)。空断面 面は丸めの弓形(茎み有)。	タテハケ・ ナナメハケ	指オサエ・ナデ	褐色 褐色	密 良好(須惠質)	
35	円筒	残高 27.8 (突帝残 19~20)	直線的に上方へ伸びる(あ まり開かない形)。空断面 面は丸めの弓形(茎み有)、 指ナデ(突帝上)	タテハケ・ ナナメハケ 指ナデ	指ナデ(ナナメ)	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1) 亦 良好(須惠質?)	円形スカシ 下部が基底部の可能性
36	朝顔形	口径(51.6) 残高 44.1	肩部は短く内傾。括れ部 は断面三角形の突帝。口 縁部は2段に大きく開く。	ナナメハケ 指ナデ	ナナメ ②ヨコハケ 指ナデ・オサエ	褐色 褐色	石・長(1~3) 良好	内輪部は削め 肩部下に円形スカシ孔
37	朝顔形	口径(56.3) 残高 40.4	肩部は短く内傾。括れ部 は断面三角形の突帝。口 縁部は2段に大きく開く。	ナナメハケ 指ナデ	ナナメ ②ヨコハケ 指ナデ・オサエ	褐色 褐色	石・長(1~2) 良好	肩部下に円形スカシ孔 一部突帝が削離
38	朝顔形	肩部径 19.8 残高 9.5	肩部は短く内傾。括れ部 は断面三角形の突帝。	ナナメハケ	指オサエ・ナデ	にぶい褐色 にぶい褐色	石・長(1~2) 亦 良好	
39	蓋	笠部径(51.4) 残高 6.7	笠部外縁には止めの突帝 貼付。笠部出しが後付 による(接着部に2条1 組の割り目有)。	ハケ・指ナデ	指オサエ・ナデ	褐色 褐色	石・長(1) 密 良好	破片からの復元 蓋は大型品

* () : 推定復元値、①→口縁部  →基底部端 石→石英、長→長石、赤→赤色酸化鉄、密→精製土。 () の中の数値は混和剣粒
子の大きさを示す。例) 石・長(1~3) →「1mm~3mm 大の石英、長石を含む」である。

葉以降に顕著な外面板オサエ・タタキ等による「基底部倒立調整」(山内 2018) はみられない。外面にはナナメハケが顕著で、一部に外面指(板?) オサエの可能性がある個体(7) も存在する。また、基底部高は突帯間隔と同じ個体が殆どで、稀に基底部が長めや短めの個体も散見される。

このように各属性を観察すると、(i) 口縁内面のヨコハケ有無、(ii) 最下段突帯に「断続ナデ技法 A・B」が分類の一指標となるが、その組み合わせは多様で、埴輪製作には複数系統(グループ)の工人集団が関与している可能性が高い。

(2) B類(31~35)

数量的には多くないが、須恵質焼成の特徴的な一群であり、ここでは B類として報告する。

形状としては、復元可能な個体では口径 35cm 前後、口縁部にかけて垂直に近く立ち上がり、口縁端部内面に幅 5cm 前後のヨコハケを施す(B種ヨコハケではない)。器面調整には外面タテ及びナナメハケで、全体を復元できる個体はないが、おそらく突帯 3 条 4 段構成であろうと推測する。

また、前述のとおり口縁部は突帯間隔と比べて狭く、ほぼ突帯間隔の約 1/2 である点で、他の個体とは大きく異なる。円形スカシ孔も突帯間各段に 2 方向、垂直方向に穿たれる。

突帯は A類にみられる断続ナデ貼付の痕跡はみられず、断面台形状で、丁寧なヨコナデ貼付・調整により中央部分が窪む。貼付時の上下の歪みも少なく、突帯貼付設定の可能性も考えられる。

(2) 朝顔形埴輪(図 5・36~38)

多量の円筒埴輪片に混じり、朝顔形埴輪が少数出土している。

口縁部は大きく外反して開き、口径 50cm 以上を測る。端面はナデ調整を施し、端部内面はやや平坦面を有する。括れ部からは 2 段階に開き、1 段目上端(擬口縁部)は接合部を指ナデ・ヨコハケで消し、外面に突帯を貼付する。

括れ部には断面三角形の突帯を貼付し、肩部は短く内湾するが大きく張り出さない。肩部との境界には突帯を貼付するもの(36)と無いもの(37)が存在する。円形スカシ孔は 2 方向に穿つ。

なお、円筒部の焼成・調整等の特徴は、円筒埴輪 A類の特徴との類似点が多い。

(3) 蓋形埴輪(図 6・39)

形象埴輪として蓋形埴輪が確認されている。小片が多く全形の復元は困難で、立脚部も確認出来ないが、その中でも笠部片については特徴が把握可能である。

笠部は円筒部に鱗状の粘土板(帶)を接合することで成形する。円筒部との接合面には刻み目が施されており、接着時の工夫と推測される。端部外面には粘土突帯を貼付し、貼付部分が有段を呈する。内外面のハケ・指オサエ調整及び焼成は円筒埴輪 A類と類似する。

3 墳丘周辺の試掘成果と墳丘復元

二つ塚古墳については、周塙を伴う大型前方後円墳であることは明らかであるが、墳丘部分の正式な発掘調査は実施されておらず、近接する部分的な調査(北久米遺跡 4 次・6 次ほか)により周塙および墳壙(前方部隅角・後円部)の一部が僅かに確認できたのみで不明な点が多い。

しかし、開発等に先立ち実施された試掘調査では、前・後円部及び括れ部の周塙が確認されている。加えて、これまで古墳外と想定されていた箇所から多量の埴輪片が出土するなど、これまでの古墳想定図とは異なる新たな情報が得られている。

そこで、墳丘周辺の試掘調査を調査区ごとに精査した上で、墳丘及び外表施設の存在を再検討し、

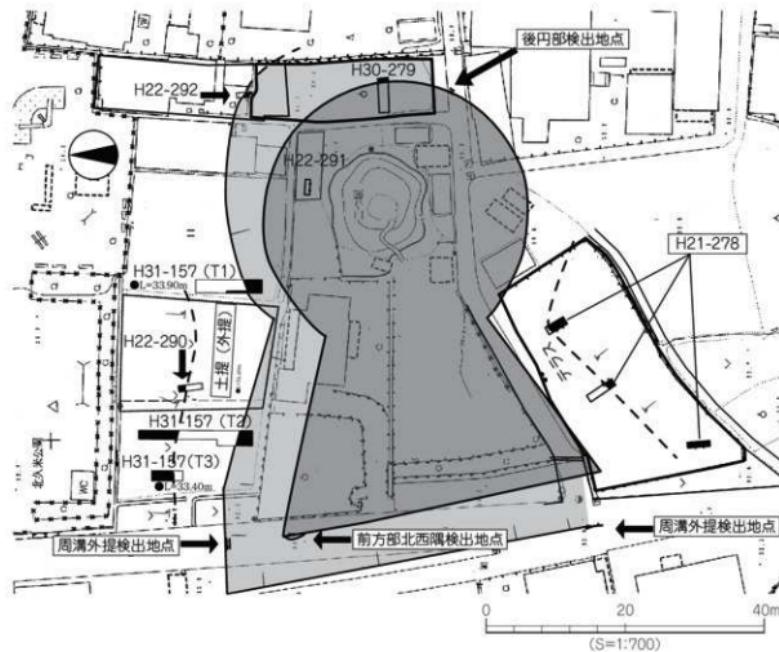


図7 二つ塚古墳の復元図（試掘・立会調査より）



写真4 前方部から見た二つ塚古墳（西より）



写真5 周溝（H31-157・T1 西より）

現段階での二つ塚古墳の復元案を提示しておきたい。

(1) 後円部

後円部裾と周塙の境界検出地点としては、北久米遺跡6次調査、試掘調査1地点〔H30-279〕が挙げられる。周塙埋土（黒褐色土）からは円筒埴輪片が出土し、周塙部の掘方はやや急勾配である。

また、試掘2地点〔H22-292、H31-157（T1）〕では、周塙外側の掘方を検出している。墳丘側と同様に掘方は急勾配で、埴輪片の出土のみで須恵器片は混入しない。

現在残存する円丘（後円部）は、農道や公園、宅地造成等に伴う削平により、築造当初の形状からは大きく改変されているが、検出された埴輪から復元すると径約35～36mを測る。

(2) 括れ部

括れ部を直接調査した事例はないが、括れ部に近い試掘調査1地点〔H31-157（T1）〕では、周塙外側の検出平面が括れ部に向かって弧状をなすことから、墳丘北側の周塙外側は墳丘部と同様に括れていた可能性がきわめて高い。

また、括れ部南側付近に設定された試掘調査〔H21-278（T3）〕では、調査当時「周塙内埋土」とされる黒色土が現地表下110cm付近で検出されたとあるが、この黒色土を「周塙内埋土」と判断するかどうかは、後述にて触ることとする。

(3) 前方部

前方部北側と南側で様相が異なるため、これまでの復元案と比較しながら検討する。

(i) 前方部北側

北久米遺跡4次調査、試掘調査3地点〔H22-290、H31-157(T2・T3)〕が挙げられる。これまでの復元案では「盾形周塙」と想定され、H22-290の試掘成果で検出した溝状遺構（SD）は、二つ塚古墳の関連遺構との認識ではあったが、性格は不明とのことであった。

しかし、近年の試掘調査〔H31-157(T2)〕では、周塙外側の掘方を検出したほか、約9mの橙色土（地山層）を挟んで、浅めの掘方に黒褐色土が堆積する状況が確認されたのである。堆積土（埋土）からは多量の埴輪片が検出され、近接する箇所〔H31-157(T3)〕でも同様の堆積・遺物包含を確認できたことから、前述のH22-290溝状遺構も一連のものと理解すべきと解釈する。

では、この遺構（黒褐色土の堆積）は一体何なのであろうか。筆者は周塙外堤からの流入土もしくは外塙の可能性を考える。H31-157(T2)で確認された橙色土の広がりは、周塙外側を取り巻く外堤（土堤）部分であり、外堤上に配置された埴輪が時間の経過と共に破碎され、外堤盛土とともに周塙および外側へ転落・流入したのであろう。

(ii) 前方部南側

試掘調査3地点〔H21-278(T1～T3)〕では、調査当時「周塙内埋土」とされているが、検出面は現地表下110～130cmと深く、前方部北側の周塙検出面とは1m程度の高低差がある。また、前方部北側や後円部の周塙掘方と比較しても、その掘方（傾斜）が緩やかで周塙の判断には疑問が残る。北から南にかけて地形が下がることから、地形本来の傾斜に堆積した流土の可能性もある。

(iii) 前方部前面

北久米遺跡4次調査と工事立会では、周塙外堤および埴輪（前方部隅角）の一部が確認されている。また、周塙西側は数mの地山面の後、急勾配で下ることが工事立会により明らかで、前方部前面にも本来は外堤（土堤か）が存在していたのかもしれない。

表2 松山平野における古墳時代後半期の古墳編年案(2022年内に加筆修正)

道番		県地図		松山平野			
(西)	(東)	北 部	中央部	北東部	東 部	南東部	南西部
M II	TK216			【東の古墳群(古墳群)】 船形9		轟山	
	TK208	【西の古墳群(古墳群)】				土塁跡1	御内原1 土塁跡2
N-1 (古)	TK23			【城山古墳群】		地山神7	
	TK47	船形9		【東山古墳群】		土塁跡3 土塁跡4	
V M-2 (新)	MT15	赤坂	大字赤坂			御前塚大門山	御内原2 御内原
	TK10			船石山	二重井村 二ノ塚	御前塚大門山	天下塚7 御内原
M-3 (新)	TK43			船石山	御前塚大門山	御前塚大門山	御内原2 上三谷1-2
	TK209	赤坂1			【久米・簀子・平井古墳群(古墳群)】 船形6 船形9	御前塚大門山	

(4) 新たな復元案

上記の調査(発掘・試掘)および工事立会の成果より、墳長約60~62m、周塚を含めると全長70m以上を測る規模で、周塚は盾形ではなく墳丘括れ部に沿って内側に括れる平面形を呈する。また、墳丘北側には幅6~9mの外堤(土堤)が存在し、墳丘南側には周塚ではなくテラス(平坦面)が存在するものと推測される。

また、古墳が立地する地理的位置としては、北から延びる台地上で、すぐ南に大きく傾斜する「台地先端部」に位置する。そのため南・西に向かって土地が傾斜しており、高所に位置する北側部分に幅広の周塚及び外堤を配し、傾斜下位の南側には周塚ではなく平坦面(テラス)を設けることで、南側から墳丘を「見せる」効果を狙ったものと推測される。

4 墳輪および前方後円墳からみた古墳時代後期の松山平野

以上、出土埴輪および周辺の試掘・立会調査の成果をもとに、現状で把握可能な二つ塚古墳に関する基礎的データを整理してきた。最後に、出土埴輪からみた編年的位置付けと、同時期の埴輪資料との比較検討を行い、松山平野における二つ塚古墳と後期首長墳の関係性について触れておきたい。

(1) 各種埴輪の評価

出土埴輪の殆どは円筒埴輪であり、その大半を占めるA類の中にも、法量や器面調整(口縁端部内面のヨコハケなど)、スカシ孔構成、最下段突帯の「断続ナデ技法 A・B」などの各種組み合わせにより、複数類型を指摘することが可能である。また、特徴的な須賀賀焼成の一群(B類)についても、調整手法にA類との類似性を認めることができ、埴輪製作集団の技術共有が指摘できよう。

また、朝顔形埴輪は二重口縁状を呈し、肩部の円筒化などの省略も見られないことから、各種埴輪から見た年代的位置付けとしては、筆者の埴輪編年(山内2008)で「伊予IV-1~2期」に比定され、概ね6世紀前葉と想定される。

さらに、一古墳で複数系統の円筒埴輪(V群系埴輪)が採用される背景としては、複数の埴輪製作工人をもとに、瀬戸内海を媒介とした王權中枢部をはじめとする有力首長層との広域ネットワークを

指摘しておきたい。松山平野で同時期の埴輪生産が未だ限定的な中、古墳築造（中・小型前方後円墳）と埴輪採用が連動しており、埴輪生産からは前方後円墳を介した王權中枢部（奈良盆地）との繋がりを見出しきることも可能で、廣瀬覚氏もこの点について指摘する（廣瀬 2021）。

このように、二つ塚古墳の埴輪資料は、単に多種多量の円筒埴輪が存在するという情報のみならず、特定の製作手法や組み合わせから、古墳時代後期前葉の王權中枢部（奈良盆地）との政治的ネットワークを窺い知ることのできる良好な一群であることは間違いない。

（2）二つ塚古墳と松山平野の後期首長墳

二つ塚古墳は、古墳時代後期前葉における松山平野最大級の前方後円墳であることが改めて明らかとなった。本古墳が立地する久米地区周辺は、中・小型前方後円墳が集中するエリアであり、同平野の古墳時代後期社会を考える良好なフィールドでもある。

同時期に展開する前方後円墳のうち、墳長 60m を超える大型前方後円墳である二つ塚古墳と波賀部神社古墳、30m 以上の中型前方後円墳（三島神社古墳・播磨塚天神山古墳・鶴塚古墳）には埴輪が採用されており、古墳ごとに複数系統の円筒埴輪が製作・樹立されている。

しかし、技法・調整観察では、「断続ナデ技法 B」の採用（二つ塚古墳・三島神社古墳）など細部では古墳間での共通項も多く、口縁内面のヨコハケ調整は後期初頭の船ヶ谷向山古墳や鶴が峰古墳群などで既に採用されており、松山平野を一単位と捉えても、埴輪製作には工人間に一定の技術伝播があったことも十分に想定される。

さらに、中期後葉の祝谷 9 号墳に採用される「馬蹄形」周壕に続き、近年の調査で平野部に立地する後期前葉の前方後円墳にも、括れ部に沿うような形で平面形が括れる特徴的な周壕の存在（経石山古墳・二つ塚古墳・鶴塚古墳）が明らかになっている。墳丘や埋葬施設を含めた情報量が少ない後期前葉の大・中型前方後円墳を検討する上でも重要な指摘であり、埴輪の詳細分析と併せた「可視化された階層性」の解明が今後の課題であろう。（山内英樹）

【引用・参考文献】

廣瀬 覚 2021『6世紀の埴輪生産からみた「部民制」の実証的研究』平成 28～令和 2 年度 科学研究費助成事業（基盤研究 C）

二つ塚古墳調査会・愛媛大学歴史学研究会 1984『松山市二つ塚古墳調査報告』『遺跡』第 25 号 遺跡発行会

山内 英樹 2004『愛媛県出土埴輪の基礎的研究（4）・松山市・二つ塚古墳資料紹介および県内資料の製作

手法観察・』『紀要愛媛』第 4 号（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター

山内 英樹 2008『伊予の埴輪編年』『紀要愛媛』第 8 号（財）愛媛県埋蔵文化財調査センター

山内 英樹 2018『円筒埴輪「基底部調整」再考』『埴輪論叢』第 8 号 墓輪検討会

山内 英樹 2022『西部瀬戸内の石見型埴輪・松山平野の出土資料・』『埴輪論叢』第 11 号 墓輪検討会

山之内志郎 2007『北久米遺跡 4 次調査地』『北久米遺跡 6 次調査地』『松山市埋蔵文化財調査年報 19』

松山市教育委員会・（財）松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センター

7. 保存処理

I. 保存処理の概要

保存処理室では主に木製品（PEG含浸処理）、金属製品（減圧樹脂含浸）の保存処理を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

金属製造物：保存処理は基本的に当センターで行うが、特殊な資料やX線撮影は外部委託している。今年度は、委託していない。

木製・植物性遺物：保存処理は当センターで行うが、重要な資料や自然科学分析は外部委託している。今年度は、委託していない。

動物遺骸体：洗浄や保護処理は当センターで行い、人骨の鑑定、獣種同定、保存処理は外部委託している。今年度は、余戸柳井田遺跡3次調査、祝谷大地ヶ田遺跡6次調査、祝谷大地ヶ田8次調査、坂浪西1号墳出土人骨の鑑定、保存処理を特定非営利活動法人・人類学研究機構に委託した。

追加資料の掲載：令和2年度に松山市教育委員会文化財課より、NPO法人人類学研究機構に鑑定を委託した北斎院地内遺跡4次調査（松山市文化財調査報告書第80集「斎院の遺跡Ⅱ」）の出土人骨の鑑定結果を追加資料としてP82～P94に掲載する。

II. 保存処理実務

1. 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレンゴム）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～15年位を要する。今年度は行っていない。

2. 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壤・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った点数を表1に記す。

3. 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら、竹串・針先・ピンセット・刷毛などを用いて骨の取り出し、クリーニングを行っている。

表1 令和3年度 金属製品保存処理遺跡名一覧

No	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
*	庄天神山	581	処理済み	(北条ふるさと館保管遺物)
*	下難波寺ノ谷	1	処理済み	(北条ふるさと館保管遺物)

4. 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡単な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11、保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X、保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は従来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

5. 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

6. 令和3年度調査出土遺物一覧（保存処理等必要遺物）

令和3年度に保存処理等必要遺物が出土した遺跡を表2に記す。（山本）

表2 令和3年度 調査出土金属・木製・動植物遺体一覧（以前の調査出土も含む）

No	遺跡名	種類	遺物内容	数量
666	下難波腰折遺跡2次調査A区 (腰折5号墳・6号墳)	動物遺骸体	人骨	9点
667	下難波腰折遺跡2次調査B区 (腰折7号墳)	金属製品	刀子	2点
669	祝谷アイリ遺跡2次	金属製品	斧	1点
		木製遺物	杭・不明・杭?	3点
670	清水町遺跡3次調査	金属製品	釘・飾り金具	2点
671	松山城三之丸24次調査	金属製品	釘・釘?・銭貨	3点
672	松山城三之丸25次調査	金属製品	釘	3点
*	庄天神山	金属製品	銭貨	581点
*	下難波寺ノ谷	金属製品	銭貨(塊)	1点

【参考文献】1~5 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター「埋蔵文化財ニュース16・24・28・31」

8. 北斎院地内遺跡4次調査出土の中世人骨

松下眞実*・松下孝幸**

【キーワード】：愛媛県、中世人骨、木棺墓、土坑墓、側臥屈葬

はじめに

愛媛県松山市北斎院町221-1に所在する北斎院地内遺跡4次調査が、宅地開発に伴って1998（平成10）年度（1998年10月1日～1999年1月29日）におこなわれた。この調査によって中世の遺構と弥生時代から中世までの遺物が出土した。中世の遺構としては、掘立柱建物址3棟、溝7条、井戸2基、墓2基、土坑13基、柱穴378基、性格不明遺構1基が検出されており、遺物は弥生土器、土師器、須恵器、陶磁器、瓦質土器、石器、鉄製品が出土している（斎院の遺跡Ⅱ、松山市文化財調査報告書80集、2001）。



写真1 調査区遠景

愛媛県で筆者らが調査や鑑定の依頼を受けた人骨のうち中世人骨（非火葬骨）は松山市の古照遺跡（松下、1998）、七反地遺跡（松下、2000）、余戸中ノ孝遺跡（松下・他、2019）、余戸中ノ孝遺跡3次調査地（松下、2018）、東垣生八反地遺跡（松下眞実・他、2019）、南江戸上沖遺跡、北斎院地内遺跡2次調査地（松下眞実・他、2021）、東本遺跡6次調査地、北久米町屋敷遺跡2次調査地、柳味四反地遺跡20次調査地および八幡浜市のウラショウジ遺跡（松下、1999）から出土した中世人骨がある。

余戸中ノ孝遺跡からは愛媛県ではこれが初例である円形の周溝を伴う中世墓が出土した。周溝を伴った墓に副葬されていた土師器（碗）が吉備の所産であることや、出土した熟年男性骨の四肢骨は極めて太く、屈強な人物であったことは注目される（松下・他、2019）。また、古照遺跡からは14世紀末頃の1体の壮年・女性骨が出土している。頭型や顔面の特徴は不明であるが、四肢骨が細い女性であった。ウラショウジ遺跡からは16世紀に属する熟年・男性骨と年齢不明の女性骨がそれぞれ1体出土している。頭型や顔面の特徴は不明で、四肢骨は下肢骨しか残っていないかったが、男女とも下肢骨は細かった。七反地遺跡からは5体（男2、女3）の中世人骨が出土している。男性は長頭型を示し、歯槽性突頬がみられたが、女性の頭型と顔面の特徴は明らかにできなかった。男性の上腕骨と大腿骨は長く、男性の脛骨と女性の大腿骨、脛骨は短く、骨体は男女ともに細いものであった。また、男性は高身長であったが、女性は低身長であった。

残存していた2体の人骨のうち1体は観察や計測が可能で、人骨の特徴を明らかにすることができたので、その結果を報告しておきたい。

北斎院地内遺跡4次調査出土の中世人骨



図1. 遺跡の位置 (1/25,000)
 (Fig.1 Location of the place Kitasayajinai site, Matsuyama City, Ehime Prefecture)

資料

本調査で2基の墓が検出され、2体の人骨が出土した。墓1は楕円形の墓坑内に設けられた木棺墓で、墓2は土坑墓である。2基ともトレンチの南壁の土層観察時に遺構が検出され、墓がみつかった。墓1の墓坑は南北径1.94m、東西径2.34mで、木棺のサイズは長径136m、幅0.9m、深さ25cmで、墓坑はかなり大きいが、木棺の長さは短い。墓1には頭部東側に土師器杯1点が副葬されていた。墓2の墓坑の平面形は楕円形で、残存する南北径は0.5m、東西径1m、深さ25cmで、墓坑は小さい。

2基の墓から検出された2体の人骨のうち、1体（墓1人骨）は年齢不明の男性骨で、もう1体（墓2人骨）の性別・年齢は不明であるが、成人骨である（表1.2）。なお、年齢区分を表3に示した。

この2体は、副葬品の考古学的所見などから、中世（16世紀初頭）に属する人骨と推測されている。計測方法は、Martin-Saller（1957）によったが、脛骨の横径はオリビエの方法（前縁がノギスの針の中央に位置するようにして計測）で計測した。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

成 人			幼 小 児	合 計
男 性	女 性	不 明		
1	0	1	0	2

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考（埋葬施設、頭位、埋葬姿勢、副葬品）
墓1	男性	不明	木棺墓、北頭位、側臥屈葬（右を下）土師器杯1点
墓2	不明	不明	土坑墓、成人

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年 齡
未 成 人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳（第一大臼歯萌出直前まで）
	小児	6歳～15歳（第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで）
	成 年	16歳～20歳（蝶後頭軟骨結合癒合まで）
成 人	壯 年	21歳～39歳（40歳未満）
	熟 年	40歳～59歳（60歳未満）
	老 年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（松下、1996）を参照されたい。

所 見

I 人骨の検出状況と埋葬姿勢

墓1人骨（男性・年齢不明）

埋葬遺構は木棺墓である。出土状況を現場で実見していないが、報告書に検出時点の写真が掲載されているので、これをみると、墓1人骨の大腿骨近位部（股関節と関節する部分）は棺の側板にかなり近い位置にあり、また膝関節を強屈していることから、左右の骨盤は重なっていたと推測されるので、埋葬姿勢は右を下にした側臥屈葬と思われる。また、頭位は北である。



写真2 墓1 人骨出土状況

墓2墓人骨（性別・年齢不明）

遺存状態が著しく悪く、写真や実測図からは埋葬姿勢を推測することができない。埋葬遺構は土坑墓である。



写真3 墓2 人骨出土状況

II 人骨の形質

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

墓1人骨（男性・年齢不明）

上腕骨、桡骨、尺骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、距骨、踵骨が残存していた。保存状態は比較的良好である。

1. 四肢骨

(1) 上肢骨

①上腕骨

両側の骨体遠位側半分が残存していた。径はあまり大きくなはないが、上腕骨頸はやや大きい。三角筋粗面の発達は弱い。

計測値は、中央最大径が22mm（右）、中央最小径は18mm（右）で、骨体断面示数は81.82（右）となり、骨体の扁平性は認められない。骨体最小周は60mm（右）、中央周は66mm（右）で、骨体はそれほど太いものではない。

②桡骨

両側の骨体が残存していたが、保存状態は悪い。骨体の径は大きいものではないが、骨間縁の発達は良好である。

③尺骨

両側の骨体が残存していた。径はやや大きく、骨間縁の発達はきわめて良好である。

(2) 下肢骨

①大腿骨

右側の骨体が残存していた。緻密質は剥離しており、保存状態は悪い。骨体はあまり大きくはないが、骨体上部の矢状径は大きい。また、粗線の発達や骨体両側面の後方への発達はよくない。計測はできなかった。

②脛骨

両側の骨体が残存していた。右側は内果と近位部の大部分を欠損しているが、骨体の遺存状態は良好である。骨体は長く、径はやや大きい。ヒラメ筋線は発達していたようである。骨体の断面形は両側ともヘリチカのII型（内側を底辺として骨間縁を頂点とする鈍角二等辺三角形）を呈している。

計測値は、中央最大径が29mm（右）、中央横径は22mm（右）で、中央断面示数は75.86（右）となり、右側の骨体には扁平性は認められない。骨体周は81mm（右）、最小周は75mm（右）で、骨体はやや大きい。なお、左側骨体には骨膜炎による病変が認められ、骨体は全周にわたって不規則な膨隆がみられる。

③腓骨

右側の骨体が残存していた。骨体中央部はやや大きく、稜の発達も良好で、骨体は扁平である。

2. 性別・年齢

性別は、脛骨や膝蓋骨の径が大きいこと、上腕骨頸や肘頭、橈骨頭も大きいことから男性と推定した。年齢は不明である。

墓2人骨（性別・年齢不明）

成人の四肢骨片が残存していたに過ぎない。遺存状態はきわめて悪い。残存していた骨の部位は不明である。また、性別、年齢も不明である。

考 察

計測ができた上腕骨と脛骨について、愛媛県とその他の地域の中世人と比較してみた。

1. 上腕骨

表4は上腕骨の比較表である。墓1人骨の上腕骨の中央周は66mmで、七反地の2例(61mm、64mm)よりは大きいが、余戸中ノ孝の77mm、深堀の72mmよりも小さく、月見城と由比ヶ浜南の平均値と同値で、吉母浜と原とも大差ない。表4をみると、七反地の上腕骨は細く、余戸中ノ孝は例外的に上腕骨が太く、屈強なことがわかる。すなわち、本上腕骨の大きさは平均値的な太さである。また、骨体断面示数は81.82で、表4では最大値を示し、骨体の扁平性は認められない。

2. 脛骨

表5は脛骨の比較表である。墓1人骨の脛骨の骨体周は81mmで、ウラショウジの70mmと七反地の2例(76mm、74mm)よりは大きいが、余戸中ノ孝の90mmと花岡木崎の89mm、原の87mmよりは小さく、吉母浜の平均値80.2mm、由比ヶ浜南の平均値79.63mmに近く、上腕骨と同じように脛骨の太さも中世人としては、余戸中ノ孝ほど太くはなく、ウラショウジや七反地のように細いものでもなく、いわば普通サイズの脛骨である。また、中央断面示数は75.86で、余戸中ノ孝の75.76、花岡木崎の75.00、七反地土坑墓4の74.07と大差なく、骨体の扁平性はまったく認められない。

要 約

松山市北斎院町221-1に所在する北斎院地内遺跡4次調査が宅地開発に伴って1998(平成10)年度におこなわれ、2基の埋葬遺構から2体の人骨が検出された。人骨を解剖学的に精査し、人類学的観察と計測をおこなった。人骨所見は次のように要約することができる。

1. 1体は木棺墓(墓1)から、もう1体は土坑墓(墓2)から出土した。前者の被葬者の埋葬姿勢は北頭位で、右を下にした側臥屈葬であったが、後者では遺存状態が悪く、埋葬姿勢は不明である。
2. 2体とも成人骨である。木棺墓の被葬者は年齢不明の男性であるが、土坑墓の被葬者は骨の遺存状態が著しく悪く、性別、年齢を推測することができなかった。なお、木棺墓には土師器1点が副葬されていた。
3. 2体の所属時代は、副葬品などの考古学的所見から中世(16世紀初頭)と推測されている。
4. 墓1から出土した男性被葬者の上腕骨の計測値は、中央周66mm(右)、中央最大径22mm(右)、中央最小径18mm(右)で、骨体断面示数は81.82(右)となり、骨体はそれほど大きくはなく、骨体には扁平性は認められない。脛骨の計測値は、骨体周81mm(右)、最小周75mm(右)で、骨体はやや大きく、中央最大径29mm(右)、中央横径22mm(右)、中央断面示数75.86(右)となり、骨体には扁平性は認められない。
5. 筆者らが鑑定した愛媛県内の中世人骨の数は多くはないが、四肢骨が著しく太く、大きいものと、比較的小さいものとが存在する。余戸中ノ孝1号墓人骨は前者に、七反地遺跡やウラショウジ遺跡から出土した中世人骨は後者に属する。本遺跡の墓1の被葬者はこの両者の中间的な大きさで、近隣県の中世人と大差ない大きさであった。今後、鑑定数が増加すれば、愛媛県内の中世人の形質的特徴がより詳しく解明できるものと期待される。

《参考文献》

- 池田次郎、1980：帝釈寄倉岩陰遺跡出土の中世人骨について。広島大学文学部帝釈跡遺跡群発掘調査室年報Ⅲ：99-105。
- Martin-Saller, 1957 : Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1.Gustav Fisher Verlag. Stuttgart : 429-597.
- 松下真実・他、2018：愛媛県松山市余戸中ノ孝遺跡3次調査出土の中世人骨。余戸中ノ孝遺跡3次・6次（一般国道6号線松山外環状道路空港線・一般国道久米垣生線建設に伴う埋蔵文化財調査報告書）：315-324。
- 松下真実・他、2019：余戸中ノ孝遺跡出土の中世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報31（平成30年度）：63-81。
- 松下真実・他、2019：東垣生八反地遺跡出土の中世人骨。松山市埋蔵文化財調査年報31（平成30年度）：82-88。
- 松下真実・他、2021：北斎院地内遺跡2次調査出土の入骨。松山市埋蔵文化財調査年報33（令和3年度）：84-88。
- 松下真実・他、愛媛県松山市東本遺跡6次調査地2区出土の中世人骨（投稿中）
- 松下真実・他、愛媛県松山市北久米町屋敷遺跡2次調査地出土の中世人骨（投稿中）
- 松下真実・他、愛媛県松山市博味四反地遺跡20次調査区出土の中世人骨（投稿中）
- 松下孝幸、1987a：広島県月見城出土の中世人骨。月見城遺跡（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第54集）：97-106。
- 松下孝幸・他、1987b：長崎市深堀遺跡出土の人骨。深堀貝塚発掘調査報告書：45-56。
- 松下孝幸、1996：土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集）：24-50。
- 松下孝幸、1998：愛媛県松山市古照遺跡出土の中世人骨。斎院・古照新松山空港道路建設に伴う埋蔵文化財調査報告書（遺物編）：532-538。
- 松下孝幸、1999：愛媛県八幡浜市ウラショウジ遺跡出土の中世人骨。愛媛県歴史博物館研究紀要第4号：96-123。
- 松下孝幸、2000：愛媛県松山市七反地遺跡出土の中世人骨。道ヶ谷古墳・池の奥遺跡・平田七反地遺跡（一般国道196号松山北条バイパス埋蔵文化財調査報告書Ⅱ）（埋蔵文化財発掘調査報告書第86集）：391-422。
- 松下孝幸、2002：神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡（第3分冊・分析編Ⅱ）：1-99。
- 松下孝幸・他、2013：熊本県芦北町花岡木崎遺跡出土の中世人骨。花岡木崎遺跡（芦北町文化財調査報告書第3集）：191-222。
- 松山市教育委員会、2001：斎院の遺跡Ⅱ（松山市文化財調査報告書80）
- 中橋孝博・他、1985：人骨（山口県下関市吉母浜遺跡出土人骨）。吉母浜遺跡：154-225。

* Masami MATSUSHITA、** Takayuki MATSUSHITA

The Organization of Anthropological Research [N P O 法人・人類学研究機構]

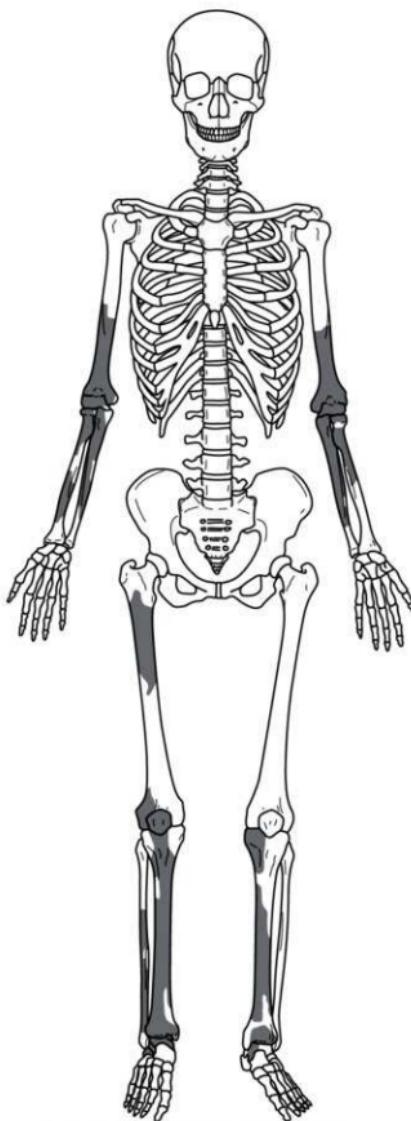


図2 墓1 人骨の残存図（アミかけ部分）
(Fig.2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

表4 上腕骨計測値(男性、右) (Table 4. Comparison of measurements and indices of male right humerus)

	北斎院4次		余戸中ノ孝		七反地		月見城		吉母浜		深堀		由比ヶ浜南	
	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	山口県 防府市	中世人	長崎県 長崎市	中世人	神奈川県 鎌倉市
	幕1	1号墓	1-A	土壤墓	4	SK3	n	M	ST1	(松下)	(松下)	(松下)	n	M
1.	上腕骨最大長	-	-	-	309	-	16	295.8	-	-	-	-	19	309.21
5.	中央最大径	22	27	21	(左)	22	24	20	22.9	24	25	41	22.22	
6.	中央最小径	18	21	16	(左)	16	15	20	17.3	17	17	41	17.10	
7.	骨体周小判	60	70	60	(左)	60	61	20	62.6	-	67	39	62.15	
7 (a), 中央周	66	77	61	(左)	64	66	20	66.4	67	72	42	66.00		
6/5 骨体断面示数	81.82	77.78	76.19	(左)	72.73	62.50	20	75.6 (左)	70.83	68.00	41	77.04		
7/1 長径示数	-	-	-	19.42	-	17	21.2	-	-	-	19	20.13		

保存処理

表5 肩骨(男性、右) (Table 5. Comparison of measurements and indices of male right scapulae)

	北斎院4次		余戸中ノ孝		七反地		ウツヨウツジ		苦賀		吉母浜		花岡木崎		
	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	愛媛県 松山市	中世人	山口県 防府市	中世人	山口県 防府市	中世人	熊本県 芦北町	
	幕1	1号墓	1-A	土壤墓	4	1号	1号	1号	ST1	(松下)	(松下)	(松下)	n	M	
1.	脛骨全長	-	-	-	331	-	1	310	-	-	14	335.8	-	23	332.00
1 a.	脛骨最大長	-	-	-	338	-	1	-	-	13	345.2	-	25	338.52	
8.	中央最大径	29	33 (左)	29 (左)	27	29 (左)	1	33	33	20	29.4	32	73	29.26	
9.	中央最小径	22	25 (左)	19 (左)	20	20 (左)	1	22	22	20	21.5	24	73	21.05	
10.	骨体周	81	90 (左)	76 (左)	74	70 (左)	-	-	87	20	80.2	89	73	79.63	
10 b.	股骨周	75	81 (左)	69	-	-	-	76	20	74.2	79 (左)	-	68	72.88	
9.8	中央断面示数	75.86	75.76 (左)	65.52 (左)	74.07	68.97 (左)	1	66.7	66.67	20	73.3	75.00	73	72.12	
10 b/A 長厚示数	-	-	-	-	20.85	-	-	-	-	14	22.3	-	23	22.06	

北斎院地内遺跡4次調査出土の中世人骨

表6 上腕骨 (mm) (Humerus)

		北斎院4次 墓1 男性
1.	上腕骨最大長	(右) - (左) -
2.	上腕骨全長	(右) - (左) -
3.	上端幅	(右) - (左) -
3 (1).	横上径	(右) - (左) -
4.	下端幅	(右) - (左) 59
5.	中央最大径	(右) 22 (左) -
6.	中央最小径	(右) 18 (左) -
7.	骨体最小周	(右) 60 (左) -
7 (a).	中央周	(右) 66 (左) -
8.	頭周	(右) - (左) -
9.	頭最大横径	(右) - (左) -
10.	頭最大矢状径	(右) - (左) -
11.	滑車幅	(右) - (左) -
12.	小頭幅	(右) 17 (左) 17
12 (a).	滑車幅および小頭幅	(右) - (左) 41
13.	滑車深	(右) - (左) (25)
14.	肘頭窩幅	(右) 26 (左) 26
15.	肘頭窩深	(右) 11 (左) 12
6/5	骨体断面示数	(右) 81.82 (左) -
7/1	長厚示数	(右) - (左) -

表7 槌骨 (mm) (Radius)

		北斎院4次 墓1 男性
1.	最大長	(右) - (左) -
1 b .	平行長	(右) - (左) -
2.	橈能長	(右) - (左) -
3.	最小周	(右) 40 (左) -
4.	骨体横径	(右) 17 (左) -
4 a .	骨体中央横径	(右) - (左) -
4 (1).	小頭横径	(右) - (左) -
4 (2).	頸横径	(右) 15 (左) 15
5.	骨体矢状径	(右) 11 (左) -
5 a .	骨体中央矢状径	(右) - (左) -
5 (1).	小頭矢状径	(右) - (左) -
5 (2).	頸矢状径	(右) 16 (左) 15
5 (3).	小頭周	(右) - (左) -
5 (4).	頸周	(右) 52 (左) 49
5 (5).	骨体中央周	(右) - (左) -
5 (6).	骨下端幅	(右) -
3/2	長厚示数	(左) - (右) -
5/4	骨体断面示数	(右) 64.71 (左) -
5a/4a	中央断面示数	(右) - (左) -

保存處理

表 8 尺骨 (mm) (Ulna)

		北斎院 4 次 幕 1 男性
1.	最大長	(右) - (左) -
2.	機能長	(右) - (左) -
2 (1).	肘頭尺骨頭長	(右) - (左) -
3.	最小周	(右) 39 (左) -
6.	肘頭幅	(右) - (左) (23)
6 (1).	上幅	(右) - (左) 34
7.	肘頭深	(右) - (左) 21
8.	肘頭高	(右) - (左) 19
11.	尺骨矢状徑	(右) 13 (左) 13
12.	尺骨橫徑	(右) 17 (左) 17
S	中央最小徑	(右) 13 (左) 13
L	中央最大徑	(右) 17 (左) 17
C	中央周	(右) 49 (左) 51
3/2	長厚示數	(右) - (左) -
11/12	骨體斷面示數	(右) 76.47 (左) 74.47
S/L	中央斷面示數	(右) 76.47 (左) 76.47

表 9 膝蓋骨 (mm) (Patella)

		北斎院 4 次 幕 1 男性
1.	最大高	(右) 42 (左) -
2.	最大幅	(右) 45 (左) -
3.	最大厚	(右) 19 (左) -
4.	關節面高	(右) 32 (左) -
5.	內關節面幅	(右) 24 (左) -
6.	外關節面幅	(右) 26 (左) -
1/2	膝蓋骨高幅示數	(右) 93.33 (左) -

表10 脛骨(mm) (Tibia)

		北斎院4次
		墓1
		男性
1.	脛骨全長	(右) - (左) -
1 a .	脛骨最大長	(右) - (左) -
1 b .	脛骨長	(右) - (左) -
2.	顆距間距離	(右) - (左) -
3.	最大上端幅	(右) - (左) -
3 a .	上内関節面幅	(右) - (左) -
3b.	上外関節面幅	(右) - (左) -
4 a .	上内関節面深	(右) - (左) -
4 b .	上外関節面深	(右) - (左) -
6.	最大下端幅	(右) - (左) -
7.	下端矢状径	(右) - (左) -
8.	中央最大径	(右) 29 (左) -
8 a .	栄養孔位最大径	(右) - (左) -
9.	中央横径	(右) 22 (左) -
9 a .	栄養孔位横径	(右) - (左) -
10.	骨体周	(右) 81 (左) -
10 a .	栄養孔位周	(右) - (左) -
10 b .	最小周	(右) 75 (左) -
9/8.	中央断面示数	(右) 75.86 (左) -
9 a /8	栄養孔位断面示数	(右) -
a		(左) -
10 b /1	長厚示数	(右) - (左) -



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

左胫骨 (The left tibia)

写真4 北斎院地内遺跡4次 墓1 (男性・年齢不明)
(The skeleton No.1 from the 4th excavation of the Kitasayajinai site, male unknown age)

IV 令和3年度
普 及 啓 発 事 業

令和3年度 普及啓発事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また、附属の松山市考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置されたものであり、展示会・講演会・体験学習を開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護の普及啓発に努めている。

今年度、考古館は3回の臨時休館を行った。「新型コロナウイルス感染防止対策」で2回(計54日間)、「埋蔵文化財センター大規模改修工事」で1回(75日間)、合計139日間である(表15)。臨時休館後には、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底しながら下記の各種事業を実施した。

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 1. 展示活動 | 2. 教育普及活動 | 3. 収集・保管・育成活動 |
| 4. 出版活動 | 5. 資料の貸出・調査 | 6. 考古館月別入館者数調 |

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置している文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管し、その活用を図るとともに市民に開かれた歴史学習の場としての充実を図り、埋蔵文化財センター及び考古館と一緒に埋蔵文化財保護施設として有機的な活用を図ることを目的としている。

1. 展示活動

常設展示室は、「海を媒介とした文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解説し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約600点である。

常設展示室に隣接した特別展示室では、5回の展示会・特別展を開催した。加えて、ロビー等でスポット展示を開催した。

(1) 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展

「四国の風土と暮らし～山から四国を眺めてみた～」(表1、写真1・2)

展示会は、四国内の埋蔵文化財センター5団体が合同で開催し、新たに平成31年度から4か年計画で実施している巡回展で、令和3年度は3年目にあたる。参加の5団体が発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただこうというものである。今年度は、山にまつわる「四国の風土と暮らし」をテーマに展示し、松山市考古館からは、瀬戸戸風崎4号墳・横穴式石室内の木炭床・副葬品の須恵器や勾玉などを展示・紹介した。当初、展示会の会期は令和3年5月1日～7月4日までの予定であったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時閉館があり、6月1日から30日間の会期で、関連事業として展示解説会・講演会を実施した。展示会の観覧者数は1,133人であった。

(2) 愛媛県・松山市連携事業「古代いよ発掘まつり」

- ① 展示会「掘ったぞな松山 2021」(表1・2、写真3～5)
- ② 展示会「いにしへのえひめ」(表1・2、写真6～8)

展示会は、前年度（令和2年度）松山市内や愛媛県内で発掘調査した遺跡とその出土品、作成した報告書の成果をいち早く市民に紹介することを通じて、松山・愛媛の古代史や埋蔵文化財への興味・関心を深める機会の提供を目的に、公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センターと当埋蔵文化財センターが連携して開催した。

「掘ったぞな松山 2021」は松山市内の発掘調査成果の展示会、「いにしへのえひめ」は愛媛県内の発掘調査成果の展示会で、期間中には発掘調査の詳しい説明をする報告会や専門研究者による講演会を実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ1883人(「掘ったぞな松山 2021」1,071人・「いにしへのえひめ」812人)であった。

当初、展示会「掘ったぞな松山 2021」の会期は令和3年7月10日～8月29日までの予定であったが、新型コロナウイルス感染防止対策で臨時休館を行ったため、展示会期間は7月10日から8月19日の35日間で開催した。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、関連事業である歴史バッターや古代体験まつり、「掘ったぞな松山 2021」報告会②・講演会の実施は中止した。

(3) 特別展「古代の「火」を科学する」(表1・2、写真10～12)

特別展は、考古館最大の事業であり、県内外の貴重な遺物を借用し、系統的に紹介するものである。

今年度は、令和4年2月5日～3月21日(会期39日間)に『古代の「火」を科学する』と題して、縄文時代から江戸時代までの松山市内出土の「火」に関する遺跡からの出土品などを展示紹介し、期間中には、専門研究者・当館学芸員による講演会を1回実施した。展示会・講演会等の参加者は延べ1,324人であった。

(4) 松山市考古館ロビー展(表1、写真13～17)

来館者に対して、より多くの情報を提供する目的から、「発掘情報展」(5回)、「2021kid's 考古学新聞コンクール全国巡回展」(1回)、「大連古代薬展」(1回)を開催した。

2. 教育普及活動

教育普及活動としては、市民を対象に埋蔵文化財保護の普及啓発を目的とした講演会・体験学習・考古学講座などを開催し、職員の資質・技術向上を目的とした研修等に参加した。

(1) 講演会・展示解説会(表2-1～3・表5、写真2・5・7・8・12)

展示会に関連した展示解説会・報告会・講演会を計6回開催し、延べ200人の参加者があった。

(2) わかりやすい考古学講座(表2-4・表5、写真18・19・23)

当講座は、考古学や松山の歴史に興味と関心をもっていただくことを目的に実施し、当センター職員・市教育委員会職員がスライドで詳しく解説した。講座は6月以降、各月に1回・計8回実施し、延べ215人の参加があった。

(3) まつやまの歴史を学ぼう(表2-6、表5)

当講座は、市民の方々に広く松山の歴史や遺跡、文化等を通じて、地域の魅力を再発見する機会を提供することを目的に、外部講師4名と当埋蔵文化財センター職員1名の講話予定であったが、新型

コロナウイルス感染防止対策のために、急遽中止とした。

(4) こども考古学教室（表2-5・表5、写真20・21）

当教室は、小学生に松山の歴史や考古学に興味や関心をもっていただくことを目的に、夏休み期間中の8月に2回実施し、延べ47人の参加があった。教室の内容は、考古館や埋蔵文化財センターの仕事についての解説、展示およびバックヤードの案内やミニ発掘体験を実施した。

(5) 古代体験教室（表3・表5、写真22）

古代の「もの作り」を体験することで、古代人の知恵や工夫を学ぶことを目的とし、実施する体験教室である。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のために当初予定していた古代体験教室の内容を変更（一部中止もあり）して実施した。また、昨年度に引き続き、古代体験キットを5種類作成（石勾玉を作ろう、古代の技術を学ぼう～合金編～銅鐸・銅鏡・銅錢、ふんどう君ペンダント作り）し、考古館の受付で販売した。

古代体験教室の内容は、一部内容を変更しながらも①「石勾玉を作ろう」、②「古代の技術を学ぼう～合金編～」、③「ふんどう君ペンダント作り」、④「火おこし体験（燃料の火口を麻紐にして、团扇で空気を送るに変更）」を実施し、2,465人の参加があった。なお、「マリングラスづくり」「染物体験」「ねんどで土器づくり」、「拓本下敷き」は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止した。

(6) 遺跡見学会（表4、写真23）

わかりやすい考古学講座で、1回実施し、延べ25人の参加があった。なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、歴史バスツアーは中止した。

(7) 体験学習（団体来館）（表5）

団体来館は、21件、延べ1,033人の来館があった。そのほか、新型コロナウイルス感染防止対策のため、来館予定であったが急遽キャンセルされた団体が16件あった。

常設展示室・特別展示室・ロビー展示等の施設見学を行うとともに、火おこし体験などにより、歴史を身近に感じながら学習した。新型コロナウイルス感染防止対策のため、古代衣装の着付け体験は中止し、職員による説明と見学を実施した。

(8) 発掘調査現地説明会（表6）

遺跡の発掘現場見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持つてもらうために開催するものである。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のために実施していない。

(9) 職場体験（表7・表9）

中学校・高等学校・大学等で教育の一環として実施されている「職場体験学習」や「インターンシップ」を受託している。今年度は、職場体験で中学校2校より生徒延べ10人を受け入れ、考古館の普及啓発業務等を体験した。なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、来館予定であったが急遽キャンセルが3校あった。

一方、中学校2校に赴いて、「キャリア講座・学芸員の仕事紹介」を出前考古学教室として実施した（表9）。

(10) 博物館学芸員実習（表8）

平成6年度から博物館学芸員資格の取得を希望する学生に対し、学芸員実習を行っている。当年度は、8月に1人（神戸女子大学4回生）を受け入れ、野外実習と屋内実習を実施した。

(11) 出前考古学教室（表9）

「総合的な学習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、小・中・高等学校や公民館に赴き、出前考古学教室を実施している。今年度は、57件・4,736人の参加者があり、館外での主催事業は1件・25人の参加者があった。

今年度の館外事業と出前教室は、計58件実施し、参加者数は4,761人であった。また、新型コロナウイルス感染防止対策のため、急速キャンセルが6件あった。

(12) 職員研修・会議（表10）

文化庁主催の「公開承認施設担当者会議」をはじめとして、全国埋蔵文化財法人連絡協議会等の研修会や会議に参加し、職員の資質ならびに技術の向上と業務の円滑な推進を図っている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンライン実施、資料送付などに変更の研修会議があった。職員研修等はオンラインを含み9件、参加者数は13人であった。

3. 収集・保管・育成活動

(1) 大連古代蓮の育成（表1-7、写真17）

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代蓮の株を譲り受け、考古館の玄関先で育成している。この蓮は、平成8年1月、松山市に中国大連市の観光訪問団から寄贈された大連市の遺跡出土の約千年前の蓮の種子から発芽したものを作成している。今年度は6月9日～8月8日までの間に55輪開花した。

(2) 古代米の育成（表1-8）

考古館の玄関前で赤米を育成した。

4. 出版活動（表11・12）

考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るために展示会5件でポスター・チラシの作成、展示会の解説書・リーフレットを作成した。

さらに、発掘調査の成果を公開する『松山市埋蔵文化財調査年報』1冊、『松山市文化財調査報告書』第202集～第207集の6冊を刊行し、『絵葉書（早川和子氏作画の松山市内の遺跡）』を刊行・販売を実施した。

5. 資料貸出・資料調査（表13・14）

各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じ、貸出16件（資料9件・写真7件）と資料調査10件の利用があった。

6. 考古館月別入館者数調（表15）

当年度は、令和3年4月1日～令和4年3月31日までに合計175日開館した。そして、その間に、新型コロナウイルス感染防止対策及び、大規模改修工事に伴って合計3回（139日間）臨時休館を行った。

普及啓発事業

表1 展示会一覧

No.	展示会名	期間	会期 (日数)	会場	観覧者数 (人)
1	四国地区埋蔵文化財センター 発掘へんろ展 「西国の風土と暮らし」	(予定期間) 令和3年 5月 1日 (土) ~ 7月 4日 (日)	—	特別展示室	1,133
		(実施期間) 同年 6月 1日 (火) ~ 7月 4日 (日)	30		
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」「振ったなぞ松山2021」	① 「振ったなぞ松山2021」 (予定期間) 令和3年 7月 10日 (土) ~ 8月 29日 (日)	—	特別展示室	1,071
		(実施期間) 同年 7月 10日 (土) ~ 8月 19日 (木)	35		
		② 「いにしへのえひめ」 同年 12月 3日 (金) ~ 令和4年 1月 23日 (日)	40	特別展示室	812
3	令和3年度特別展 「古代の火を科学する」	令和4年 2月 5日 (土) ~ 3月 21日 (月祝)	39	特別展示室 常設展示室一部	1,324
4	「発掘 松山の至宝」(番外編) 早川和子 原画展	(予定期間) 令和3年 4月 1日 (木) ~ 4月 25日 (日)	—	特別展示室	138
		(開催期間) 同年 4月 1日 (木) ~ 4月 9日 (金)	8		
5 ロビー展	発掘情報展	① 下灘流域歩道跡2次調査の成果 令和3年 4月 1日 (木) ~ 4月 9日 (金)	8	ロビー	229
		② 松山城三之丸跡 23次調査の成果 同年 6月 1日 (火) ~ 7月 4日 (日)	30	ロビー	2,103
		③ 「おそれるもの」北山道跡出土品他 同年 7月 6日 (火) ~ 8月 19日 (木)	39	ロビー	1,627
		④ 港水町道跡3次調査の成果 令和3年 12月 1日 (火) ~ 令和4年 2月 27日 (日)	71	ロビー	1,923
		⑤ 桃谷7号通り跡 2次調査の成果 令和4年 3月 1日 (火) ~ 3月 31日 (木)	27	ロビー	1,423
6	2021loid's考古学新聞コンクール 全国巡回展	令和3年 8月 1日 (日) ~ 8月 19日 (木)	16	ロビー	733
7	大塚古代遺の育成と展示会	開花期間 令和3年 6月 9日 (水) ~ 8月 8日 (日)	—	玄関前	7,305
		開花数 55種	—	ロビー	
8	古代米の育成	展示 令和3年 4月 1日 (木) ~ 令和4年 3月 31日 (木)	—	玄関前	—
		合計 (日数)	343	合計 (人数)	19,821

表2 教育普及活動一覧 (考古学講座・講演会等)

(1)

No.	事業名	開催日	会場	講師 (敬称略) / 所属等	聴講者数 (人)
1	第3回四国地区埋蔵文化財センター 発掘へんろ展 「西国の風土と暮らし」	展示解説会 令和3年 6月 26日 (土)	講堂	沖野 実 / 愛媛県埋蔵文化財センター 小玉亜紀子 / 当センター	24 65
		講演会 7月 4日 (日)	堀田昌紀 / 愛媛大学埋蔵文化財調査室長	41	
2	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」「振ったなぞ松山2021」	報告会① 7月 17日 (土)	講堂	柏原浩二 / 当センター 水本完紀 / 当センター	31 31
		報告会② 8月 21日 (土)	中止	—	
		講演会 8月 28日 (土)	中止	—	
		講演会 12月 18日 (土)	講堂	兵頭 駿 / 愛媛県教育委員会(専門学芸員)	48
		報告会 令和4年 1月 15日 (土)	松村さをり / 愛媛県埋蔵文化財センター 池尻伸吾 / 愛媛県埋蔵文化財センター	23	71
3	令和3年度特別展 「古代の『火』を科学する」	講演会 3月 20日 (日)	講堂	向 平和 / 愛媛大学教育学部准教授 小玉亜紀子 / 当センター	33 33
		① 令和3年 6月 5日 (土)	講堂	瀬久森裕 / 松山市教育委員会文化財課	
4	わかりやすい考古学講座 「発掘 松山の道跡Ⅱ」	② 7月 3日 (土)	講堂	加島次郎 / 当センター	33
		③ 8月 7日 (土)	講堂	山内英樹 / 松山市教育委員会文化財課	27
		④ 11月 27日 (土)	松山城	橋本雅一 / 現地見学会 当センター	25

普及啓発事業

教育普及活動一覧（考古学講座・講演会等）

No.	事業名	開催日	会 場	講師（敬称略）／所属等	聴講者数（人）	(2)
4	わかりやすい考古学講座 【発掘 松山の遺跡】	⑤ 12月4日（土）	講堂	山本慶一／当センター	26	
		⑥ 令和4年1月8日（土）	講堂	竹政俊一／当センター	26	215
		⑦ 2月5日（土）	講堂	相川浩二／当センター	22	
		⑧ 3月5日（土）	講堂	小川翠紀子／当センター	25	
5	こども考古学教室 （親子考古学教室）	① 令和3年7月25日（日）	講堂他	加島次郎／当センター	28	
		② 8月1日（日）	講堂他	加島次郎／当センター	19	47
6	まつやまの歴史を学ぼう	① 令和4年2月6日（日）	講堂	中止	—	
		② 2月20日（日）	講堂	中止	—	
		③ 2月27日（日）	講堂	中止	—	
		④ 3月13日（日）	講堂	中止	—	
		⑤ 3月27日（日）	講堂	中止	—	
					合計 16回	462

表3 教育普及活動一覧（古代体験教室）

No.	事業名	日 時	団体名等	参加者数（人）	(1)
1	石勾玉をつくろう	① 令和3年 4月		0	
		② 5月		0	
		③ 6月		14	
		④ 7月		14	
		⑤ 8月		94	
		⑥ 9月	受付で販売	0	
		⑦ 10月		0	139
		⑧ 11月		0	
		⑨ 12月		0	
		⑩ 令和4年 1月		0	
		⑪ 2月		3	
		⑫ 3月		2	
		⑬ 令和3年 8月 8日（日）	考古館講堂	34	34
2	マリングラスづくり	① 令和3年 6月23日（水）	松山市立岩下小学校	7	
		② 7月24日（土）	NPO法人ワーカライフコラボ 休日子どもカレッジ	22	
		③ 7月28日（水）	しおかげ児童クラブ	18	
		④ 7月29日（木）	余戸地区まちづくり協議会（余戸公民館）	31	
		⑤ 8月 5日（金）	浮穴兒童クラブ	53	
		⑥ 8月 6日（金）	種子島第一児童クラブ	8	396
		⑦ 8月 6日（金）	種子島第二児童クラブ	106	
		⑧ 10月20日（水）	松山市立みどり小学校	15	
		⑨ 10月31日（日）	松山市立北条南中学校	25	
		⑩ 11月14日（日）	カレーD・a・xキャンプ（野外活動センター）	11	
		⑪ 11月16日（火）	松山市立城西中学校	22	
		⑫ 令和4年 3月 3日（木）	松山市立雄都小学校	78	
3	古代の技術を学ぼう ～合金編・洞鑿～	中止			
		① 令和3年 4月		0	
		② 5月		0	
		③ 6月		2	
		④ 7月		3	
		⑤ 8月		14	
		⑥ 9月	受付で販売	0	
		⑦ 10月		0	28
		⑧ 11月		0	
		⑨ 12月		4	
		⑩ 令和4年 1月		0	
		⑪ 2月		1	
4	古代の技術を学ぼう ～合金編・洞鑿～	⑫ 3月		2	
		⑬ 令和3年 4月	受付で販売	0	
		⑭ 5月		0	
		⑮ 6月		6	

普及啓発事業

教育普及活動一覧（古代体験教室）

(2)

No.	事業名	日 時	団体名等	参加者数(人)
4	古代の技術を学ぼう ～合金鑄・鋳鉄～	個人 来館	④ 7月 ⑤ 8月 ⑥ 9月 ⑦ 10月 ⑧ 11月 ⑨ 12月 ⑩ 令和4年 1月 ⑪ 2月 ⑫ 3月	受付で販売 4 34 0 0 0 8 2 0 2
			⑬ 令和3年 8月 17日(火) エンゼル学園	36 36
			① 令和3年 4月 ② 5月 ③ 6月 ④ 7月 ⑤ 8月 ⑥ 9月 ⑦ 10月 ⑧ 11月 ⑨ 12月 ⑩ 令和4年 1月 ⑪ 2月 ⑫ 3月	1 6 4 13 15 0 0 0 7 6 1 3
			⑬ 令和3年 7月 4日(日) 久米はいじの会	8 63
			① 令和3年 8月 18日(木) エンゼル学園	35
			② 令和3年 6月 17日(木) 松山市立鷲江小学校 ③ 8月 19日(木) たちはな児童クラブ ④ 令和4年 1月 19日(木) 松山市立久くら小学校 ⑤ 2月 27日(日) ふれあいフェスタ 2022	105 20 15 50
		団体 出前	① 令和3年 4月 ② 5月 ③ 6月 ④ 7月 ⑤ 8月 ⑥ 9月 ⑦ 10月 ⑧ 11月 ⑨ 12月 ⑩ 令和4年 1月 ⑪ 2月 ⑫ 3月	0 0 12 4 9 0 0 0 4 1 3 5
			① 令和3年 7月 28日(水) しおかぜ児童クラブ ② 8月 6日(金) 味生第二児童クラブ ③ 令和4年 2月 27日(日) ふれあいフェスタ 2022	7 52 50
			中止	中止
			中止	中止
5	ふんどう君ペンダント作り	個人 来館	① 令和3年 4月 ② 5月 ③ 6月 ④ 7月 ⑤ 8月 ⑥ 9月 ⑦ 10月 ⑧ 11月 ⑨ 12月 ⑩ 令和4年 1月 ⑪ 2月 ⑫ 3月	0 0 12 4 9 0 0 0 4 1 3 5
			⑬ 令和3年 7月 28日(水) しおかぜ児童クラブ	7
			② 8月 6日(金) 味生第二児童クラブ	52
			③ 令和4年 2月 27日(日) ふれあいフェスタ 2022	50
		団体 出前	① 令和4年 2月 17日(木) 松山市立西谷小学校 ② 2月 22日(火) 松山市立久枝小学校 ③ 2月 25日(金) 松山市立久くら小学校 ④ 2月 25日(金) 松山市立瀬戸見小学校 ⑤ 3月 2日(木) 松山市立金八小学校 ⑥ 3月 2日(木) 松山市立みどり小学校 ⑦ 3月 3日(木) 松山市立伊豫小学校 ⑧ 3月 4日(金) 松山市立双葉小学校 ⑨ 3月 8日(火) 東温市立南井小学校 ⑩ 3月 10日(木) 松山市立石井北小学校 ⑪ 3月 11日(金) 伊予市立丸善中学校 ⑫ 3月 15日(火) 道志町立道志小学校	中止
			① 令和4年 2月 17日(木) 松山市立西谷小学校 ② 2月 22日(火) 松山市立久枝小学校 ③ 2月 25日(金) 松山市立久くら小学校 ④ 2月 25日(金) 松山市立瀬戸見小学校 ⑤ 3月 2日(木) 松山市立金八小学校 ⑥ 3月 2日(木) 松山市立みどり小学校 ⑦ 3月 3日(木) 松山市立伊豫小学校 ⑧ 3月 4日(金) 松山市立双葉小学校 ⑨ 3月 8日(火) 東温市立南井小学校 ⑩ 3月 10日(木) 松山市立石井北小学校 ⑪ 3月 11日(金) 伊予市立丸善中学校 ⑫ 3月 15日(火) 道志町立道志小学校	中止
			① 令和4年 6月 25日(金) 松山市立久枝小学校 ② 7月 2日(金) 松山市立久枝小学校 ③ 7月 14日(水) 松山市立久くら小学校 ④ 8月 12日(木) バラリソニック型火祭式 ⑤ 11月 14日(日) カレーD a y キャンプ【野外活動センター】 ⑥ 11月 25日(木) 美豊公民館【素麿小学校】 ⑦ 12月 10日(金) 松山市立西中学校 ⑧ 12月 15日(水) 松山市立みどり小学校 ⑨ 令和4年 1月 20日(火) 松山市立久枝小学校 ⑩ 3月 9日(水) 松山市立みどり小学校	163 98 16 50 49 16 67 16 8 16
			① 令和4年 6月 25日(金) 松山市立久枝小学校 ② 7月 2日(金) 松山市立久枝小学校 ③ 7月 14日(水) 松山市立久くら小学校 ④ 8月 12日(木) バラリソニック型火祭式 ⑤ 11月 14日(日) カレーD a y キャンプ【野外活動センター】 ⑥ 11月 25日(木) 美豊公民館【素麿小学校】 ⑦ 12月 10日(金) 松山市立西中学校 ⑧ 12月 15日(水) 松山市立みどり小学校 ⑨ 令和4年 1月 20日(火) 松山市立久枝小学校 ⑩ 3月 9日(水) 松山市立みどり小学校	499

総合計 2,465

表4 教育普及活動一覧（遺跡見学会）

No.	事業名	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	わかりやすい考古学講座 「桑原松山の道路 XI」④ 現地見学会	令和3年 11月 27日 (土) 10:00 ~ 11:30	松山城三之丸跡 24次・25次調査	25
			合計	25

表5 教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）(1)

No.	学校名・団体名	学 年	日 時	内 容 / () は体験人数	参加者数 (人)
1	わかりやすい考古学講座 ①	—	令和3年 6月 5日 (土)	「石の道具～骨器道具について～」	31
2	発掘へんろ展 展示解説会	—	6月 20日 (土)	展示解説会	24
3	わかりやすい考古学講座 ②	—	7月 3日 (土)	「弥生時代の石製農工具から見た松山平野の弥生文化」	33
4	発掘へんろ展 演説会	—	7月 4日 (日)	「四国の山麓・山間に隠された先住民について」	41
5	愛媛県・松山市連携事業 「ほったざな松山 2021」報告会①	—	7月 17日 (土)	下籠原・御所折追跡の発掘調査成果／桜谷大池・田道跡9次調査の発掘調査成果／麻原追跡3次調査の発掘調査成果	31
6	こども考古学教室①	—	7月 25日 (日)	講義／模擬発掘体験／バックヤードツアー／展示見学／合金鋼鏡（25人）	28
7	こども考古学教室②	—	8月 1日 (日)	講義／模擬発掘体験／バックヤードツアー／展示見学／合金鋼鏡（18人）	19
8	わかりやすい考古学講座 ③	—	8月 2日 (土)	「埴輪のつくり～ハニワから何を読み取るのか～」	27
9	古代体験教室「石匂玉づくり」	—	8月 8日 (日)	土吹の部（21人）	27
10	古代体験教室「石匂玉づくり」	—	8月 8日 (日)	午後の部（13人）	15
11	「ほったざな松山 2021」報告会②	—	8月 21日 (土)	中止	—
12	「ほったざな松山 2021」演説会	—	8月 28日 (土)	中止	—
13	わかりやすい考古学講座 ⑤	—	12月 4日 (土)	「弥生・古墳時代 道具など」	26
14	愛媛県・松山市連携事業 「いにしへのえひめ」演説会	—	12月 18日 (土)	「御津文化とその時代～約8,000年前の愛媛～」	48
15	わかりやすい考古学講座 ⑥	—	令和4年 1月 8日 (土)	「古代の夜火～葬儀で燃いていた人 キー～」	26
16	「いにしへのえひめ」報告会	—	1月 15日 (土)	「五十嵐原下道跡の発掘調査成果」/北竹ノ下1・II道跡の発掘調査成果	23
17	わかりやすい考古学講座 ⑦	—	2月 5日 (土)	「古墳時代～古代の武器・馬の装い～」	22
18	まつやまの歴史を学ぼう①	—	2月 6日 (日)	中止	—
19	まつやまの歴史を学ぼう②	—	2月 20日 (日)	中止	—
20	まつやまの歴史を学ぼう③	—	2月 22日 (日)	中止	—
21	わかりやすい考古学講座 ⑧	—	3月 5日 (土)	「古代のアケセサリー」	25
22	まつやまの歴史を学ぼう④	—	3月 13日 (日)	中止	—
23	特別展 演説会	—	3月 20日 (日)	「古代の「火」を科学する」	33
24	まつやまの歴史を学ぼう⑤	—	3月 27日 (日)	中止	—
1	二之丸見学会	—	令和3年 6月 24日 (木)	館内案内	11 11
2	久米はいじの会	—	7月 4日 (日)	館内案内・銅鏡（富木鏡・36人）	8
3	国際交流センター	—	7月 15日 (木)	館内案学	23
4	国際交流センター	—	7月 17日 (土)	館内見学	13
5	学校法人 エンゼル学園	3~6年	8月 17日 (火)	講義・銅鏡（日光鏡・36人）	39
6	学校法人 エンゼル学園	1~2年	8月 18日 (水)	講義・銅鏡（和同開珎・55人）	59
7	4S キッズ	1~6年	8月 24日 (火)	中止（館内案内）	—
8	ANAと松山市SEDS提携グラントリ	—	8月 25日 (水)	中止（館内案内・石匂玉）	—
9	松山市立宮中学校	2年生	8月 26日 (木)	職場体験	—
10	ウォーカーズ別子	—	8月 27日 (金)	中止（職場体験）	—
11	松山市立桑原中学校	2年生	8月 29日 (日)	中止	—
12	西進旅行	—	9月 14日 (火)	中止（職場体験）	—
13	松山市立雄新中学校	2年生	9月 15日 (水)	中止（職場体験）	—
14	松山市立勝山中学校	2年生	9月 16日 (木)	中止（職場体験）	—
			9月 17日 (金)	中止（職場体験）	—
			9月 22日 (水)	中止（館内案内）	—
			10月 26日 (火)	中止（職場体験）	—
			10月 27日 (水)	中止（職場体験）	—
			11月 10日 (水)	職場体験	4 4

主催事業来館

団体来館

普及啓発事業

教育普及活動一覧（体験学習・主催事業来館・団体来館）

(2)

No.	学校名・団体名	学年	日 時	内容 / () は体験人数	参加者数(人)
15	松山市立城西中学校	2年生	12月 2日(木) 12月 3日(金)	職場体験 職場体験	3 3 —
16	新田青雲中等教育学校	1年生	12月 7日(火)	中止	34
17	愛媛大学	3・4回生	12月 16日(木)	講話(新型コロナウイルス感染予防対策の概要)	28
18	派遣接客ダイヤサービス うさぎの里	—	令和4年 1月 10日(月)	船内案内	13 13
19	愛媛県社会福祉協議会	—	2月 9日(水)	船内案内	4
20	東温市立西谷小学校	1～6年	2月 17日(木)	中止	—
21	松山市立久枝小学校	5年生	2月 22日(火)	船内案内・火おこし	125 129
22	松山市立さくら小学校	5年生	2月 25日(金)	中止	—
23	松山市立瀬見小学校	5年生	2月 25日(金)	中止	—
24	松山市立余戸小学校	5年生	3月 2日(木)	船内案内・火おこし	142
25	松山市立みどり小学校	5年生	3月 2日(木)	船内案内・火おこし	101
26	松山市立伊予小学校	6年生	3月 3日(木)	船内案内・火おこし	68
27	松山市立双葉小学校	5年生	3月 4日(金)	船内案内・火おこし	97 700
28	東温市立南香井小学校	5年生	3月 8日(火)	船内案内・火おこし	114
29	松山市立石井北小学校	5年生	3月 10日(木)	船内案内・火おこし	103
30	伊予市立双海中学校	1年生	3月 11日(金)	船内案内・火おこし	23
31	紙部町立紙部小学校	6年生	3月 15日(火)	船内案内・火おこし	52
				主催 予定分 24件 実施分 17件	— 479
				団体来館 予定分 37件 実施分 21件	— 1033
				総合計 予定分 61件 実施分 38件	— 1512

表 6 教育普及活動一覧（発掘調査現地説明会）

No.	道跡名	日 時	道跡の主な概要	見学者数(人)
—	今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、開催なし	—	—	0
			合 計	0

表 7 教育普及活動一覧（職場体験）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参 加 者 数(人)
1	松山市立内宮中学校	2年生	令和3年 8月 26日(木) 8月 27日(金)	職場体験	中止
2	松山市立桑原中学校	2年生	9月 14日(火) 9月 15日(水) 9月 16日(木) 9月 17日(金)	職場体験	中止
3	松山市立雄新中学校	2年生	10月 26日(火) 10月 27日(水)	職場体験	中止
4	松山市立勝山中学校	2年生	11月 10日(水)	職場体験	4
5	松山市立城西中学校	2年生	12月 2日(木) 12月 3日(金)	職場体験	3 3
				合 計	2校 3件 10

表 8 教育普及活動一覧（博物館学芸員実習）

No.	学校名	学 年	日 時	内 容	参 加 者 数(人)
1	神戸女子大学	4回生	令和3年 8月 7日(土) 8月 8日(日) 8月 9日(月) 8月 10日(火) 8月 11日(水)	博物館学芸員実習	1 1 1 1 1
				合 計	1校 5件 5

表9 教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）※「館外」欄は考古館主催事業、「出前」欄は依頼事業

(1)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数(人)
館外					
1	わかりやすい考古学講座Ⅱ④	現地見学	令和3年11月27日(土)	松山城三之丸跡24次・25次調査	25 25
1	愛媛県立松山盲学校	一	5月19日(水)	オンライン授業	11 11
			① 6月11日(金)	講義・校区の道路出土品見学	163
			② 6月25日(金)	火おこし体験	163
			③ 6月29日(水)	土器作り	163
			④ 7月7日(木)	オンライン授業(館内案内)	163
			⑤ 9月14日(火)	中止、(古代人骨体験・相談会①)	—
2	松山市立株酒小学校	6年	10月19日(火)	古代人骨体験・相談会②	1,467 163
			10月28日(木)	古代人骨体験	163
			11月16日(火)	土器焼き(土ねり)	163
			11月16日(火)	古代人骨体験報告会	163
			11月17日(水)	土器焼き	163
			① 5月26日(水)	中止、■石包丁作り1回目は新型コロナで学校が対応	—
			② 6月16日(水)	石包丁作り2回目	17
			③ 7月14日(水)	火おこし	16
			④ 9月22日(木)	中止、(石勾玉づくり)	—
			⑤ 10月20日(水)	石勾玉づくり①	16
3	松山市立みどり小学校	4～6年	11月17日(木)	石勾玉づくり②	16 145
			12月1日(木)	土器復元体験	16
			12月15日(木)	火おこし体験	16
			1月19日(木)	合金コイン	16
			2月17日(水)	土器修復	16
			3月9日(水)	火おこし体験	16
4	松山市立瀬戸江小学校	6年	6月17日(木)	講義・合金コイン	110 110
5	松山市立立岩小学校	4～6年	6月23日(木)	講義・石勾玉づくり	9 17
			9月15日(木)	中止	—
			1月20日(木)	火おこし体験	8
6	松山市立新玉小学校	6年	① 6月24日(木)	講義	98 196
			② 7月2日(金)	講義・火おこし体験	98
7	愛媛県立船山東高等学校	1年	7月8日(木)	講義・校区の道路出土品見学	50
8	松山市立瀬戸江小学校	6年	7月9日(金)	講義・校区の道路出土品見学	99
9	久枝放課後子ども教室	1～6年	7月15日(木)	講義・ねんどで土器作りの指導	60
10	NPO法人ワーターフィラボ 体日子ビカレッジ	1～6年	7月24日(土)	講義・石勾玉づくり	32 337
11	しおかぜ児童クラブ	1～6年	7月28日(木)	講義・ふんどう君ベンダントづくり・石勾玉づくり	32
12	余戸地区まちづくり協議会	1～6年	7月29日(木)	講義・石勾玉づくり	36
13	愛媛新聞カルチャースクール 夏休みこども考古学教室	—	7月31日(土)	堀佐古墳見学	28
14	美郷のまちやま まちかど講座 くら見堂クラブ	4・5年	8月4日(水)	講義・校区の道路出土品見学	40
15	津穴児童クラブ	1・2年	8月5日(木)	講義・石勾玉づくり	60
16	麻生第二児童クラブ	1年	8月6日(金)	講義・みり部・古代陶器学・ふんどうくん(パンダ)づくり・石勾玉づくり	60 360
17	麻生第二児童クラブ	2～6年	8月6日(金)	講義・石勾玉づくり	106
18	パラリンピック型火祭火式	—	8月12日(木)	火おこし体験	50
19	たちばな児童クラブ	1年	8月19日(木)	講義・合金コイン	24
20	愛媛大学教育学部 ジュニアアカデミー育成塾	小中学	9月4日(土)	オンライン講義	48 48
21	えひめ歴史教室	—	9月24日(金)	延期。(講義)	—
22	松山市立小野小学校	6年	10月15日(金)	講義・校区の道路出土品見学	66
		6年	10月22日(金)	講義・校区の道路出土品見学	100
23	えひめ歴史教室	—	10月22日(金)	講義(松山の歴史)	20
24	野外活動センターまつり	—	10月24日(日)	中止。(火おこし体験・石勾玉づくり)	— 46
25	松山市立新玉小学校(文化祭)	—	10月31日(日)	講義・石勾玉づくり	26
26	松山市立新玉小学校(全体進足)	1～6年	11月1日(月)	講義	573
27	カレー Day キャンプ (野外活動センター)	—	11月14日(日)	火おこし体験・石勾玉づくり	49

教育普及活動一覧（館外・出前考古学教室）※「館外」欄は考古館主催事業、「出前」欄は依頼事業

(2)

No.	学校名・団体名	学年ほか	実施日	内 容	参加者数(人)
28	松山市立城西中学校（文化祭）	—	11月16日（火）	講義・石勾玉づくり	22
29	美郷のまつやま まちかど講座 松山市立穂中学校	1年	11月16日（火）	講義・校区の道路出土品見学	48
30	松山市立桑原中学校	2年	11月18日（木）	キャラフ講座（学芸員の仕事紹介）	168
31	総合公社サステナブルオータ	—	11月23日（火）	出土品展示解説 ふんどう村出場	550 1,491
32	愛媛公民館（愛媛小学校）	3年	11月25日（木）	講義・校区の道路出土品見学・みり縄・火おこし見学	16
33	愛媛県技術士会四国本部	—	11月27日（土）	講義・垂佐池古墳見学	16
34	キッズジョブまつやま2021	—	11月28日（日）	講義	49
35	松山大学・カルスボ公開講座	—	12月 8日（木）	講義	80
36	松山市立西中学校	—	12月10日（金）	講話（学芸員の仕事） 火おこし体験	67 169
37	松山市立旭中学校	—	12月22日（水）	講義	22
38	愛媛県生涯学習センター 「生涯学習あいフェスタ2022」	—	令和4年 2月27日（日）	和同開拓・ふんどうくんペンドントづくり	100 100
39	松山市立郷小学校	6年	3月 3日（木）	地域・校区の道路出土品見学・石勾玉づくり	82
40	愛媛大学ジュニアドクター育成塾		3月25日（金）	意見交換会	11 93
				館外 予定分 実施分	1件 25
				出前 予定分 実施分	63件 4,736
				総合計 予定分 実施分	64件 4,261

表 10 教育普及活動一覧（職員研修・会議）

No.	研修・会議名	実施日	開催地	参加者数(人)
1	公開承認施設担当者会議	令和3年 6月 3日（木）	オンライン	1
2	国家・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会	令和3年 6月 4日（金）	オンライン	1
3	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 第1回実行委員会	令和3年 7月	メール	2
4	第42回全国埋蔵文化財法人連絡協議会 総会	令和3年 6月 17日（木）	オンライン	1
5	令和3年度 文化財担当者専門研修「木質文化財の科学的調査課程」	令和3年 7月 13日（火）～16日（金）	奈良県	1
6	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議	令和3年 10月 1日（金）	オンライン	—
7	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 第2回実行委員会	令和3年 11月 25日（木）	香川県	2
8	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 第3回実行委員会	令和4年 1月 21日（金）	徳島県	2
9	令和3年度 第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	令和4年 2月 2・3日（木・木）	オンライン	2
10	令和3年度 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会	令和4年 3月 資料送付	—	—
11	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 第4回実行委員会	令和4年 3月 22日（火）以降	徳島県	中止
12	愛媛大学ジュニアドクター育成塾 意見交換会	令和4年 3月 25日（金）	愛媛県	1
				合計 13

表 11 考古館広報関係一覧（印刷物等）

(1)

No.	出版物名	種 類	版 型	部数(枚)
1	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 「四国の風土と暮らし～山から四国を眺めてみた～」	ポスター／チラシ	B2/A4	500/10,000
2	ロビー展「大通り古文選」	チラシ	A4	5,000
3	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」「振ったぞ松山2021」	ポスター／チラシ	B2/A4	500/12,000
4	愛媛県・松山市連携事業 「古代いよ発掘まつり」「いにしへのえひめ」	ポスター／チラシ	B2/A4	600/12,000

考古館広報関係一覧（印刷物等）

(2)

No.	出版物名	種類	版型	部数(枚)
5	特別展「古代の「火」を科学する」	オスター/チラシ	B2/A4	500 / 13,000
6	松山市考古館パンフレット(3つ折り)	パンフレット	A4	15,000
7	松山市考古館 常設展示案内 パンフレット	パンフレット	A4	5,000

表 12 出版物一覧

No.	報告書名・出版物名	版型・頁	冊数
1	愛媛県・松山市連携事業「古代いよい発掘まつり」「懇つたざな松山2021」解説パンフレット	A4・4頁	2,000
2	松山市埋蔵文化財調査年報 33	A4・136頁	300
3	松山市文化財調査報告書 第202集『南江戸上沖道路1次・2次調査』	A4・364頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第203集『南高井一丁地道路』	A4・44頁	300
5	松山市文化財調査報告書 第204集『東田生八反地道路6次調査』	A4・168頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第205集『若草町道路3次・4次調査』	A4・138頁	300
7	松山市文化財調査報告書 第206集『筋道5道路・久米高畠道路74次調査』	A4・68頁	300
8	松山市文化財調査報告書 第207集『兜町松山城跡』	A4・229頁	1,000
9	絵葉書(早川和子氏作画の松山市の道路)	はがき7種類 各500枚	3,500

表 13 資料の貸出一覧

No.	種類	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間	貸出先
1	資料	分鋼形土器ほか	25	常設展示室において展示するため	令和2年 4月 1日 ～令和7年 3月 31日	予歴記念博物館
2	資料	福音学校構内道路出土 器台	2	妙見山古墳出土の伊予型特殊器台との比較 展示のため	令和2年 7月 6日 ～令和3年 7月 5日	今治市教育委員会
3	資料	松山城二之丸出土 ロシア金貨	1	城の上の街ミュージアムの常設展示で展示をするため	平成30年 4月 1日 ～令和5年 3月 31日	城の上の街ミュージアム
4	写真	佐佐古墳 発掘調査記録・整備状況	3	令和3年度の市埋蔵文化財センター企画展「黄泉の街のさざなみのー安政谷3号 塚出土遺物ー」での展示解説リーフレット への掲載	令和3年 5月 20日 ～ 8月 30日	たつの市教育庁
5	写真	佐佐古墳2号石室複製	2	西鉄旅行ホームページ内の「古代を巡るツアーアー」の都構へページに掲載するため	同年 4月 16日 10月 5日	株式会社西鉄旅行
6	写真	松山市古墳ゴウラ道路 鉄網	1	令和3年度共同企画展「伊予の歴史」への 展示および制作作成	同年 5月 17日 (公財)愛媛県埋蔵文化財 センター 7月 23日	(公財)愛媛県埋蔵文化財 センター
7	資料	礎文土器、溝生土器ほか	21	授業で使用するため	同年 5月 18日 ～ 7月 20日	愛媛県立松山高等学校
8	資料	粘土板、粘土ヘラ等	15	土器づくりのため	同年 6月 15日 (公財)愛媛県埋蔵文化財 ～ 15日	セミナー
9	写真	古代ハス画像	1	リビングマガジンや6月 18日紙面、Web掲 載のため	同年 6月 16日 ～ 23日	えひめリビング新聞社
10	写真	大連古代墳・キャッターカンビニア	6	松山店(2021年夏盛号)記事作成のため	同年 6月 25日 ～ 8月 31日	松山店会務局
11	資料	火おこし道具セット	2	このものの野外キャンプとして、火おこし体 験をしてもらうため	同年 7月 2日 ～ 6日	個人
12	資料	東山古墳1次2号出土土器 鉄製品(破片)ほか	12	科学研費費成による調査、合没用樹脂(バ ラコイドNAD-10)の劣化調査のため	令和3年 7月 16日 ～令和4年 3月 31日	別府大学
13	資料	火おこし道具セット	4	このものの野外キャンプとして、火おこし体 験をしてもらうため	令和4年 8月 5日 ～ 11日	個人
14	資料	大湖造跡 彩文土器	1	令和3年度企画展「COME ON 山陰浴生 ライフ」で展示するため	同年 9月 17日 ～11月 14日	鳥取県立古代山陰歴史博 物館
15	写真	投票箱 空想調査風景・出土品ほか	8	機関紙「文化愛媛」K5号に掲載するため	同年 10月 21日 (公財)愛媛県埋蔵文化 財センター 11月 22日	機関紙
16	写真	宍山1号出土 青銅鏡 上一万出土 平形鏡ほか	3	長井秋氏写真資料目録への掲載	同年 3月 20日 ～ 3月 30日	愛媛県歴史文化博物館

表 14 考古資料の調査一覧

No.	種類	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	資料	能坂古墳出土 形彫埴輪（石見型埴輪）はか	7	「埴輪遺産」第11号に執筆・掲載するため熟観・模写・写真撮影	令和3年6月20日
2	資料	松山市文化財調査報告書 第45集 「石井山古墳群道路」	193	修士論文作成のため熟観・写真撮影・実測	同年7月22日～23日
3	資料	北谷王神ノメ1号墳 鉄鏹 高月山2号墳 鉄鏹はか	23	「愛媛考古学」第25号への掲載予定のため熟観・模写・写真撮影	令和3年7月27日
4	資料	東佐池古墳1号石室出土 ハエ圓輪鏡はか	15	論文作成のため熟観・模写・写真撮影	令和3年8月5日
5	資料	松山市文化財調査報告書 第38集 「古照路跡第7次調査」はか	380	修士論文作成のため熟観・実測	同年8月28日～29日
6	資料	松山市文化財調査報告書 第112集 「西石井墓路」 柱状片 石斧片・扁平片 石斧はか	41	石包丁に関する論文作成のため熟観・模写・写真撮影	同年10月3日～10日
7	資料	東佐池古墳1号墳出土 ハエ圓輪鏡はか	8	論文作成のため熟観・模写・写真撮影	同年12月9日
8	資料	大瀬道跡・鶴達道跡・南久米才歩行道 跡4はか 伐採斧	9	研究のため	同年12月11日
9	資料	松山大学構内通路3次調査出土遺物はか	24	赤色顔料に関する個人研究のため	同年12月16日～17日
10	資料	文京道路出土品 分割形土製品はか	158	令和4年度展示会に伴う事前の資料調査のため	令和4年1月20日

表 15 令和3年度 考古館月別入館者数調査（令和3年4月～令和4年3月）

月	開館日数 (日)	常設展示室							特別展示室	展示室延 入場者数	入館者数		
		有料入館者			無料入館者								
		一般	高齢者	団体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身がい者 介護人	その他	小計			
4月	8	21	20	0	—	44	26	1	1	28	138	210	229
5月	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	26	206	115	0	—	321	64	10	2	76	927	1,324	1,830
7月	27	195	43	19	—	257	92	8	0	100	688	1,045	1,167
8月	16	118	23	0	—	141	260	4	51	315	589	1,045	733
9月	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	24	150	36	29	—	215	65	10	2	77	515	807	758
1月	24	38	29	0	—	117	50	12	1	63	297	477	556
2月	23	127	45	0	—	172	182	2	7	191	356	719	609
3月	27	176	75	0	—	251	759	18	37	814	968	2,033	1,423
計	175	1,084	386	48	—	1,518	1,498	65	101	1,664	4,478	7,660	7,305

※①～④：年度内の臨時休館（合計139日間）

① 令和3年4月10日（土）～同年5月30日（日）（43日間）

愛媛県「感染対策期」への移行に伴う臨時休館

② 令和3年8月20日（金）～同年9月12日（月）（21日間）

愛媛県「まん延防止等重点措置」のため臨時休館

③ 令和3年9月1日（水）～同年11月30日（火）（75日間）

「埋蔵文化財センター大規模改修工事」に伴う臨時休館

④ 令和3年9月14日（火）～同年9月30日（木）（14日間） ※③の期間中

愛媛県「感染対策期」への移行に伴う臨時休館



写真1 「発掘へんろ展～四国の風土と暮らし～」



写真2 「発掘へんろ展」講演会



写真3 愛媛県・松山市連携事業
「古代いよ発掘まつり」「掘ったぞな松山 2021」



写真4 「掘ったぞな松山 2021」



写真5 「掘ったぞな松山 2021」 報告会



写真6 愛媛県・松山市連携事業
「古代いよ発掘まつり」「いにしへのえひめ」



写真7 「いにしへのえひめ」 講演会

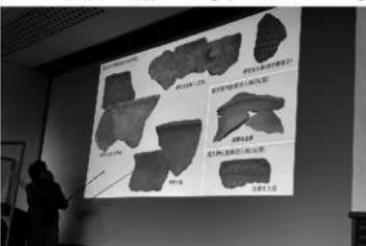


写真8 「いにしへのえひめ」 報告会



写真 9 講演会受付 新型コロナ感染予防対策
令和3年12月



写真 10 特別展「古代の「火」を科学する」①



写真 11 特別展「古代の「火」を科学する」②



写真 12 「古代の「火」を科学する」講演会



写真 13 発掘情報展「清水町遺跡3次調査」



写真 14 発掘情報展「祝谷アイリ遺跡2次調査」



写真 15 ロビー展「2021kid's考古学新聞コンクール全国巡回展」



写真 16 「古代の蓮」展



写真 17 大連古代蓮の育成



写真 18 わかりやすい考古学講座①



写真 19 わかりやすい考古学講座②



写真 20 こども考古学教室（親子考古学教室）①



写真 21 こども考古学教室（親子考古学教室）②



写真 22 古代体験教室「石勾玉をつくろう」



写真 23 わかりやすい考古学講座 現地見学会
（松山城三之丸跡）



写真 24 オンライン授業 味酒小学校 6 年

松山市埋蔵文化財調査年報 34

令和4年12月8日 発行

編集
発行

松山市教育委員会
〒790-0003 愛媛県松山市三番町六丁目6-1
TEL (089) 948-6605

公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財團
埋蔵文化財センター
〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6
TEL (089) 923-6363
FAX (089) 925-0260

印刷

岡田印刷株式会社
〒790-0012 愛媛県松山市漆町7丁目1-8
TEL (089) 941-9111
